

地域経済分析システム（RESAS：リーサス）のご紹介

東北経済産業局
企画調査課

地方創生とRESAS

地方創生をめぐる現状認識

- ◎ 人口減少の現状 ⇒ 2018年10月時点での総人口は、前年に比べ、26万3千人減少し8年連続の減少。合計特殊出生率は前年を下回る1.42となり、年間出生数は91.8万人となった。
- ◎ 東京一極集中の傾向 ⇒ 東京圏へ約12万人の転入超過、東京一極集中の傾向が継続。
- ◎ 地域経済の現状 ⇒ 雇用・所得環境の改善が続く一方、東京圏とその他の地域との間には一人当たり県民所得等に差が生じている。また、地方において大多数を占める中小企業は、大企業と比べて人手不足感が高まっている。

人口減少と地域経済縮小の克服 / まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

政策の企画・実行に当たっての基本方針

1. 従来の政策の検証

2. 創生に向けた政策5原則

自立性、将来性、地域性、直接性、
結果重視の政策原則に基づく

3. 国と地方の取組体制とPDCA整備

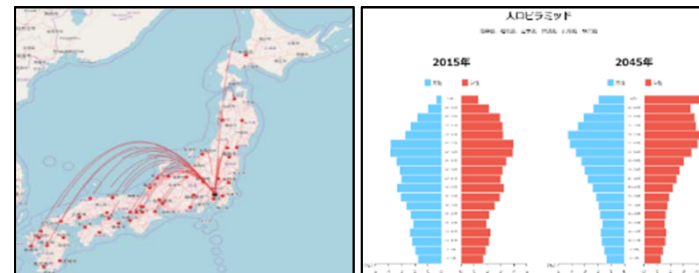
確かな根拠に基づく政策立案（EBPM※）の考え方の下、データに基づく総合戦略、多様な関係者や専門家の知見の取り入れ、政策間、地域間連携の推進

※Evidence-Based Policy Makingの略

情報支援

◎ 地域経済分析システム（RESAS※）の普及促進

※Regional Economy (and) Society Analyzing Systemの略



① RESASとは？

② 操作方法

③ 主なデータの紹介

④ RESASの活用事例

⑤ RESAS活用に役立つ情報

RESAS（リーサス）とは？

地域経済分析システム（2015年4月～）

～Regional Economy Society Analyzing System～

○地方創生のデータ利用の「入口」として、地域経済に関する官民の様々なデータを、地図やグラフ等で分かりやすく「見える化」しているシステム

⇒ 各地域が、自らの強み・弱みや課題を分析し、その解決策を検討することを後押しするツール

公的データ

経済センサス、国勢調査、人口動態調査、工業統計調査、農林業センサス、訪日外国人消費動向調査・・・etc

民間データ

携帯端末データ（NTTドコモ）、クレジットカード利用データ（VISA）、経路検索条件データ（ナビタイム）・・・etc

RESASが変える政策のあり方

○勘や経験や思い込み（KKO）ではなく、データに基づく政策立案
（EBPM：Evidence-Based Policy Making）へ

RESASの現状

メニューの増加

スタート時：25メニュー
(2015年4月)



↓
・大幅にデータを拡充

現在：81メニュー
(2017年2月)



着実な利用の拡大

2015年度：約358万PV
約42万ユーザー



・総閲覧数・ユーザー数は増加

2017年度：約832万PV
約69万ユーザー

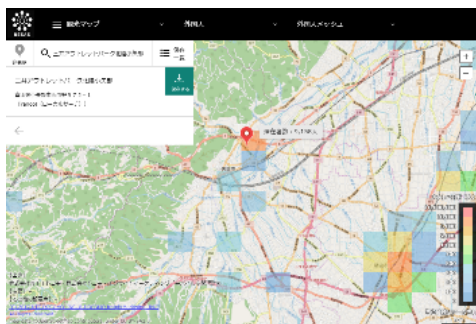
(※) ユーザー数は日次実績の累計

・地域での活用事例も拡大

利便性の向上 (最近のシステム改修)

地図検索機能の追加

- ・RESASの地図上で、施設や住所を検索してピンで表示・保存出来るように



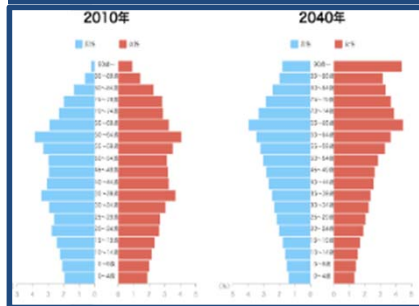
合算・比較地域登録機能の追加

- ・頻繁に合算や比較をしたい複数の自治体をあらかじめ登録・保存しておくことが可能に



8マップ・81メニューを搭載

人口マップ



[人口構成]

自治体の年齢階級別の人口構成や推移、将来の人口推計、転入転出状況等を把握できます

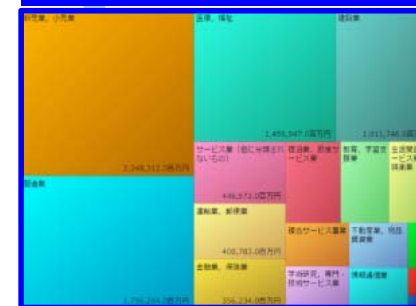
地域経済循環マップ



[地域経済循環図]

地域のお金の流れを「生産」「分配」「支出」の三段階で表示し、各段階における流出入状況を把握できます

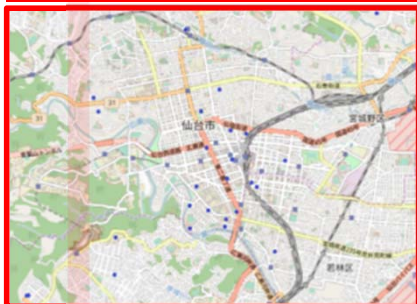
産業構造マップ



[全産業の構造]

地域の産業構造や主要産業の特徴(強み・弱み)等を把握できます

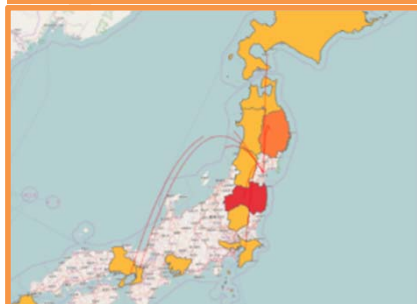
企業活動マップ



[研究開発-特許分布図]

企業の特許数や表彰・補助金の採択状況、海外への進出動向等を把握できます

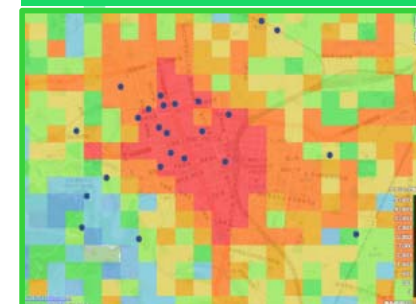
観光マップ



[外国人移動関連分析]

地域の人気スポットや、来訪者の出発地、インバウンド観光の動向等を把握できます

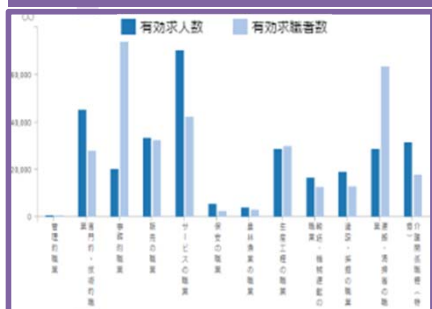
まちづくりマップ



[流動人口メッシュ]

月別・時間別の流動人口や、通勤・通学による自治体間の移動状況等を把握できます

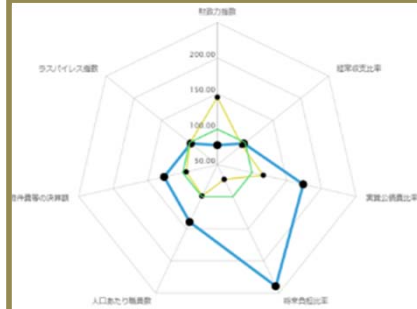
雇用/医療・福祉マップ



[求人・求職者]

職業別の有効求職者数・求人数や、地域の医療・介護の需給状況等を把握できます

地方財政マップ



[自治体財政状況の比較]

自治体の主要な財政指標の比較や、一人当たり地方税・固定資産税等を把握できます

全81メニュー一覧

1. 人口マップ

- 1-1. 人口構成
- 1-2. 人口増減
- 1-3. 人口の自然増減
- 1-4. 人口の社会増減
- 1-5. 新卒者就職・進学
- 1-6. 将来人口推計
- 1-7. 人口メッシュ
- 1-8. 将来人口メッシュ

2. 地域経済循環マップ

- 2-1. 地域経済循環図
- 2-2. 生産分析
- 2-3. 分配分析
- 2-4. 支出分析
- 2-5. 労働生産性等の動向分析

3. 産業構造マップ

<全産業>

- 3-1-1. 全産業の構造（一部※）
- 3-1-2. 稼ぐ力分析
- 3-1-3. 企業数
- 3-1-4. 事業所数
- 3-1-5. 従業者数（事業所単位）
- 3-1-6. 付加価値額（企業単位）
- 3-1-7. 労働生産性（企業単位）

<製造業>

- 3-2-1. 製造業の構造
- 3-2-2. 製造業の比較
- 3-2-3. 製造品出荷額等

<小売・卸売業（消費）>

- 3-3-1. 商業の構造
- 3-3-2. 商業の比較
- 3-3-3. 年間商品販売額
- 3-3-4. 消費の傾向（POSデータ）
- 3-3-5. From-to分析（POSデータ）

<農業>

- 3-4-1. 農業の構造
- 3-4-2. 農業産出額
- 3-4-3. 農地分析
- 3-4-4. 農業者分析

<林業>

- 3-5-1. 林業総収入
- 3-5-2. 山林分析
- 3-5-3. 林業者分析

<水産業>

- 3-6-1. 海面漁獲物等販売金額
- 3-6-2. 海面漁船・養殖面積等分析
- 3-6-3. 海面漁業者分析
- 3-6-4. 内水面漁獲物等販売金額
- 3-6-5. 内水面漁船・養殖面積等分析
- 3-6-6. 内水面漁業者分析

4. 企業活動マップ

<企業情報>

- 4-1-1. 産業間取引（※）
- 4-1-2. 企業間取引（※）
- 4-1-3. 表彰・補助金採択
- 4-1-4. 創業比率
- 4-1-5. 経営者平均年齢（※）
- 4-1-6. 黒字赤字企業比率
- 4-1-7. 中小・小規模企業財務比較

<海外取引>

- 4-2-1. 海外への企業進出動向
- 4-2-2. 輸出入取引
- 4-2-3. 企業の海外取引額分析

<研究開発>

- 4-3-1. 研究開発費の比較
- 4-3-2. 特許分布図

凡例

赤字：2020年8月27日データ更新メニュー
（※）：限定メニュー

5. 観光マップ

<国内>

- 5-1-1. 目的地分析
- 5-1-2. From-to分析（宿泊者）
- 5-1-3. 宿泊施設

<外国人>

- 5-2-1. 外国人訪問分析
- 5-2-2. 外国人滞在分析
- 5-2-3. 外国人メッシュ
- 5-2-4. 外国人入出国空港分析
- 5-2-5. 外国人移動相関分析
- 5-2-6. 外国人消費の比較（クレジットカード）
- 5-2-7. 外国人消費の構造（クレジットカード）
- 5-2-8. 外国人消費の比較（免税取引）
- 5-2-9. 外国人消費の構造（免税取引）

6. まちづくりマップ

- 6-1. From-to分析（滞在人口）
- 6-2. 滞在人口率
- 6-3. 通勤通学人口
- 6-4. 流動人口メッシュ
- 6-5. 建物利用状況
事業所立地動向
- 6-6. 施設周辺人口
- 6-7. 不動産取引

7. 雇用／医療・福祉マップ

- 7-1. 一人当たり賃金
- 7-2. 有効求人倍率
- 7-3. 求人・求職者
- 7-4. 医療需給
- 7-5. 介護需給

8. 地方財政マップ

- 8-1. 自治体財政状況の比較
- 8-2. 一人当たり地方税
- 8-3. 一人当たり市町村民税法人分
- 8-4. 一人当たり固定資産税

Contents

① RESASとは？

② 操作方法

③ 主なデータの紹介

④ RESASの活用事例

⑤ RESAS活用に役立つ情報

RESASの操作方法①

検索サイトで“RESAS”または“地域経済分析システム”
と検索してください（URL：<https://resas.go.jp>）

①アドレスは「resas.go.jp」

困ったらココ（ヘルプボタン）をクリック！
用語の説明や、マニュアルなどが見れます。

②トップ画面で左上のメインメニューボタンをクリック

④データを見たい
都道府県・市町村を選択

③見たいマップ（データの種類）を選択

⑤様々なグラフを自動で表示。
右の選択ボタンをクリックすると、
グラフが切り替わります。

RESAS
Regional Economy Society Analyzing System

地方創生★
政策アイデア
コンテスト
2020

地方創生★政策アイデア
コンテスト2020
応募期間：2020年7月14日（火）～2020年10月9日（金）
最終審査：2020年12月19日（土）

人口マップ
人口構成
地域経済循環マップ
産業構造マップ
企業活動マップ
観光マップ
まちづくりマップ
雇用／医療・福祉マップ
地方財政マップ

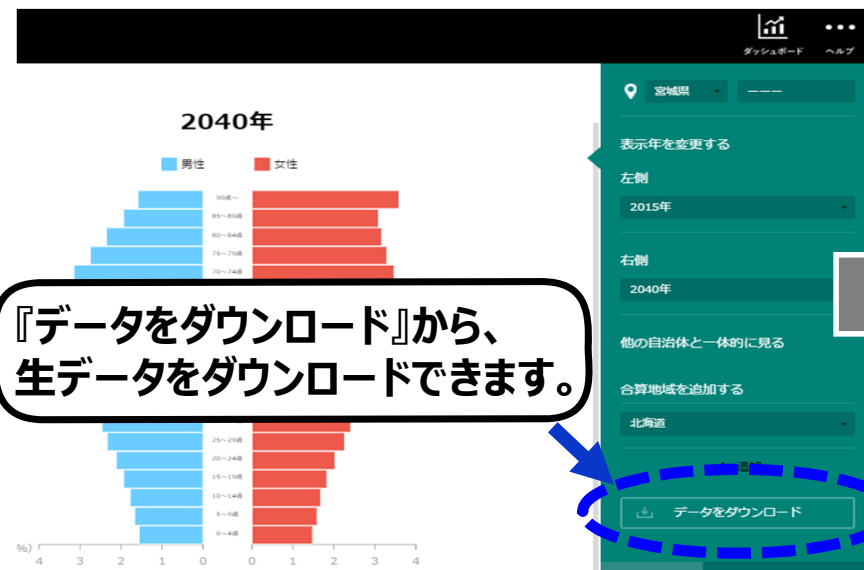
選択してください
人口増減
人口の自然増減
人口の社会増減
人口メッシュ
将来人口メッシュ

2040年
男性 女性
0歳～4歳
5歳～9歳
10歳～14歳
15歳～19歳
20歳～24歳
25歳～29歳
30歳～34歳
35歳～39歳
40歳～44歳
45歳～49歳
50歳～54歳
55歳～59歳
60歳～64歳
65歳～69歳
70歳～74歳
75歳～79歳
80歳～84歳
85歳～89歳
90歳～94歳
95歳～99歳
100歳～

表示年を選択する
2015年
2040年
右側
他の目的に合わせた表示
合算地域を追加する
北海道
+ 追加
データをダウンロード

RESASの操作方法②

- データをCSVファイルでダウンロードできます。目的に合わせてデータを加工することができます。



出人数									
ファイル	クッチ	ホーム	挿入	描画	ページ レイアウト	数式	データ	校閲	ヘルプ
A1									
集計年									
A	B	C	D	E	F	G			
259	1995	3	岩手県	3503	野田村	5204	137		
260	1995	3	岩手県	3506	九戸村	7727	195		
261	1995	3	岩手県	3507	洋野町	21322	838		
262	1995	3	岩手県	3524	一戸町	17906	515		
263	1995	4	宮城県	4100	仙台市	971297	84153		
264	1995	4	宮城県	4101	仙台市青葉区	270515	25974		
265	1995	4	宮城県	4102	仙台市宮城野区	176827			
266	1995	4	宮城県	4103	仙台市若林区	128942			
267	1995	4	宮城県	4104	仙台市太白区	212412			
268	1995	4	宮城県	4105	仙台市泉区	182601			
269	1995	4	宮城県	4202	石巻市	178923			
270	1995	4	宮城県	4203	塩竈市	63566	2974		
271	1995	4	宮城県	4205	気仙沼市	84848	2140		
272	1995	4	宮城県	4206	白石市	41852	1108		
273	1995	4	宮城県	4207	名取市	61993	4115		
274	1995	4	宮城県	4208	角田市	35316	977		
275	1995	4	宮城県	4209	多賀城市	60625	5213		
276	1995	4	宮城県	4211	岩沼市	40072	2331		
277	1995	4	宮城県	4212	登米市	96832	2837		
278	1995	4	宮城県	4213	栗原市	88552	2302		
279	1995	4	宮城県	4214	東松島市	42778	2240		
280	1995	4	宮城県	4215	大崎市	138068	5611		

東北地域の市町村(人口別)

人口規模	青森	岩手	宮城
100万人～			仙台市 105.4
40万人～100万人			
30万人～40万人			
20万人～30万人	青森市 29.6 八戸市 23.8	盛岡市 29.5	
10万人～20万人	弘前市 17.9	一関市 12.4 奥州市 12.2	石巻市 15.0 大崎市 13.5
5万人～10万人		花巻市 10.0	盛岡市 9.4

使用目的に合わせて加工できます

千代田市 6.4		気仙沼市 6.8
むつ市 6.2		多賀城市 6.2
五所川原市 5.8	宮古市 5.7	塩釜市 5.6
	滝沢市 5.5	富谷町 5.2

- データの保存は「画面キャプチャ機能」など
※Google Chromeのみ対応

● 上記以外の方法

a. プリントスクリーン機能

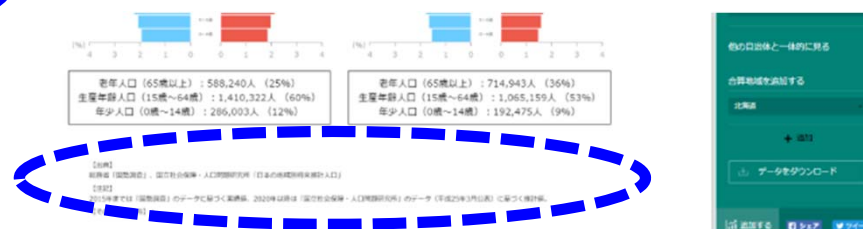
- ① 保存したい画面を表示し「**Ctrl+Prt SC**」キー
- ② 「**右クリック + 貼り付け**」

b. パワーポイントのスクリーンショット機能

- ① 保存したい画面を開く
- ② パワーポイントで「挿入 + スクリーンショット」で切り出したい箇所をドラッグ



- データの引用時は「**出典元を明記**」



RESAS画面の下方に、出典が表示されます。

ex.) 総務省「国勢調査」

Contents

- ① RESASとは？
- ② 操作方法
- ③ 主なデータの紹介**
- ④ RESASの活用事例
- ⑤ RESAS活用に役立つ情報

RESAS問題（人口マップ）

質問です

**福島県の人口は2015年で約191万人です。
2045年にはどの位になると予測されている？**



約171万人

約131万人

約 81万人

【操作方法】

- ①「人口マップ」→「人口構成」を選択する。
- ②「都道府県単位で表示する」→「福島県」を選択する。
- ③「人口推移」をクリックする。

解答

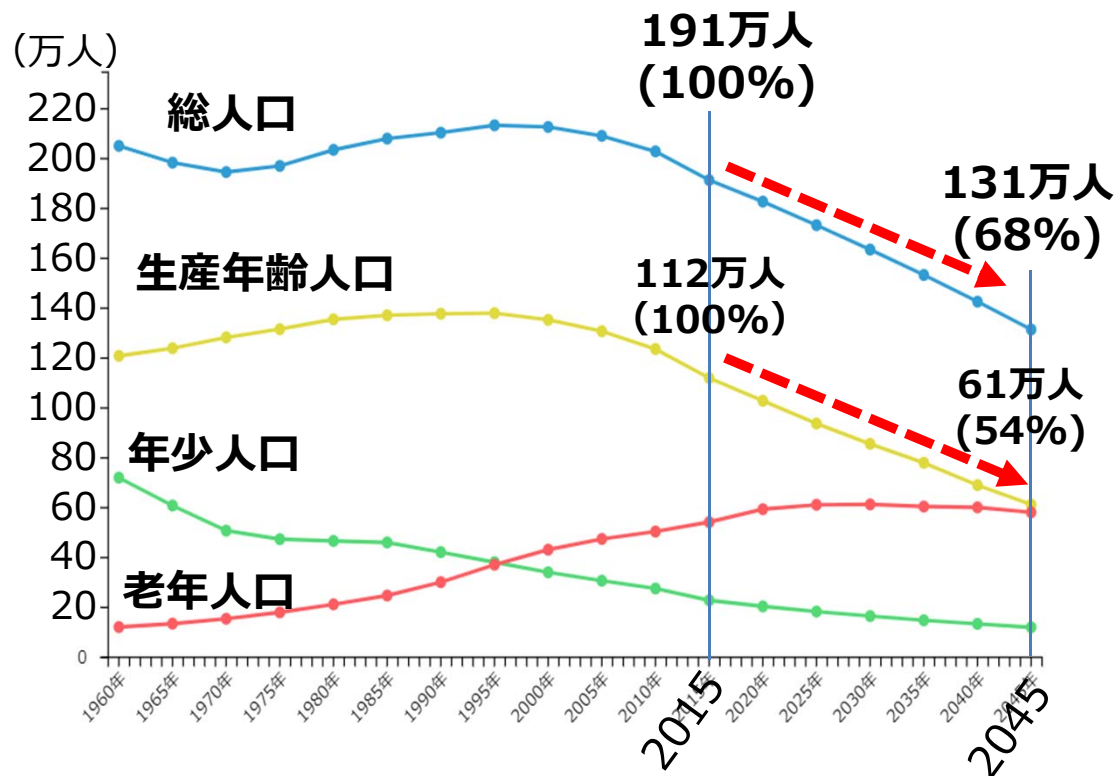


約131万人

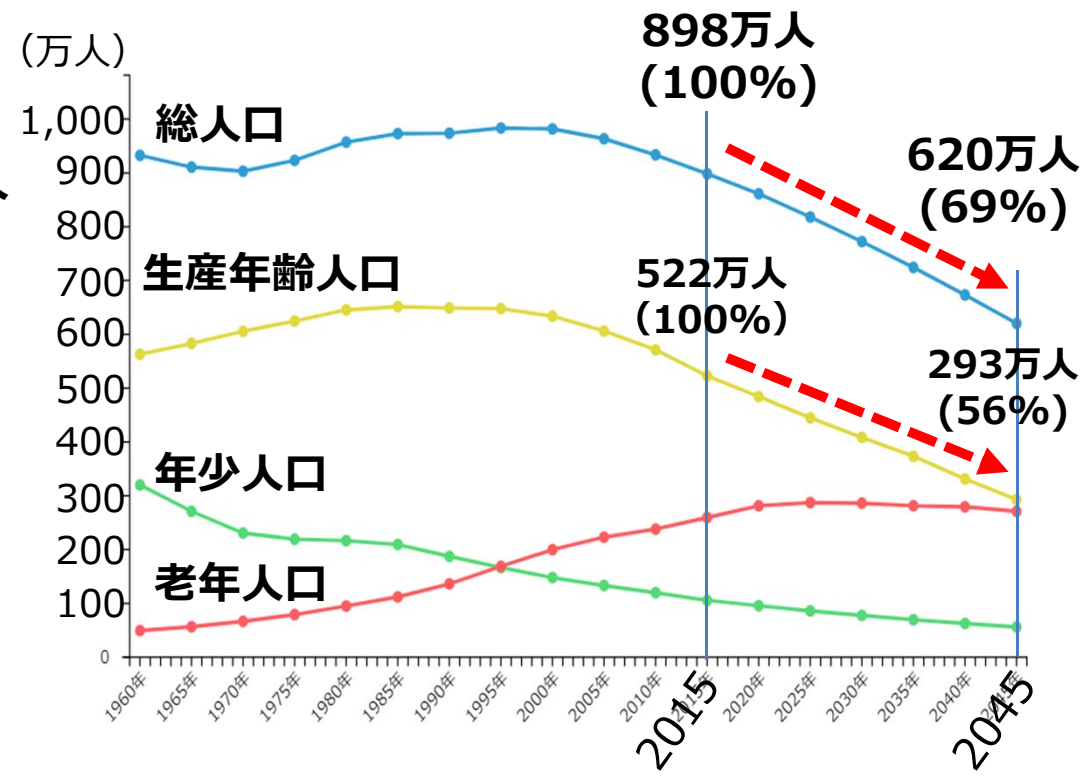
人口マップ → 人口構成（推移を見る）

➤ 年齢別人口構成や、過去から2045年までの人口の推移を、人口ピラミットや折れ線グラフで表示

【福島県の人口推移】



【東北の人口推移】



RESAS 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

POINT >>

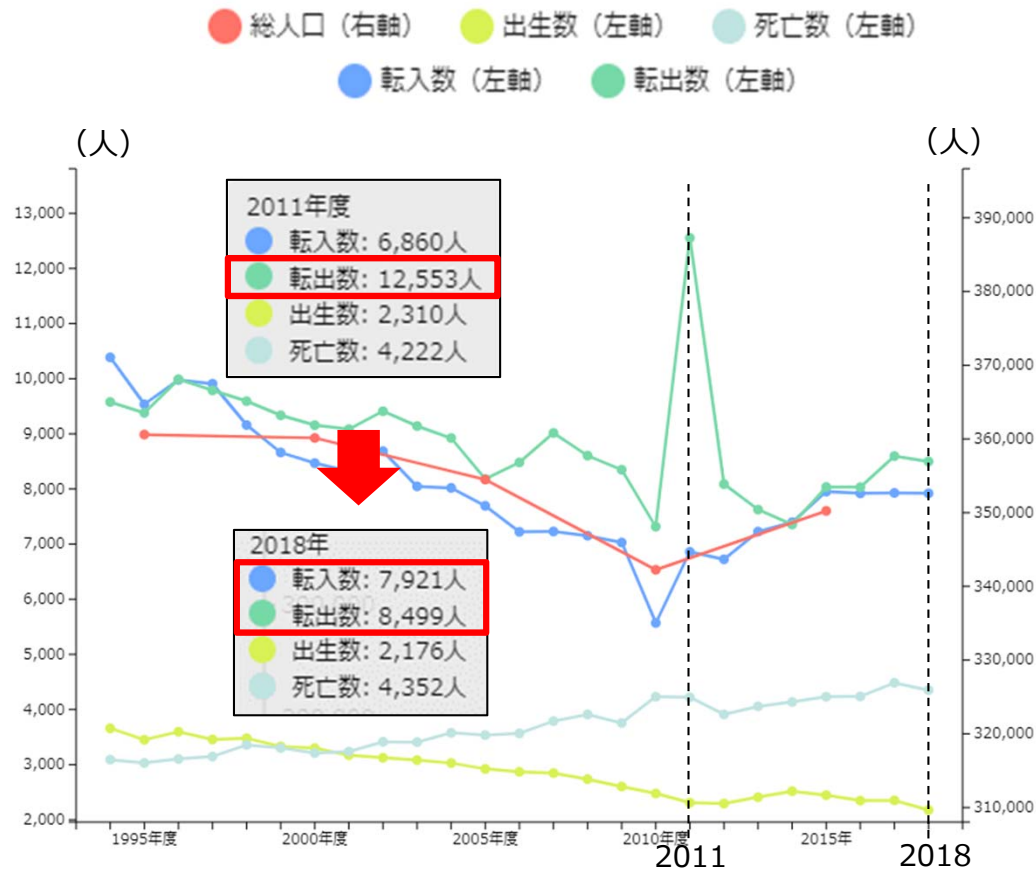
- 2045年の福島県の総人口は、約131万人まで減少し、生産年齢人口も2015年から約51万人減少する予測である。また、生産年齢人口および総人口の減少率は東北地域と同様にある。

いわき市の人口増減の内訳

人口マップ → 人口増減

➤ 人口の増減の推移や内訳（自然増減と社会増減） 年齢階級ごとの転出入などを表示

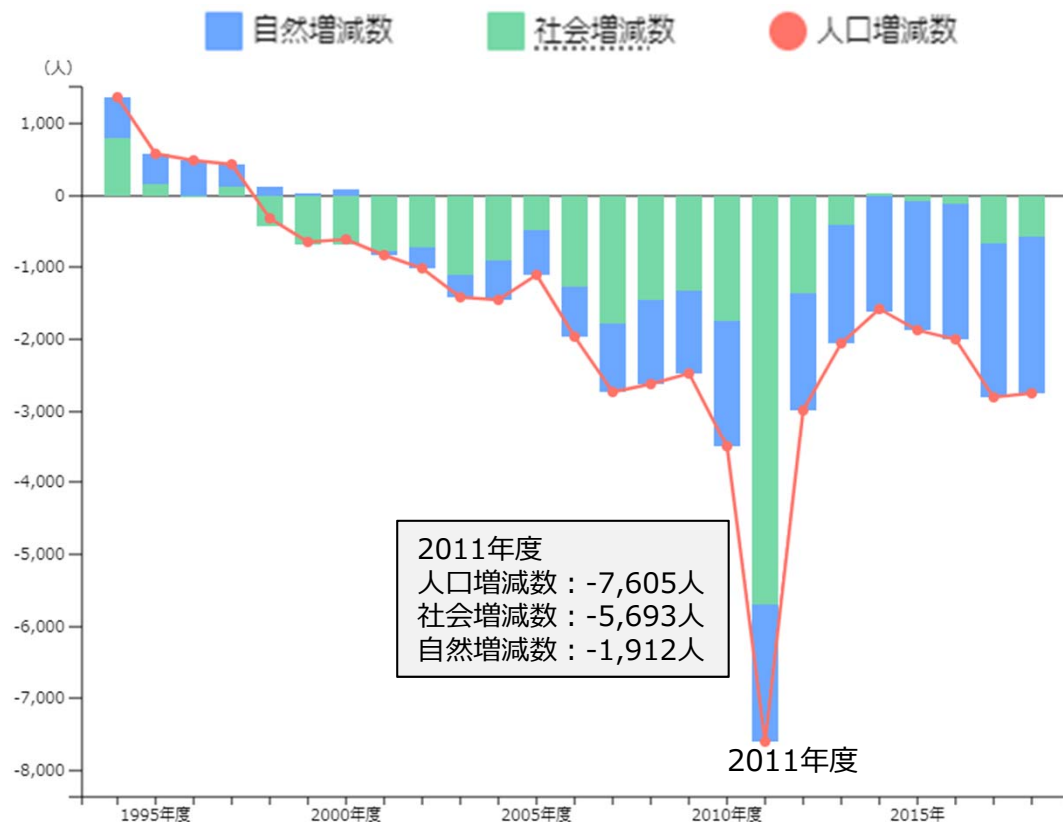
いわき市 出生数・死亡数／転入者数・転出者数



POINT >>

- いわき市では、**2011年度に転出数が急増**。近年は**転出超過**が継続している。

いわき市 自然増減・社会増減の推移(折れ線)



POINT >>

- いわき市では、**2001年度以降自然減が継続して発生**しており、近年では**自然減が社会減を上回っている**。

いわき市の社会増減の内訳

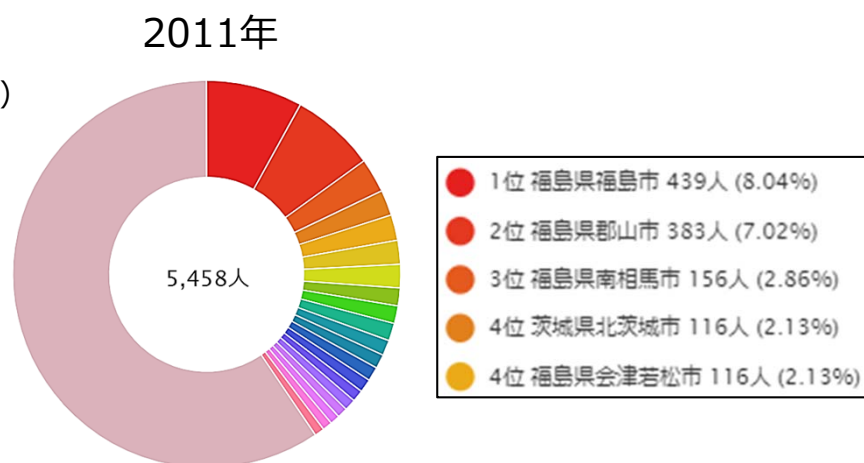
人口マップ → 人口の社会増減

➤ 社会増減（転入数、転出数）を男女別かつ年齢階級別で表示

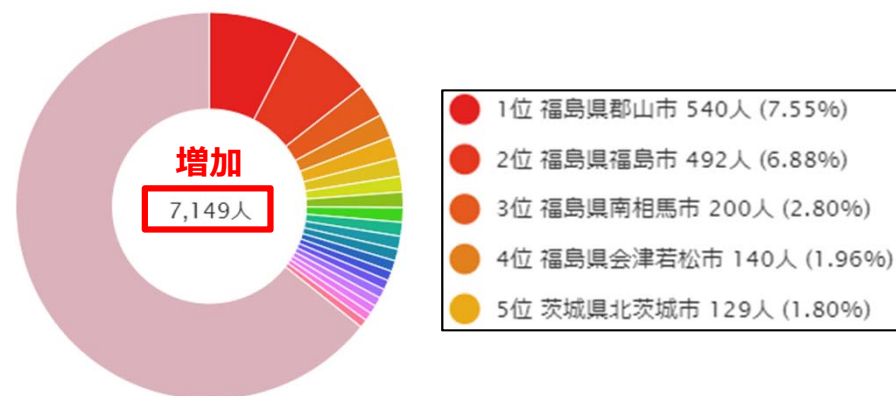
いわき市 From-to分析 2011年と2019年の比較

転入数内訳

(上位5自治体表示)

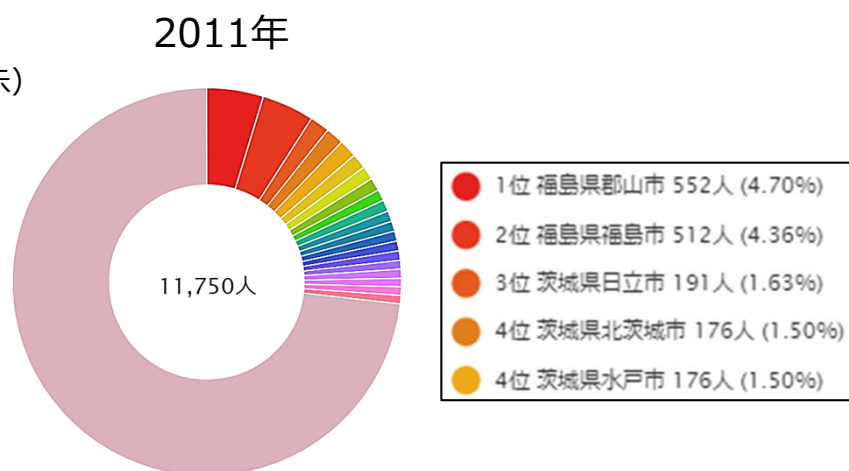


2019年

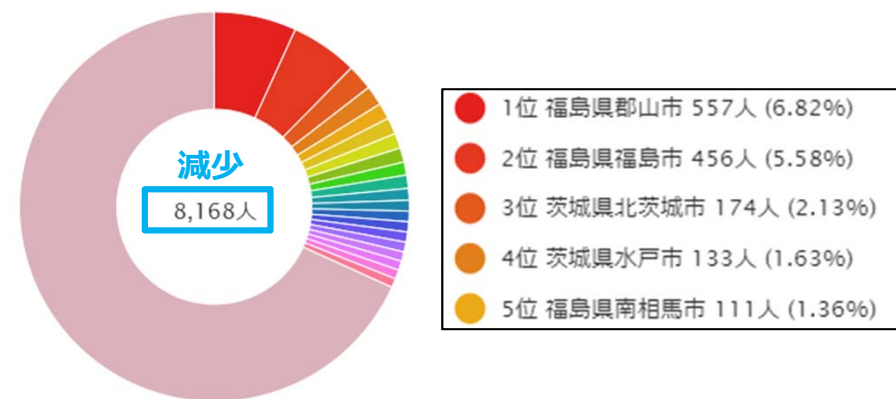


転出数内訳

(上位5自治体表示)



2019年



POINT >>

出典：RESAS_総務省「住民基本台帳人口移動報告」

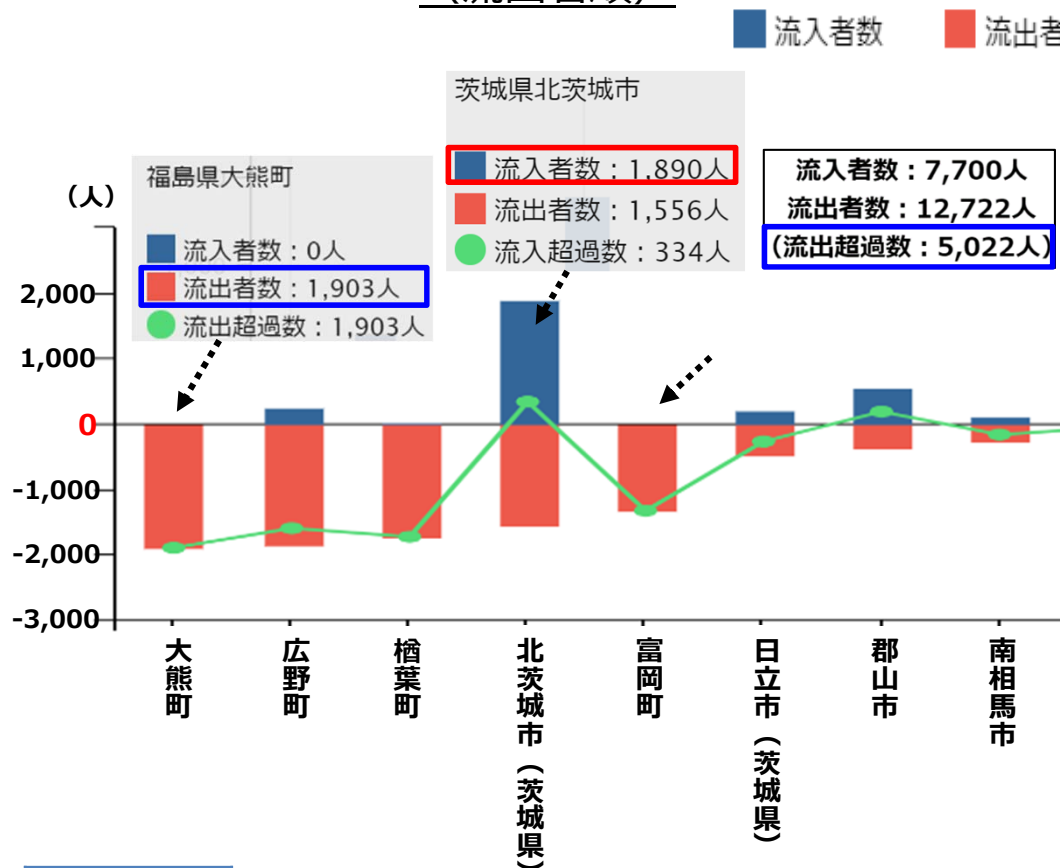
- いわき市の転入者は2011年当時と比較して増加しており、転出者は減少している。また、転入先、転出先の上位にあまり大きな変化は見られない。

いわき市への通勤者の特徴は？

まちづくりマップ → 通勤通学人口

➤ 通勤や通学による自治体間移動状況を地域間別、年代別、産業別などで表示

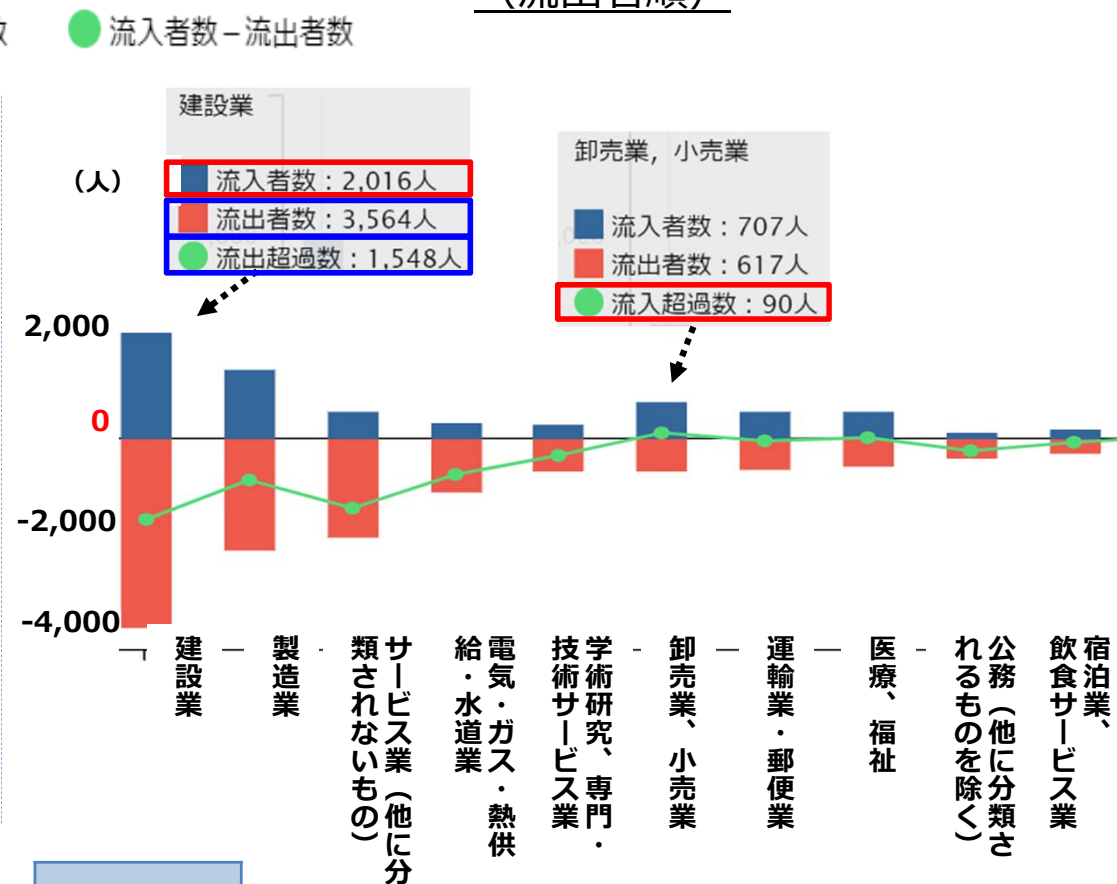
いわき市 通勤者の地域間流動状況 2015年
(流出者順)



POINT >>

いわき市では、「大熊町」へ最も多く通勤者が流出しており、流入者では「北茨城市」からが最も多い。また、全体で見ると流出超過傾向にある。

いわき市 通勤者の産業別流動状況 2015年
(流出者順)



POINT >>

出所：RESAS_総務省「国勢調査」

いわき市では、通勤者の流入・流出ともに「建設業」を仕事とする人口流動が最も多い。流入超過数は「卸売業、小売業」で最も多く、流出超過数は「建設業」が最も多い。

演習 地域の人口について

➤ RESAS及びその他の統計データから地域の人口の特徴を調べてシートに整理します。

項 目	内 容	RESAS操作等
地域の人口の推移は？	人口推移	人口マップ＞人口構成＞人口推移
地域の人口ピラミッドの変化は？	人口ピラミッド	人口マップ＞人口構成＞人口ピラミッド
社会増減・自然増減 地域の人口が増減する要因は？	出生数・死亡数／転入数・転出数 自然・社会増減の推移	人口マップ＞人口増減＞グラフを表示
地域の転入転出の状況は？ 進学による人口移動は？	From-to分析(定住人口) 年齢階級別順位同数 進学の際の流入出の傾向	人口マップ＞人口の社会増減 ＞From-to(定住人口) ＞人口移動(グラフ分析) 人口マップ＞新卒者の就職・進学
地域への通勤通学の状況は？	通勤・通学	まちづくりマップ＞通勤通学人口 ＞地域感流動をグラフで見る ＞属性別流動をグラフで見る

まとめ 地域の人口の現状・課題

福島県のお金の流れは？

地域経済循環マップ → 地域経済循環分析

- 地域内のお金の流れを「生産」、「分配」、「支出」の三段階で表示し、各段階におけるお金の流出・流入状況を把握できる

福島県（2015年）

地域経済循環率（※）

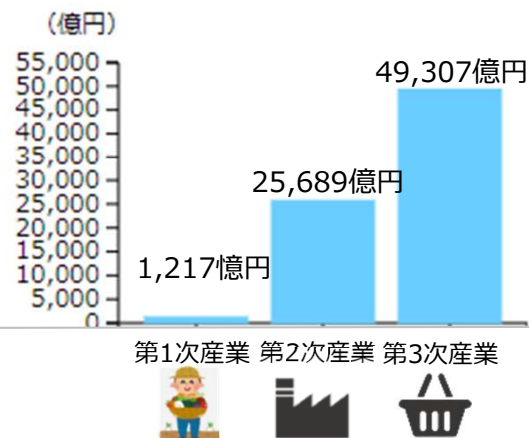
82.5%

100%未満であり、域外からの所得の流入に依存しています。

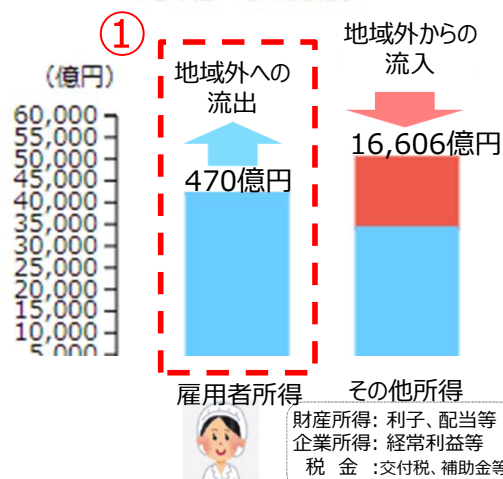
※生産（付加価値額）を分配（所得）で除した値。地域経済の自立度を示す指標です。

所得への分配
76,214

生産（付加価値額）



分配（所得）



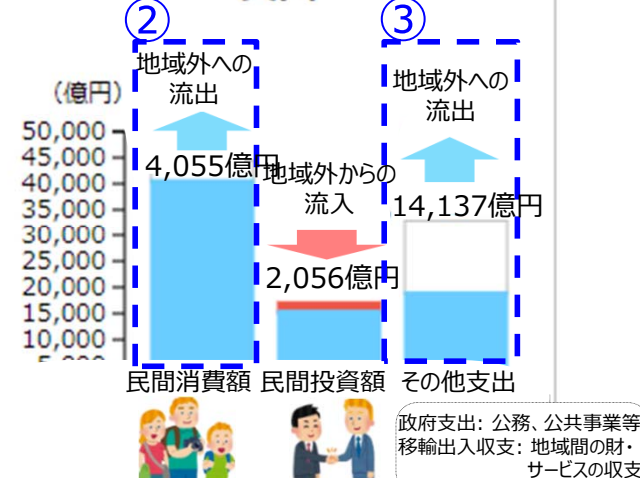
支出による生産への還流
76,214

➡ お金の流れ

（単位：億円）

所得からの支出
92,350

支出



RESAS_環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）

POINT >>

- ◆ 生産では、第3次産業中心に所得を稼いでいる。
- ◆ 分配では、①域外からの通勤者が多いこと（雇用者所得が流出）がわかる。
- ◆ 支出では、②福島県の住民が県外で買い物や観光消費を多く行っていること（民間消費の流出）や、③県外からの財・サービスを購入していること（その他支出の流出）がわかる。

いわき市の所得を稼ぐ産業は？

地域経済循環マップ → 生産分析

- 地域の業種別の生産額（付加価値額）や移輸出入収支の状況を表示。

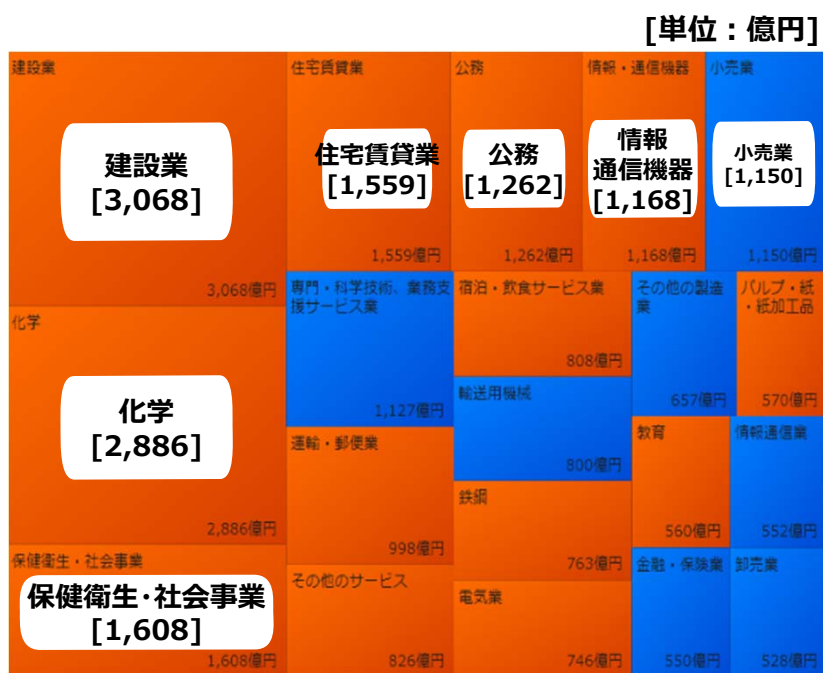
【留意点】

- ・ 地域経済循環マップのデータは、「国民経済計算」と整合しており、「経済センサス」のデータと値が異なる。
- ・ 事業所単位のデータで、産業分類は39分類となっている。

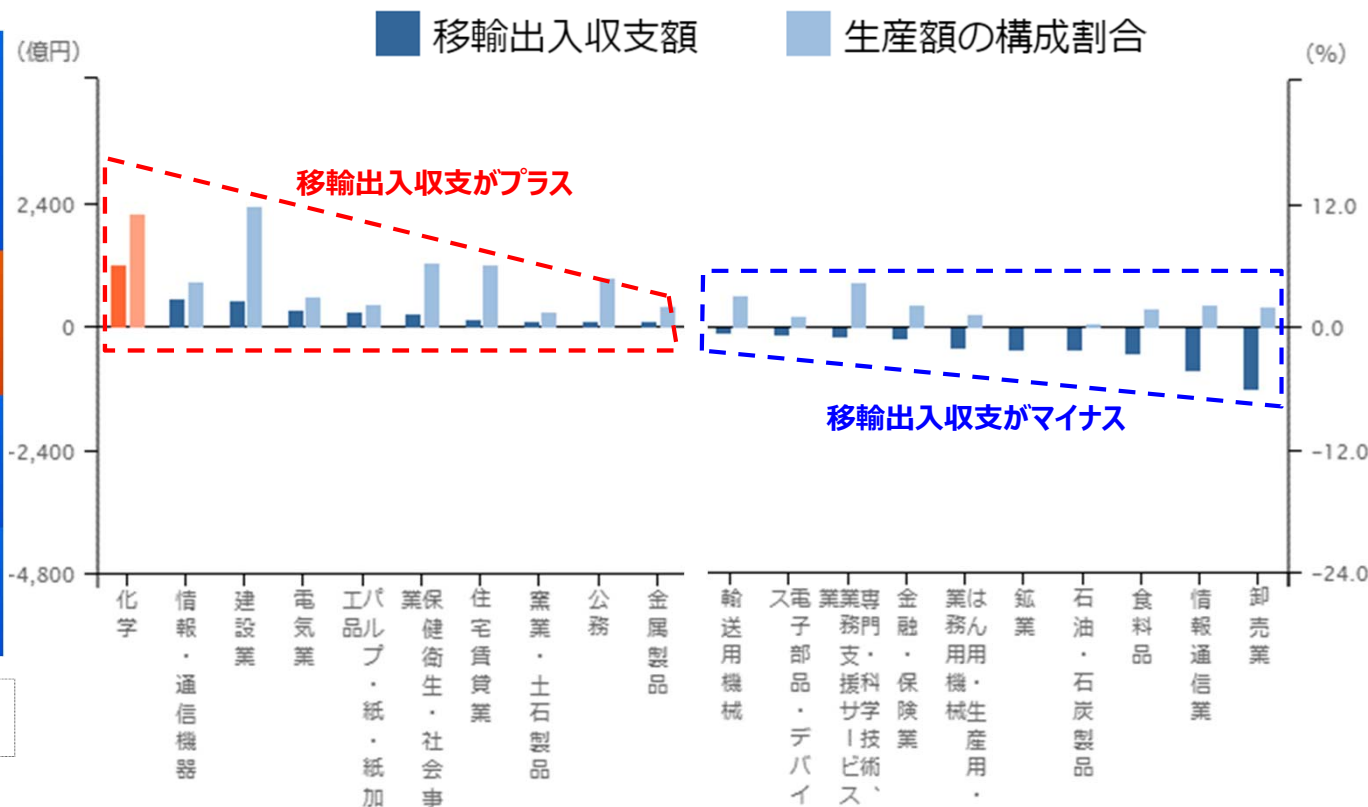
いわき市（2015年）

生産額（総額） 中分類 移輸出入カラー

移輸出入収支額



赤色：域外から所得を稼いでいる産業（移輸出額－移輸入額がプラス）
 青色：域外へ所得が流出している産業（移輸出額－移輸入額がマイナス）



POINT >>

- ・ いわき市では、「建設業」、「化学」、「保健衛生・社会事業」等の生産額が大きい。移輸出入収支では、「化学」、「情報・通信機械」「建設業」などがプラスとなっており、域外から所得を得ている。

RESAS問題（産業構造マップ）

質問です

いわき市の全産業で最も従業者数の多い業種はどれでしょう？（検索条件：2016年、事業所単位）



卸売業、小売業
建設業
製造業

【操作方法】

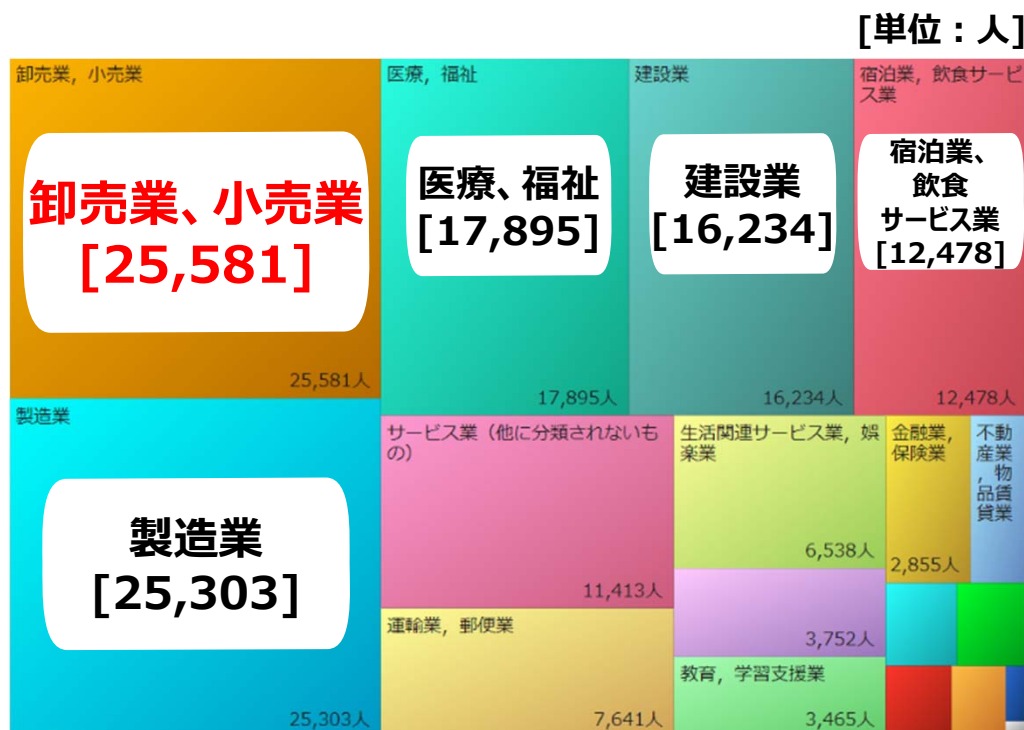
- ①「産業構造マップ」→「全産業」→「全産業の構造」を選択する。
- ②「市町村単位で表示する」→「福島県、いわき市」を選択する。
- ③表示内容を指定する→「従業者数（事業所単位）」を選択する。
- ④検索条件として「2016年」、「大分類で見る」を選択する。

解答 卸売業、小売業

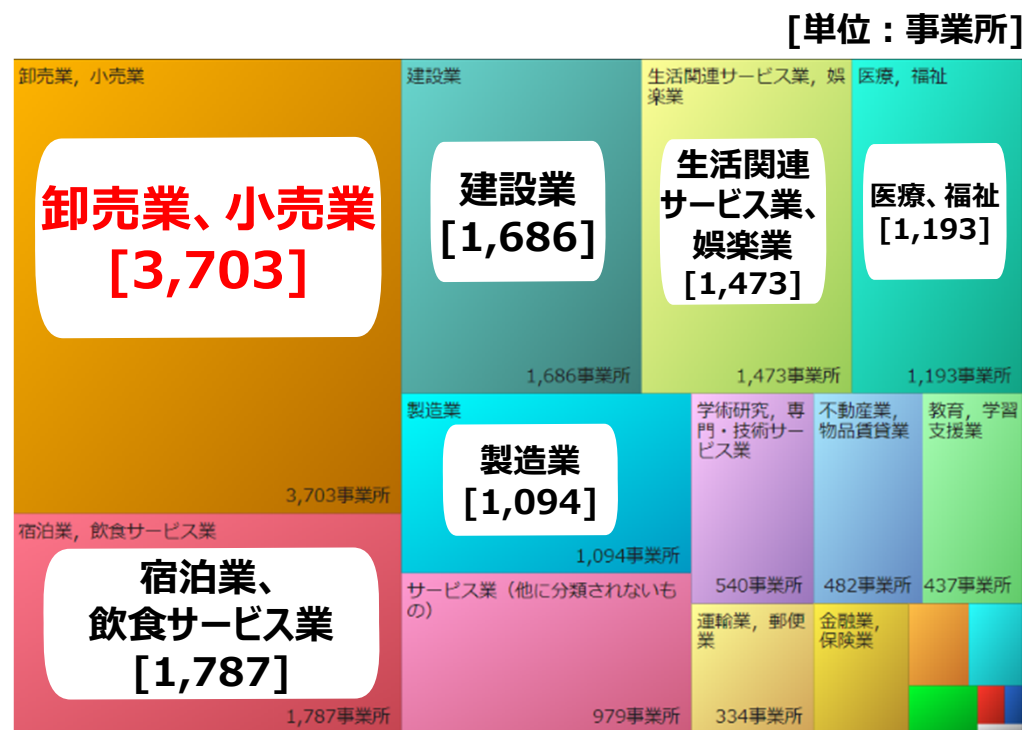
産業構造マップ → 全産業 → 全産業の構造

➤ 企業数、従業者数、売上高、付加価値額など地域の産業別の割合を四角の大きさで表示

2016年 いわき市の従業者数（事業所単位）大分類



2016年 いわき市の事業所数（事業所単位）大分類



POINT >>

RESAS_総務省「経済センサス－基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」

- いわき市の従業者数は「卸売業、小売業」が最も多く、次に「製造業」が多い。また、事業所数では「卸売業、小売業」が最も多く、次に「宿泊業、飲食サービス業」が多い。

いわき市の稼いでいる産業は？

産業構造マップ → 全産業 → 全産業の構造

➤ 企業数、従業者数、売上高、付加価値額など地域の産業別の割合を四角の大きさで表示

2016年 いわき市の売上高（企業単位）大分類



2016年 いわき市の付加価値額（企業単位）大分類



POINT >>

RESAS_総務省「経済センサス－基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」

- いわき市の売上高・付加価値額は、いずれも「卸売業、小売業」が最も高く、次に「製造業」が高い。

いわき市の産業の労働生産性は？

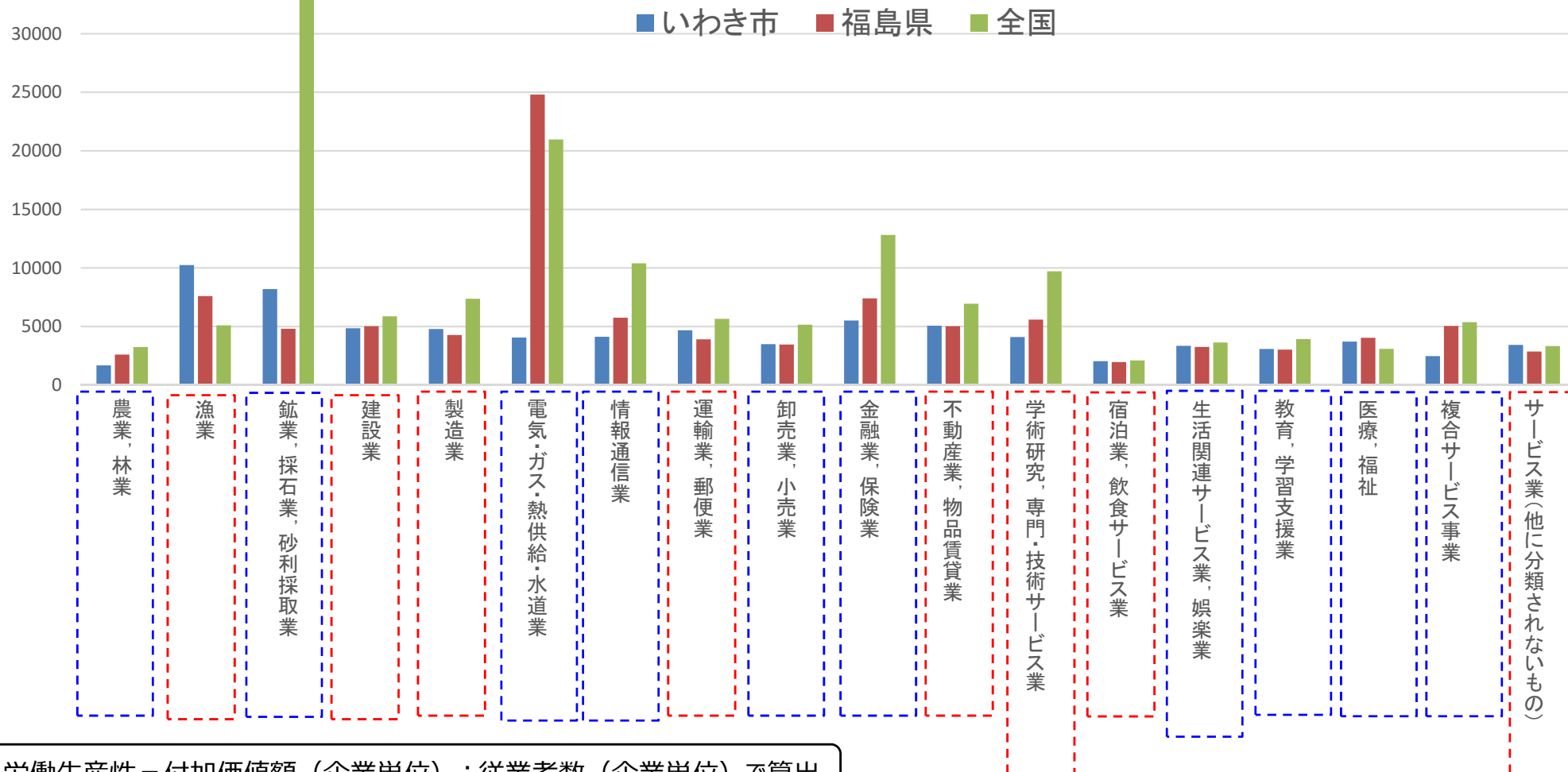
産業構造マップ → 全産業 → 労働生産性（企業単位）

➤ 企業単位での労働生産性を産業別に表示

(千円/人)

2016年 労働生産性（企業単位）

※）RESAS ダウンロードデータより作成



※労働生産性＝付加価値額（企業単位）÷従業者数（企業単位）で算出

RESAS_総務省・経済産業省「平成28年経済センサス－活動調査」再編加工

POINT >>

- いわき市は、県と比較して「漁業」、「製造業」などの労働生産性が高い。一方で「情報通信業」、「卸売業、小売業」、「医療、福祉」などの労働生産性は低くなっている。

演習 地域の産業について

- RESAS及びその他の統計データから地域の人口の特徴を調べてシートに整理します。

項 目	内 容	RESAS操作等
地域のお金の流れは？	地域経済循環率 流入出の状況	地域経済循環マップ ＞地域経済循環分析 ＞生産分析＞表示する内容を指定する(移輸出入収支額)＞表示産業を指定する(任意の中分類を選択) ＞グラフを表示
相対的に強みのある産業は？	産業別特化係数(付加価値額・労働生産性・従業者数)	産業構造マップ＞全産業＞稼ぐ力分析＞グラフ分析
労働生産性の水準は？	労働生産性の地域間比較 県内順位と全国順位	産業構造マップ＞全産業＞労働生産性(企業単位)
雇用面で地域を支える産業や稼ぐ力のある産業は？	通勤・通学	統計ダッシュボード(RESAS外) https://dashboard.e-stat.go.jp/ ＞グラフで見る(地域を選択)＞地域の産業・雇用創造チャート

まとめ 地域の産業の強み・弱み

いわき市の製造業の構造は？

産業構造マップ → 製造業 → 製造業の構造

➤ 製造品出荷額等、事業所数、常用従業者など地域の業種別の割合を四角の大きさで表示

2017年 製造品出荷額等（実数） すべての中分類



2017年 事業所数（実数） すべての中分類



※製造品出荷額等＝製造品出荷額計＋加工賃収入額計＋修理料収入額＋その他収入額計で算出

RESAS 経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工

POINT >>

- いわき市の製造品出荷額は「化学工業」が最も高く、製造業全体の約2割を占めている。事業所数は「食料品製造業」が多く、次いで金属製品製造業が多い。

いわき市の製造業の推移は？

産業構造マップ → 製造業 → 製造業の構造（推移を見る）

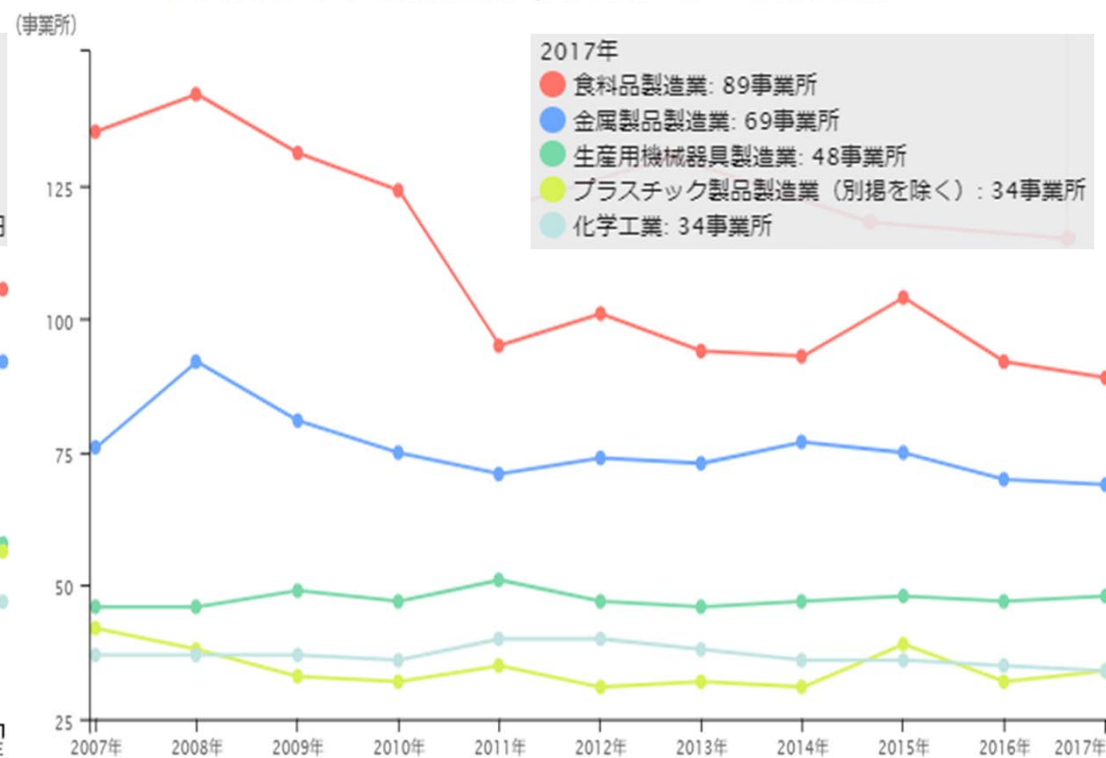
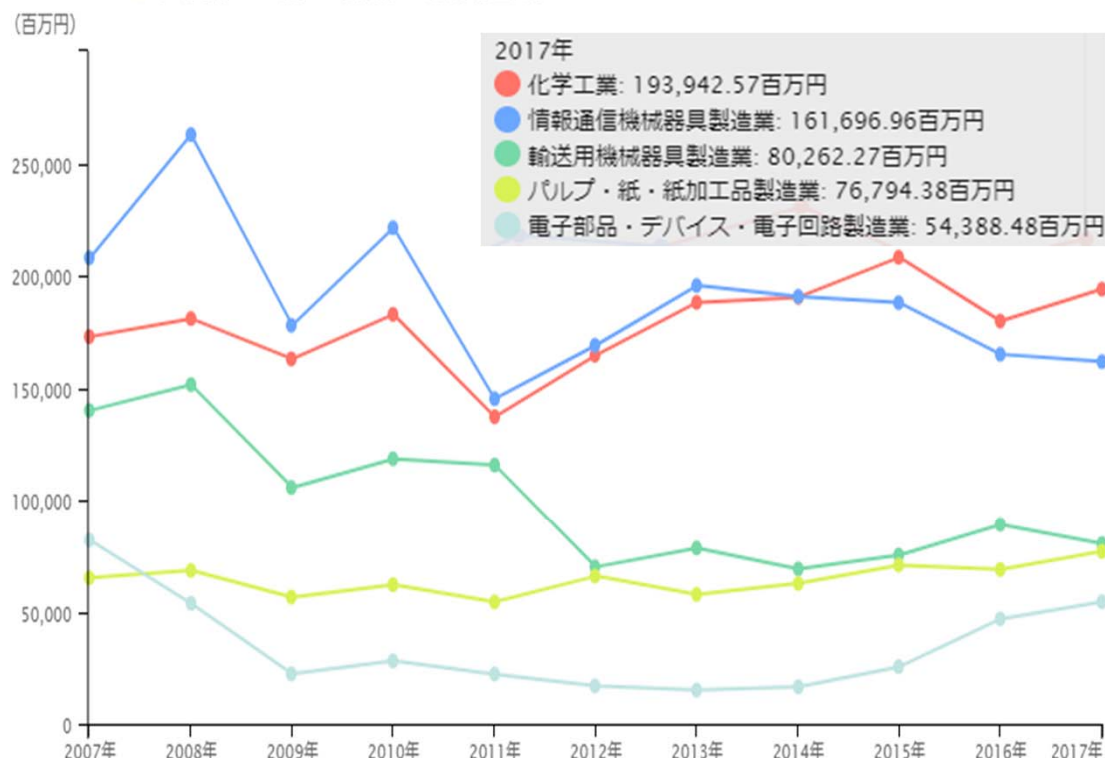
➤ 製造品出荷額等、事業所数、常用従業者数などの年次推移を表示

2017年 製造品出荷額等（実数）すべての中分類

2017年 事業所数（実数）すべての中分類

● 化学工業 ● 情報通信機械器具製造業 ● 輸送用機械器具製造業
● パルプ・紙・紙加工品製造業 ● 電子部品・デバイス・電子回路製造業

● 食料品製造業 ● 金属製品製造業 ● 生産用機械器具製造業
● プラスチック製品製造業（別掲を除く） ● 化学工業



RESAS 経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工

POINT >>

- 製造品出荷額等は2014年から「化学工業」が最も大きい状況になっている。
- 事業所数では「食料品製造業」が最も多いが、減少傾向にある。

福島県の農業の特徴は？

産業構造マップ → 農業 → 農業の構造

- 農業18部門別の販売金額、主要作物をマップ上に表示

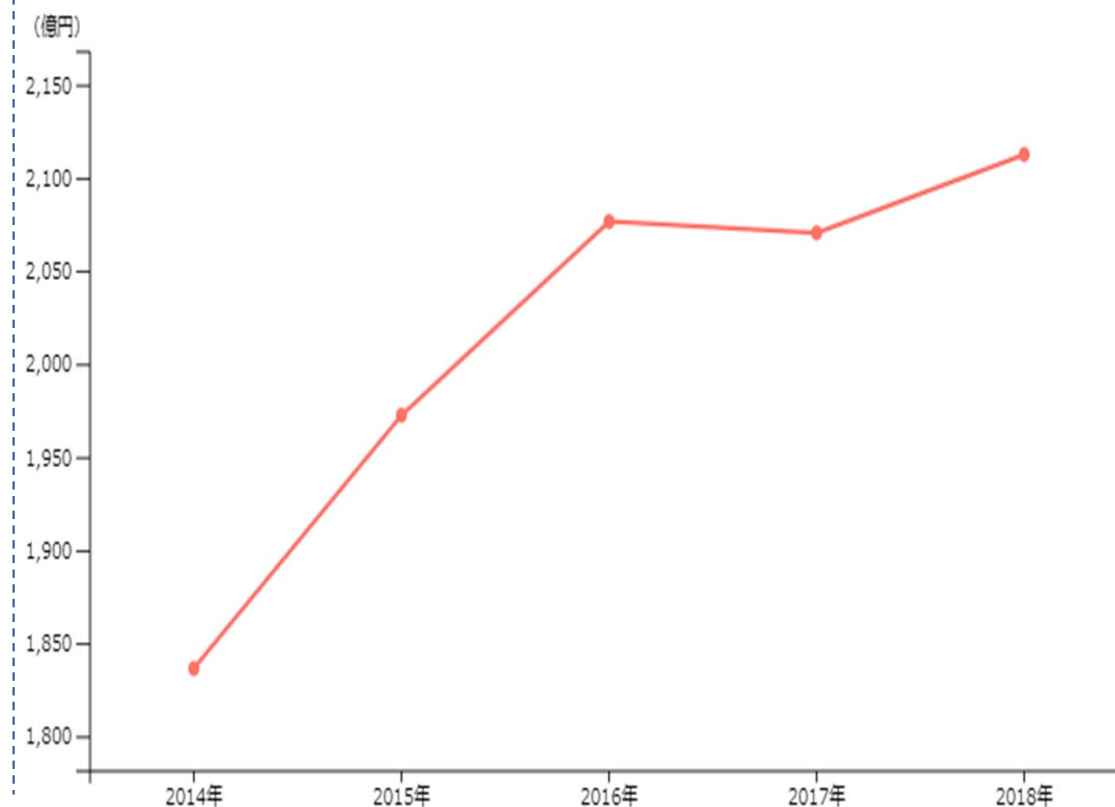
2018年 品目別 農業産出額（総額）
主要な作物をマップ表示



RESAS_農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

- 農業産出額（総額）の折れ線グラフや 農業産出額（経営体あたり）のグラフを表示

2014年～2018年
農業産出額（総額）の推移



RESAS_農林水産省「農林業センサス」再編加工

POINT >>

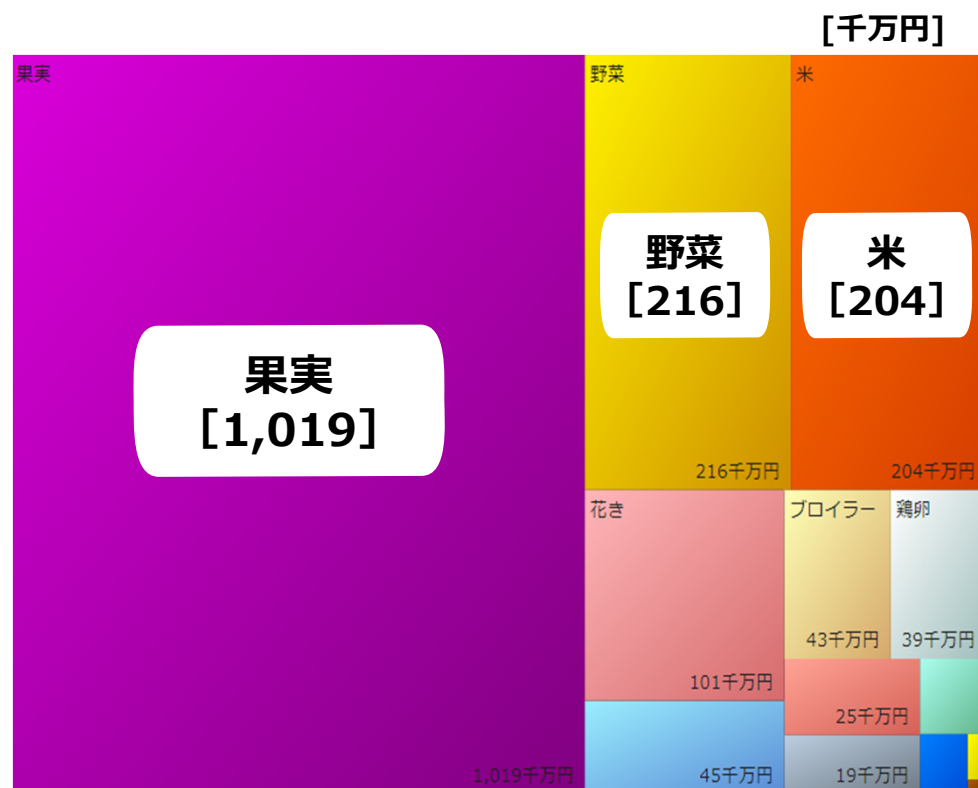
- 福島県は、多くの市町村で「**米**」を主要作物としているが、福島市は「**果実**」が主要作物。
- 福島県の農業産出額（総額）の推移をみると、2016年まで増加し、その後横ばいの傾向にあることがわかる。

福島市の農業の特徴は？

産業構造マップ → 農業 → 農業の構造

- 農業産出額（総額）の品目別の割合（シェア）を見ることができます。

2018年 福島市 品目別 農業産出額（総額）

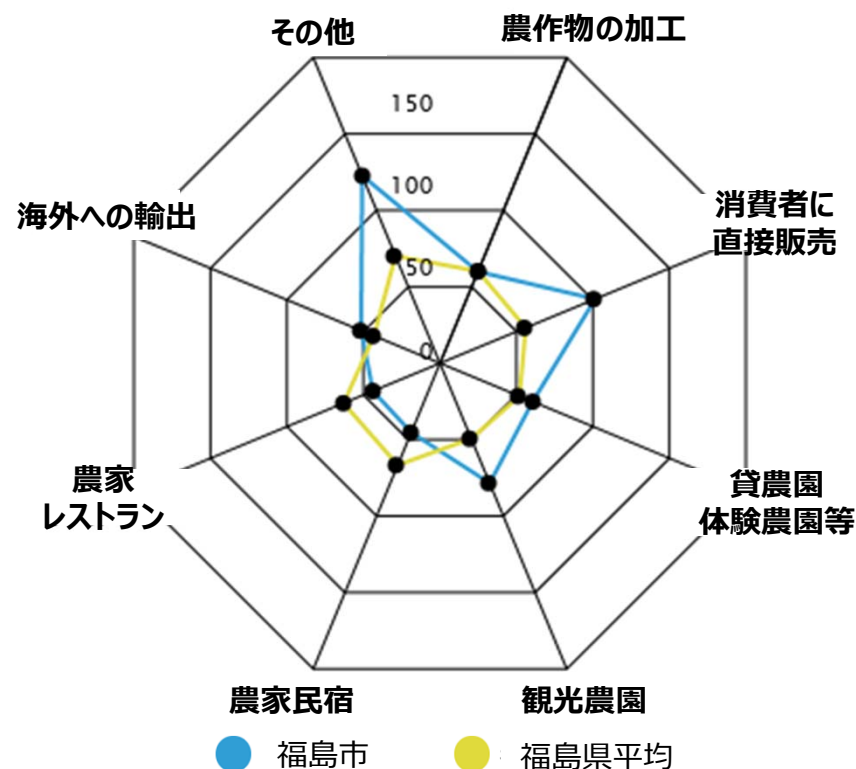


RESAS_農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

産業構造マップ → 農業 → 農業者分析

- 農作物の加工や、観光農園、農家民宿など農業生産の関連事業の状況を偏差値で表示

2015年 農業生産関連事業の実施状況
(レーダーチャート)



RESAS_農林水産省「農林業センサス」再編加工

POINT >>

- 福島市は、「果実」が主要作物であることがわかる。次に「野菜」、「米」と続く。
- 福島市の農業生産関連事業では、県全体の平均と比較して「その他」「消費者に直接販売」の偏差値が高くなっている。

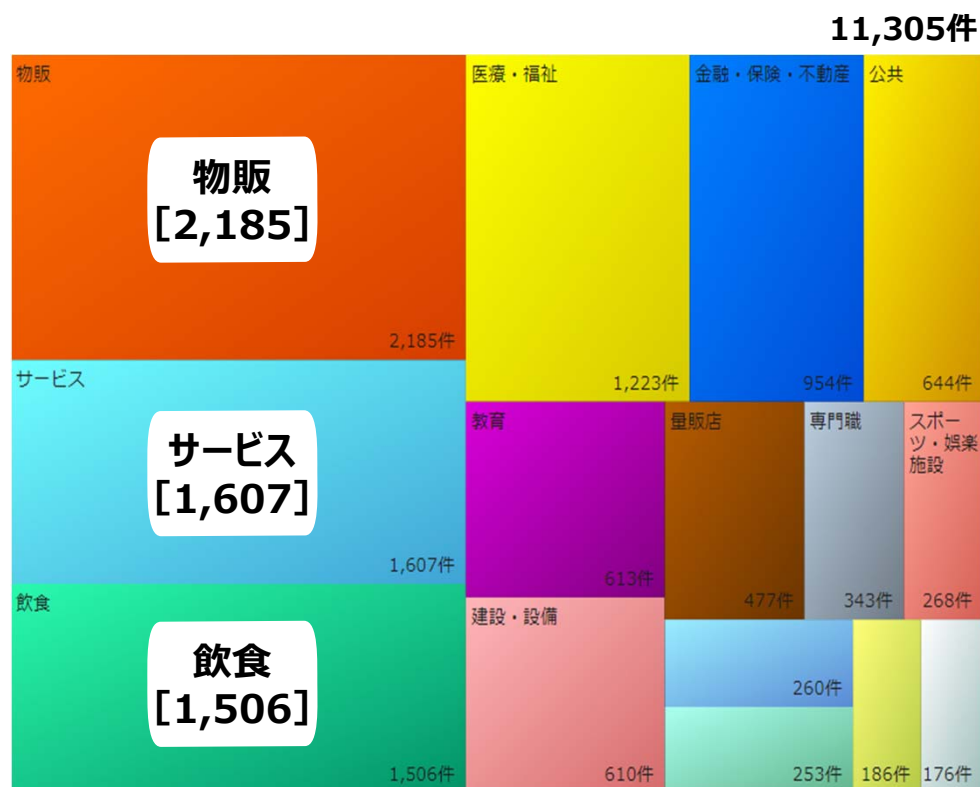
郡山市に立地する事業所の特徴は？

まちづくりマップ → 建物利用状況

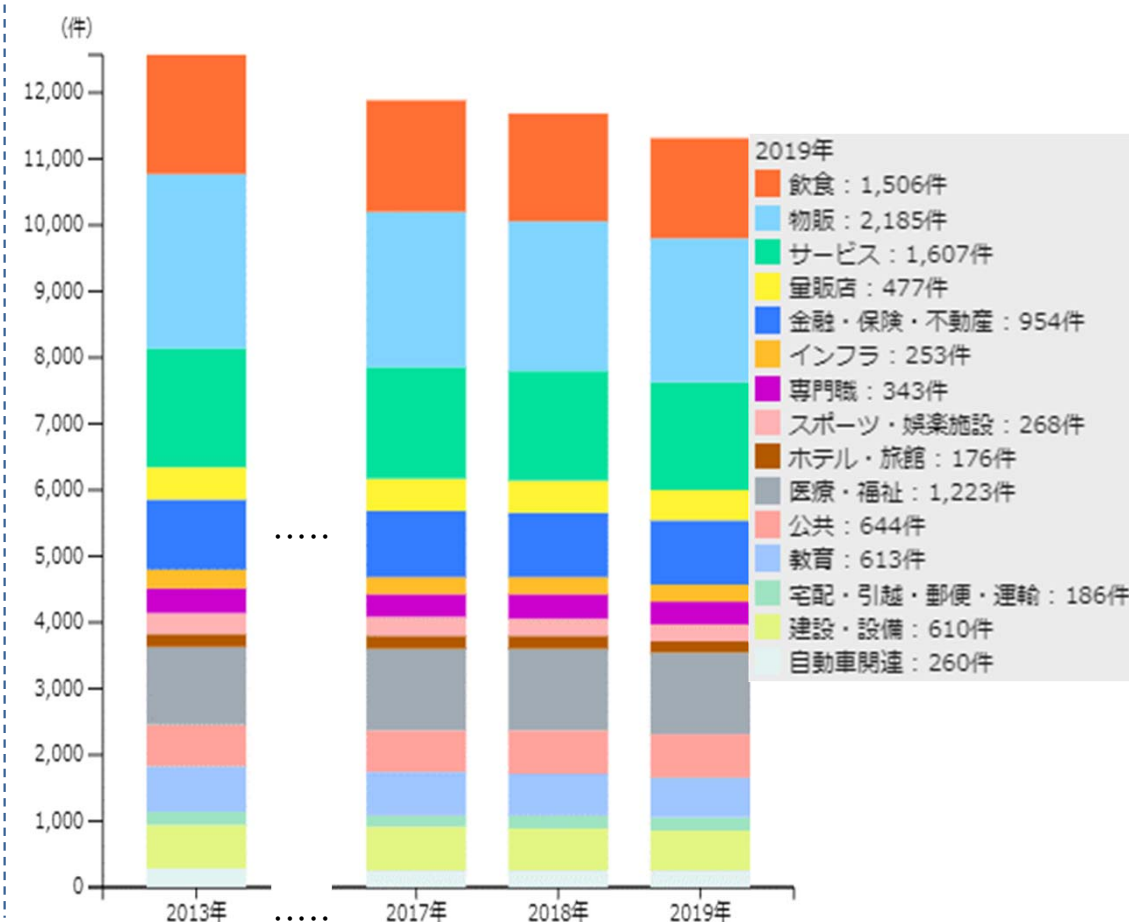
→ 推移グラフを表示する 実数の推移を見る（積み上げグラフ）

➤ 用途別、規模別等の観点で集計された建物棟数および部屋数を表示

2019年 郡山市 種類別事業所数



2013年～2019年
事業所別事業所数の推移



POINT >>

- 郡山市は、「物販」「サービス」「飲食」の割合が高いが、年々減少傾向が続いている。

RESAS_株式会社ゼンリン「建物統計データ」

演習 地域の各産業について

➤ RESAS及びその他の統計データから地域の人口の特徴を調べてシートに整理します。

項 目	内 容	RESAS操作等
地域の製造業の詳細は？	製造業の現状（付加価値額・製造品出荷額等・従業者数） 製造業の推移	産業構造マップ＞製造業 ＞製造業の構造＞表示分類を指定する＞中分類 ＞推移を見る
地域の農業は？	農業の構造・推移 農業者の生産関連事業	産業構造マップ＞農業 ＞農業の構造 ＞農業産出額 ＞農業者分析＞農業生産関連事業の実施状況
地域の商業は？ 事業所の立地状況は？	卸売業・小売業の構造・推移（事業所数・従業者数・年間商品販売額） 立地の状況	産業構造マップ＞小売・卸売業（消費） ＞商業の構造 ＞年間商品販売額 まちづくりマップ＞建物利用状況 ＞推移グラフを表示する

まとめ 地域の各産業の特徴

RESAS問題（産業構造マップ）

質問です

福島県産の漬物が一番消費されている都道府県はどこでしょう？



宮城県

福島県

東京都

【操作方法】

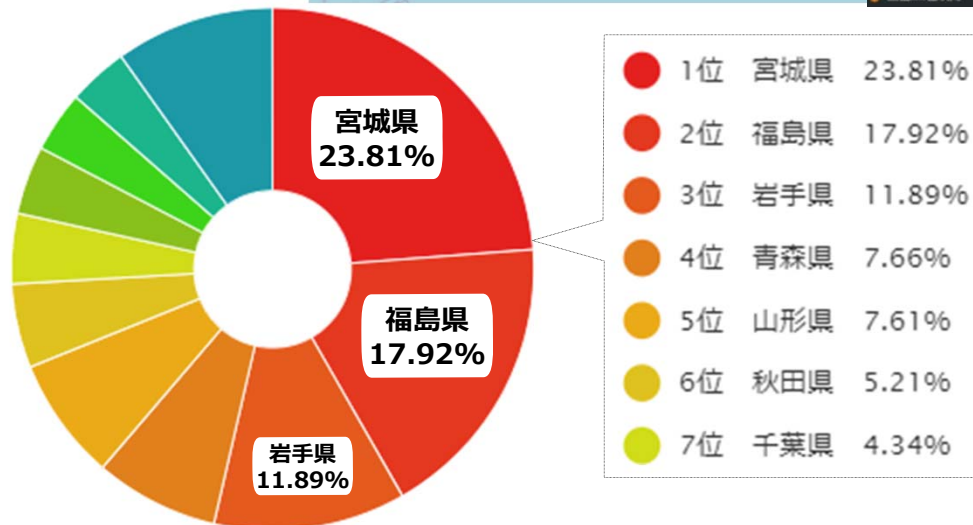
- ①「産業構造マップ」→「小売・卸売業（消費）」→「From-to分析（POSデータ）」を選択する。
- ②「福島県」→「2019年→すべての期間」を選択する。
- ③表示する分類を指定する→「加工食品」→「漬物・佃煮」→「漬物」を選択する。
- ④表示する指標を指定する→「地産品の消費地別割合」を選択する。
- ⑤「グラフを表示」をクリックする。

産業構造マップ → 小売・卸売業（消費） → From-to分析（POSデータ）

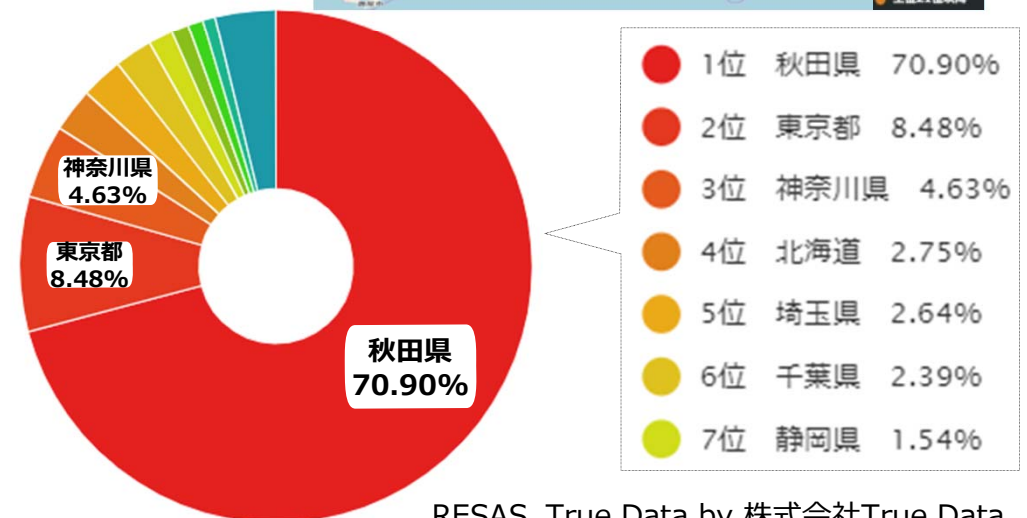
- 地域のスーパー、ドラッグストアのレジのPOSデータを基に、生産地と消費地の関係、消費地別シェアやその推移を表示。

福島県・秋田県 2019年 From-to分析（POSデータ） 地産品の消費地

福島県の漬物 販売先



秋田県の漬物 販売先



RESAS_True Data by 株式会社True Data

POINT >>

両県の県産漬物の消費地を比較すると、秋田県は域内での消費が約7割を占めているのに対して、福島県は8割以上を域外に販売している。

質問です

福島県の商業・観光施設などで最も多くナビアプリで検索されているのはどこでしょう？

（検索条件：2018年、休日、交通手段は自動車）



スパリゾートハワイアンズ（いわき市）



あぶくま洞（田村市）



大内宿（下郷町）

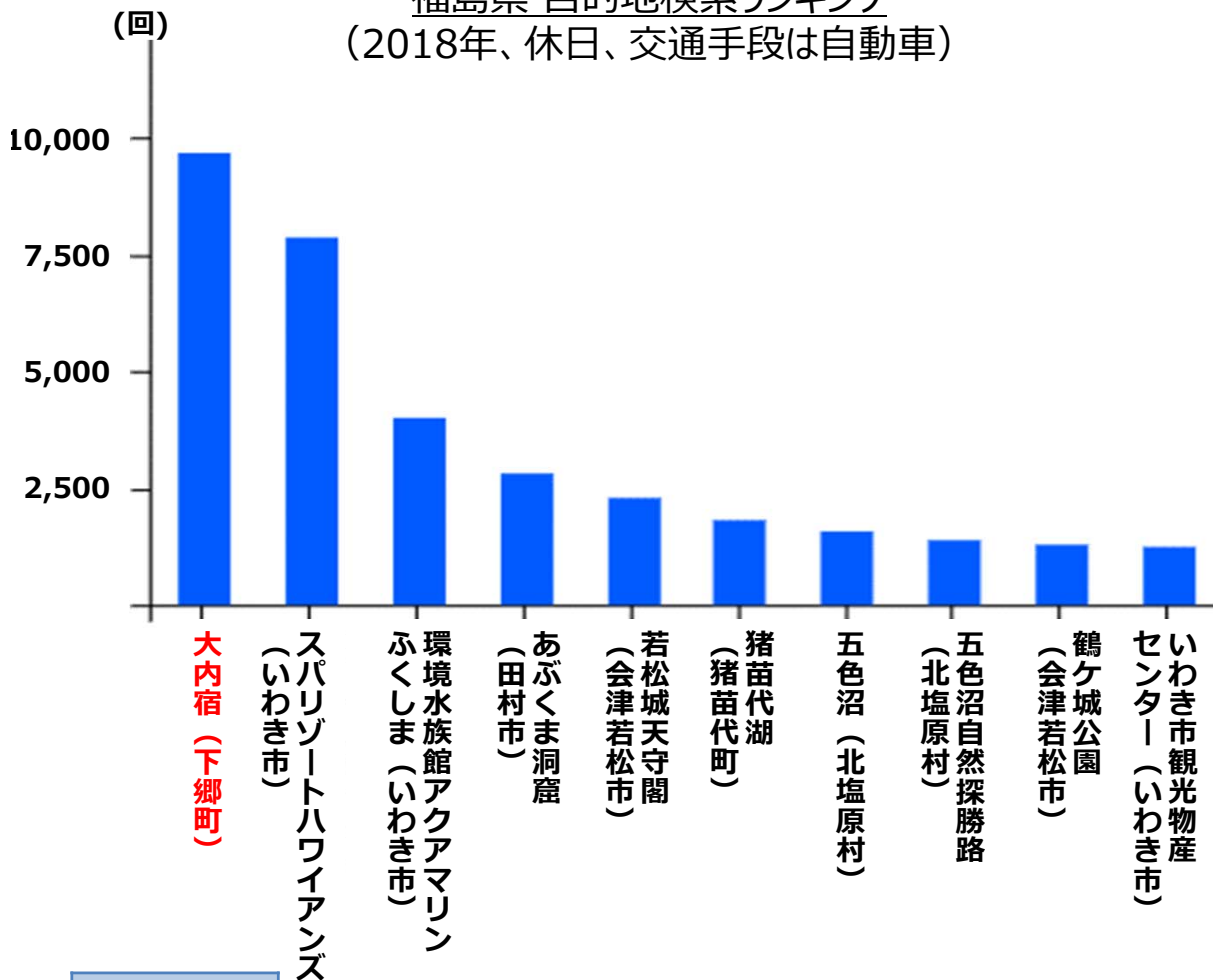
【操作方法】

- ①「観光マップ」→「国内」→「目的地分析」を選択する。
- ②検索条件として、「2018年→すべての期間」、「休日」、「自動車」を選択する。
- ③「目的地検索ランキングを表示」をクリックする。
- ④「都道府県単位で表示する」→「福島県」を選択する。

観光マップ → 国内 → 目的地分析

➤ ナビアプリの情報をもとに、観光施設の検索回数や検索時期、出発地を表示

福島県 目的地検索ランキング
(2018年、休日、交通手段は自動車)



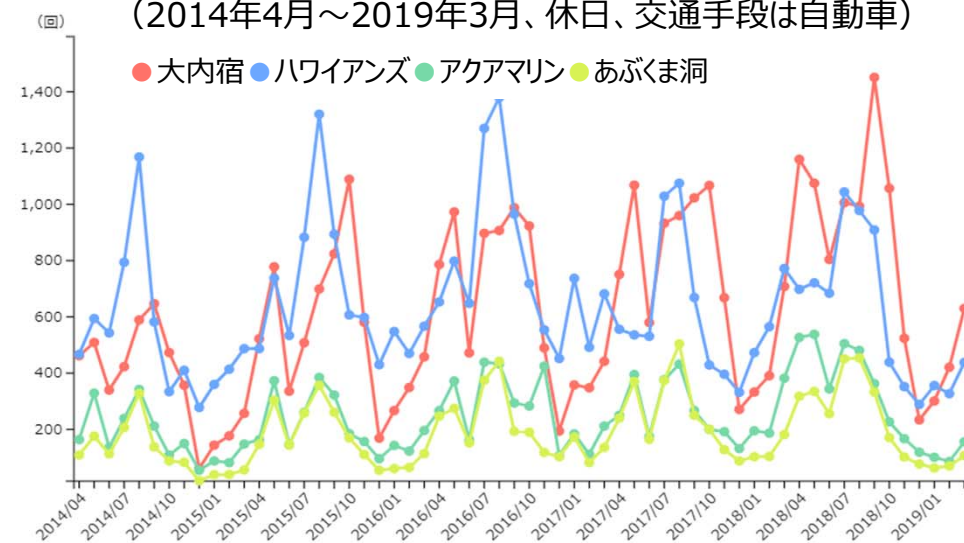
POINT >>

RESAS_(株)ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」

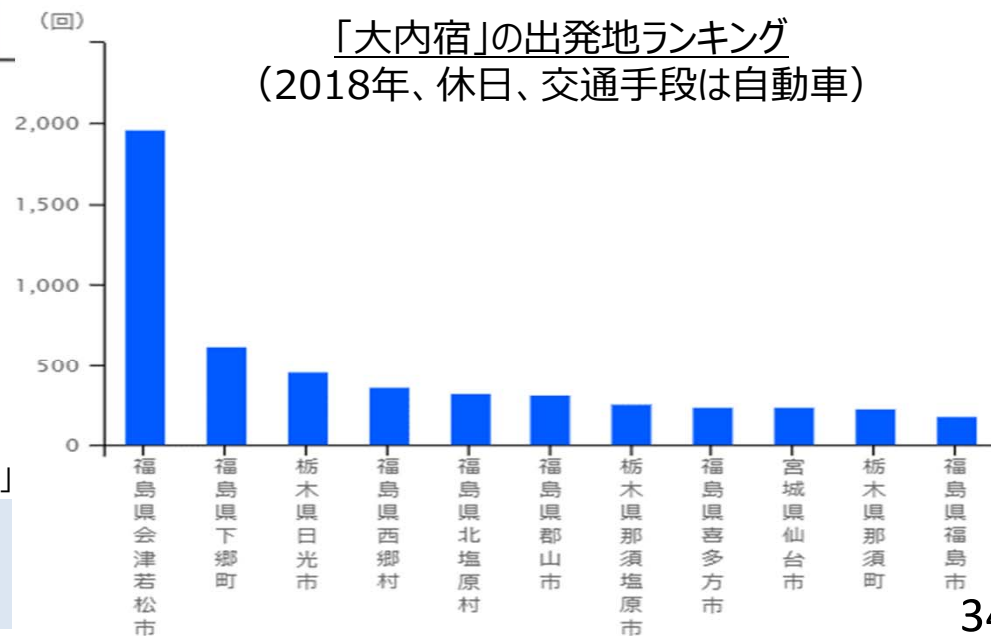
- 「大内宿」、「スパリゾートハワイアンズ」などで、検索回数が多くなっている。

月別検索回数の推移

(2014年4月～2019年3月、休日、交通手段は自動車)



「大内宿」の出発地ランキング
(2018年、休日、交通手段は自動車)



会津若松市の来訪者はどこから来ている？

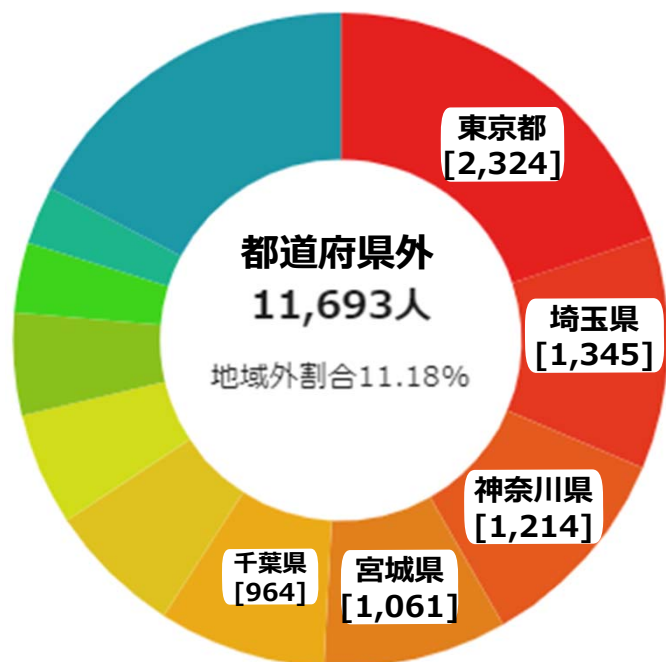
まちづくりマップ → From-to分析（滞在人口）

➤ どの地域から来る人が多く滞在しているかを平日・休日別、男女別、年代別などで表示

会津若松市の滞在人口の地域別構成割合 (都道府県 → 市町村)

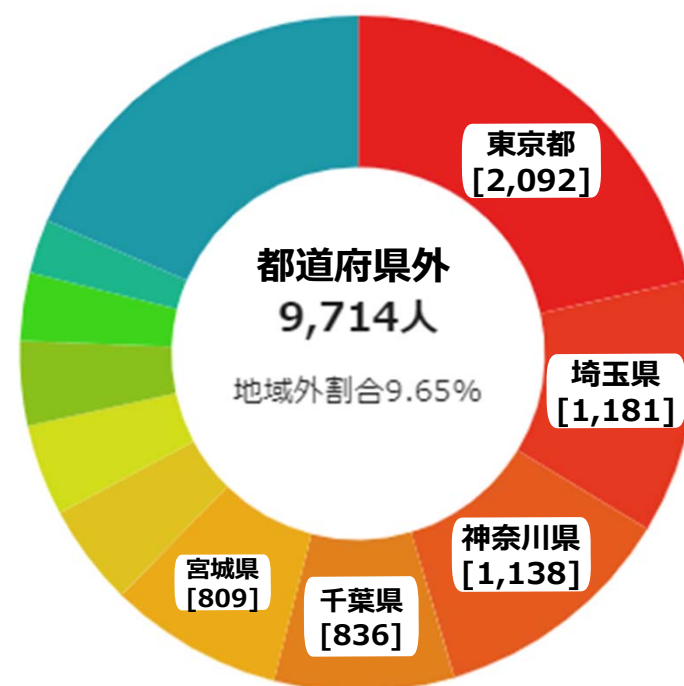
(2019年 8月 **14時** 休日)

滞在人口合計：104,604人
※ このうち県内人口は 92,911人
(国勢調査人口：95,223人)



(2019年 8月 **20時** 休日)

滞在人口合計：100,698人
※ このうち県内人口は 90,984人
(国勢調査人口：95,223人)



POINT >>

RESAS_株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」

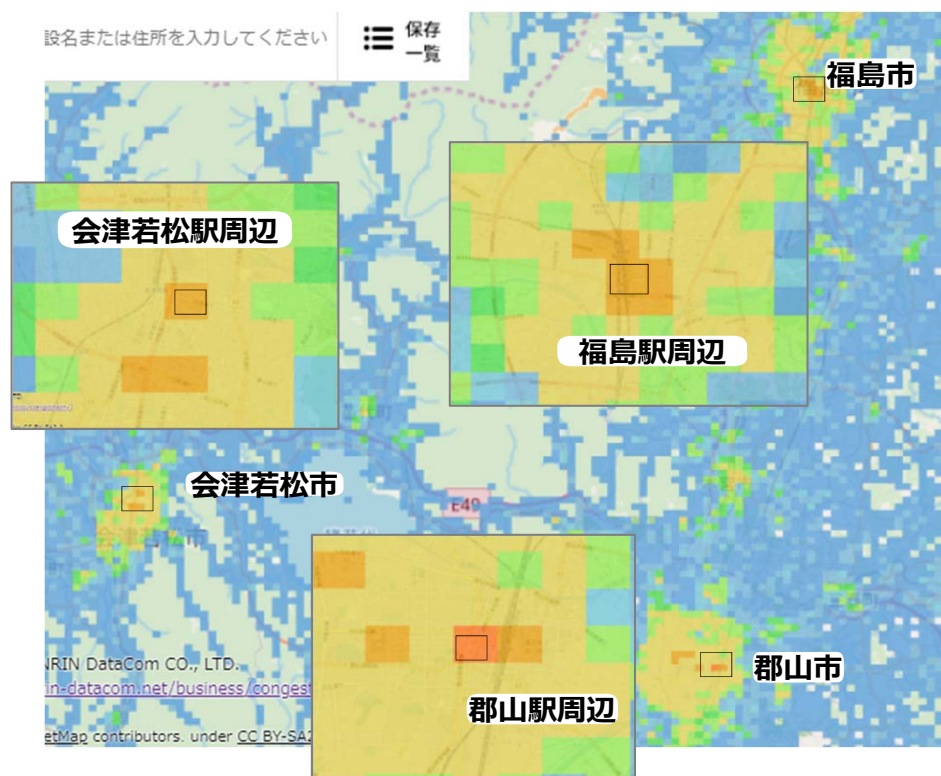
- 時間帯の比較により、**昼間の8割程度（総数）**の人口が滞在していることがわかる。

福島県のどこに人が集まっている？

まちづくりマップ → 流動人口メッシュ

➤ スマートフォンアプリの位置情報をもとに、500mメッシュにおける流動人口を月別・時間帯別で表示

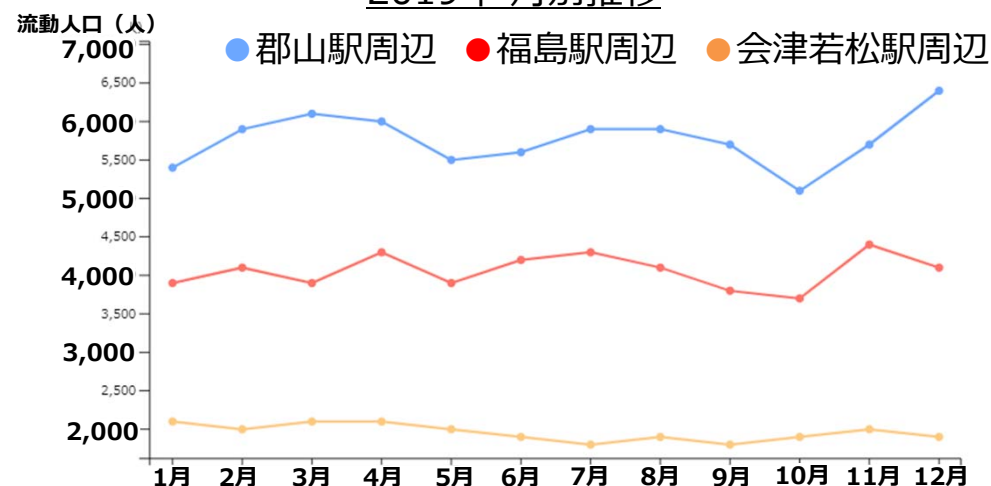
2019年 5月 休日 流動人口メッシュ



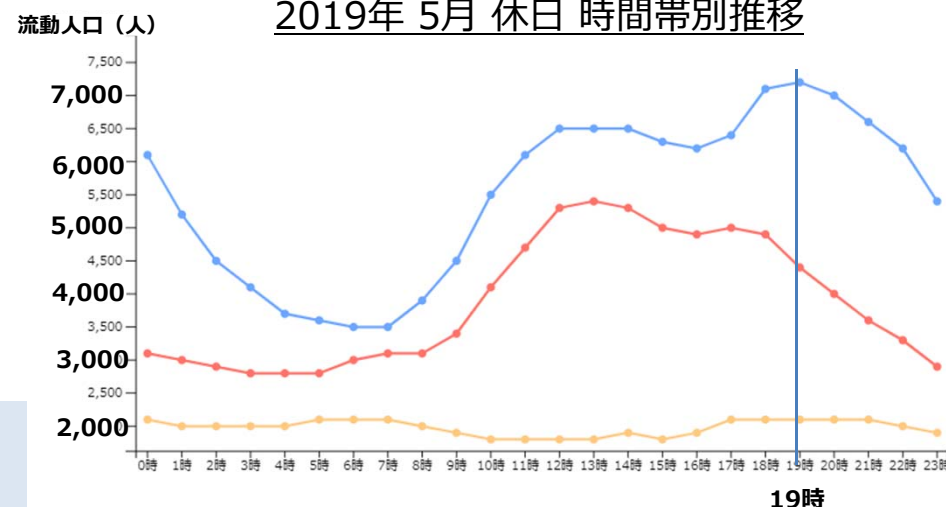
POINT >>

- 2019年の月別推移を見ると、3地点では、**郡山駅周辺**の流動人口が最も多い。郡山と福島駅周辺は同じような推移である。5月の時間帯別推移では、郡山駅周辺では**19時頃**に流動人口のピークを迎えている。

2019年 月別推移



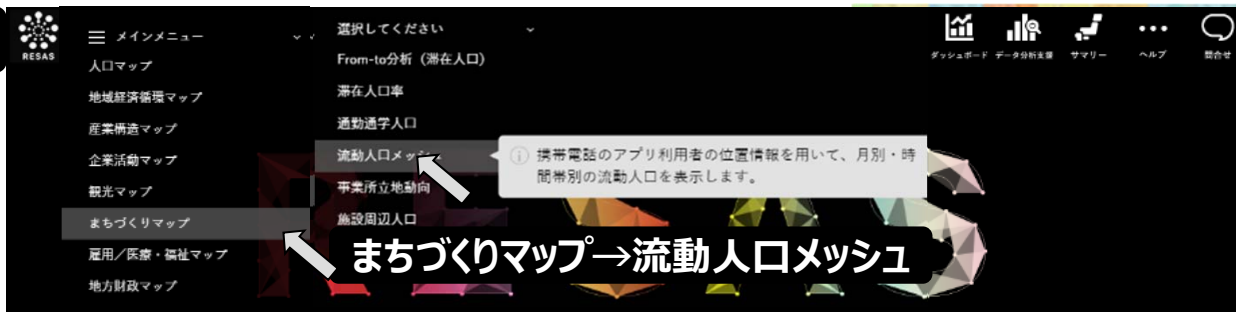
2019年 5月 休日 時間帯別推移



【参考】各種メッシュの操作方法

メッシュの操作方法は「人口マップー人口メッシュ・将来人口メッシュ」「観光マップー外国人ー外国人メッシュ」「まちづくりマップー流動人口メッシュ」でも同様の操作になります。
本頁は例として「まちづくりマップー流動人口メッシュ」の操作方法を掲載します。

手順①



手順④

地域選択モード

✓ 任意の地域を選択する

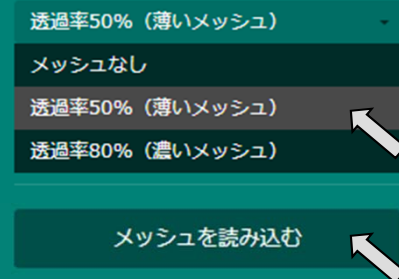
手順②

各条件
を選択



手順③

メッシュ読み込み



メッシュの濃さを指定して、メッシュを読み込みます

「任意の地域を選択する」を選択

任意の地域をドラッグ(左クリックしたまま引きずる)して囲みます

手順⑤

選択した任意の地域一覧 (10文字以内)

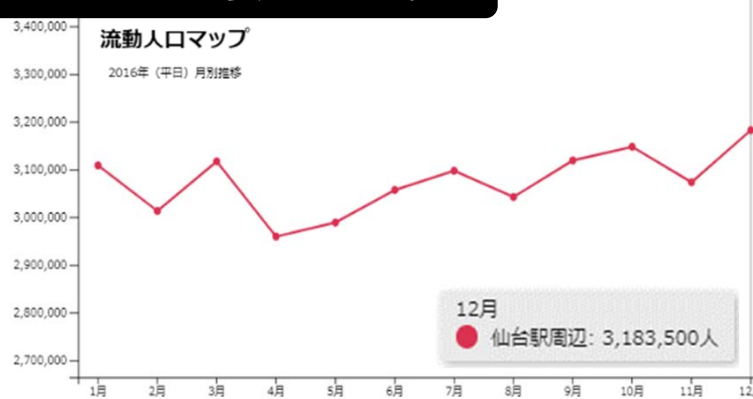
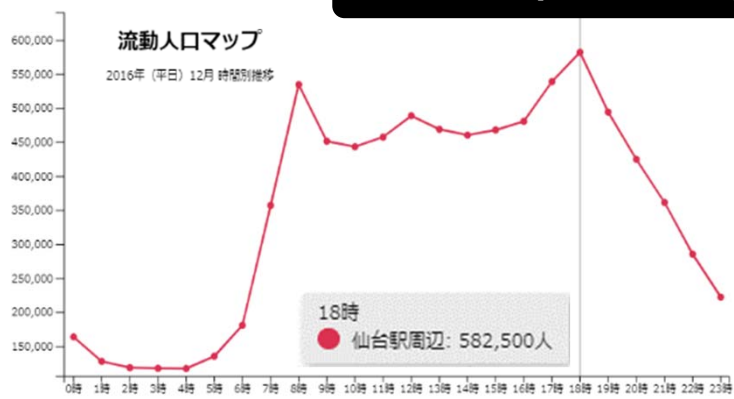
仙台駅周辺

任意の地域の名称を入力し、**Enterキーを2回押す(重要)**

手順⑥

グラフを表示

月別・時間別で流動人口のグラフが表示されます

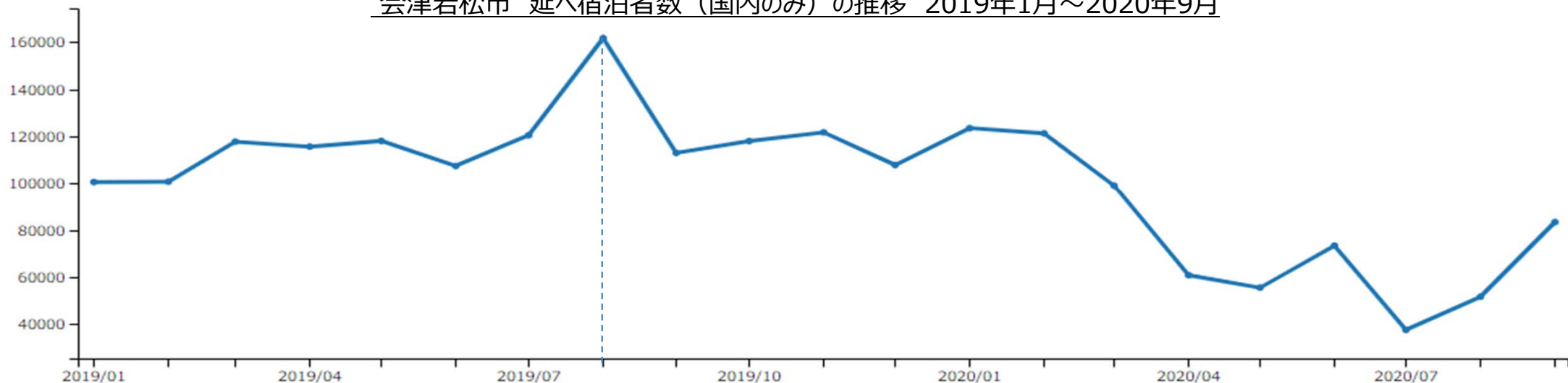


会津若松市における宿泊者の傾向は？

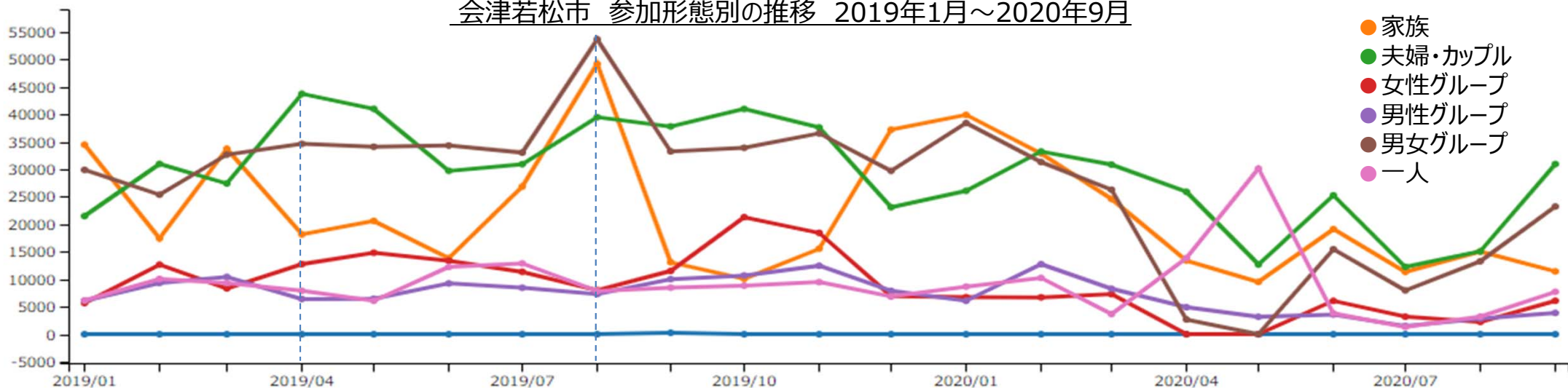
(RESAS外) 観光予報プラットフォーム → 観光実績 → 単純集計

➤ 日本全体の宿泊実績データのうち、サンプリングデータを抽出し、宿泊者数の実績、予測データを算出し表示

会津若松市 延べ宿泊者数（国内のみ）の推移 2019年1月～2020年9月



会津若松市 参加形態別の推移 2019年1月～2020年9月



観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」(<https://kankouyohou.com/>)

POINT >>

- 2019年の会津若松市における宿泊者は、**8月にピーク**となっていることが分かる。参加形態別性別では「**夫婦・カップル**」が4月、「**男女グループ**」「**家族**」が8月と、それぞれ異なったピークとなっていることが分かる。

演習 地産品や観光(国内)について

➤ RESAS及びその他の統計データから地域の人口の特徴を調べてシートに整理します。

項 目	内 容	RESAS操作等
地産品の消費傾向は？	特化係数(購入金額) 地産品の消費地	産業構造マップ>小売り・卸売業(消費) >消費の傾向(POSデータ)>特化係数(購入金額) >From-to分析(POSデータ)>地産品の消費地別割合
人気の観光地(目的地)は？	目的地 どこから いつ	観光マップ>国内>目的地分析 >地図上の任意の観光スポットにカーソルを合わせ「出発地を表示」をクリック >目的地ランキング>推移を見る
滞在者の状況は？	From-To どこに いつ	まちづくりマップ>From-To分析(滞在人口) まちづくりマップ>流動人口メッシュ
宿泊者の状況は？	いつ どのくらい どのようなひとが	観光予報プラットフォーム(RESAS外) https://kankouyohou.com/ >観光実績>単純集計 >宿泊者(国内のみ) >参加形態別

まとめ 地産品や観光(国内)の特徴

RESAS問題（観光マップ）

2018年、福島県には、どこの国からの訪問者が最も多かったでしょうか？



【操作方法】

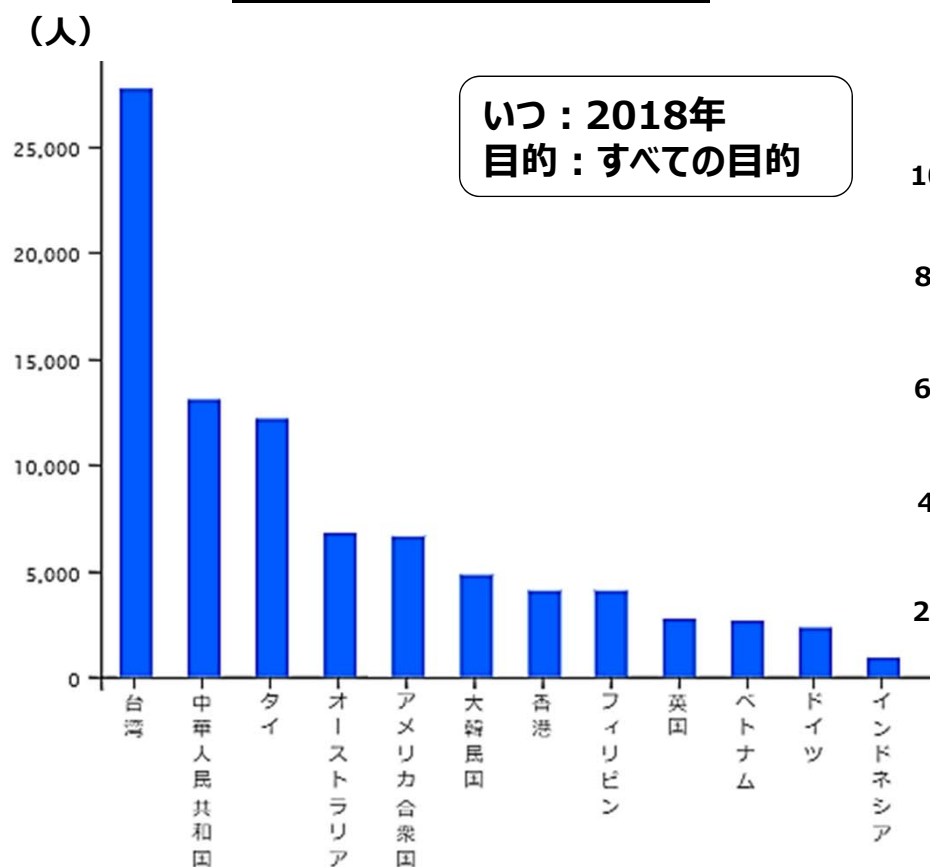
- ①「観光マップ」→「外国人」→「外国人訪問分析」を選択する。
- ②「都道府県単位で表示する」→「福島県」を選択する。
- ③検索条件として、「2018年→すべての期間」を選択する。
- ④「指定した都道府県で分析する」をクリックする。

解答 台湾

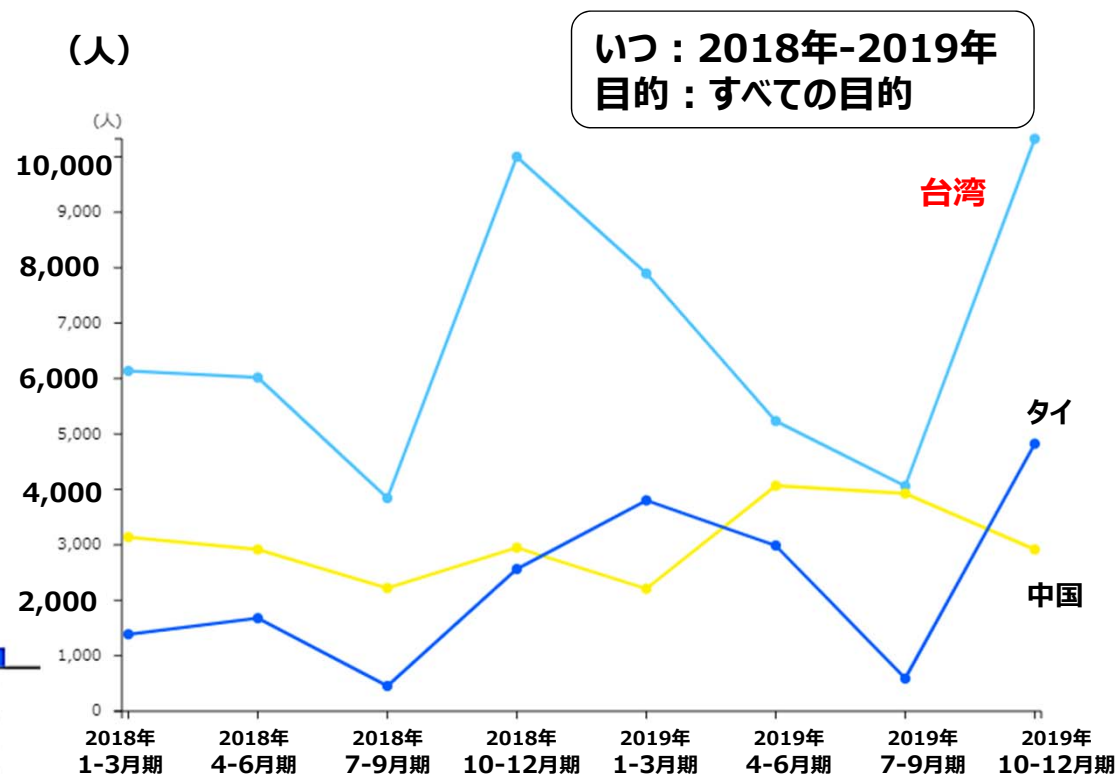
観光マップ → 外国人 → 外国人訪問分析

- 国籍別・目的別（「すべての目的」or「観光・レジャー目的」）の外国人の訪問者数を、都道府県単位で表示

福島県の国籍別訪問者数



月別推移



RESAS_観光庁「訪日外国人消費動向調査」、日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」

POINT >>

福島県は、**台湾**からの訪問者数が多くなっており、**秋～冬季(10月～12月)**に**ピーク**がみられる。また、**国籍**により**訪問時期**に**違い**が見られる。

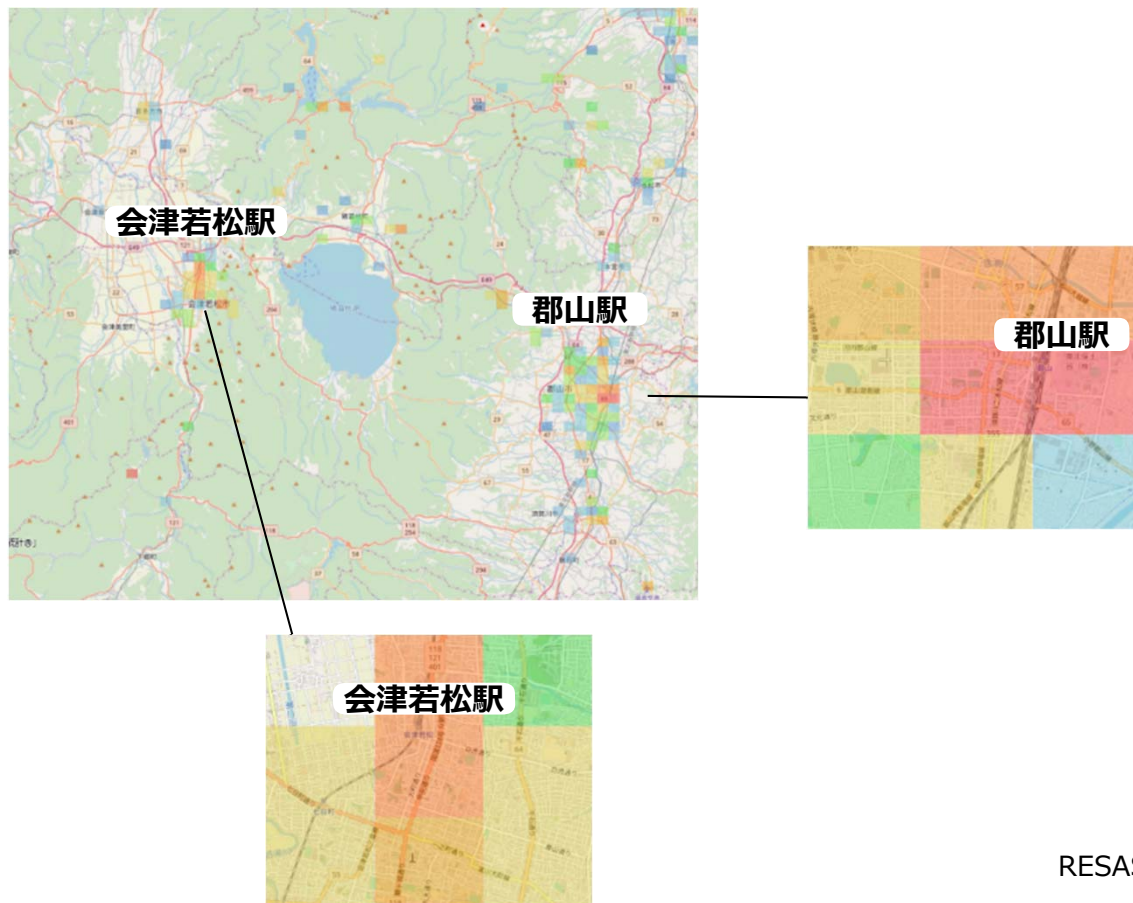
訪日外国人は福島県のどこを訪問している？

観光マップ → 外国人 → 外国人メッシュ

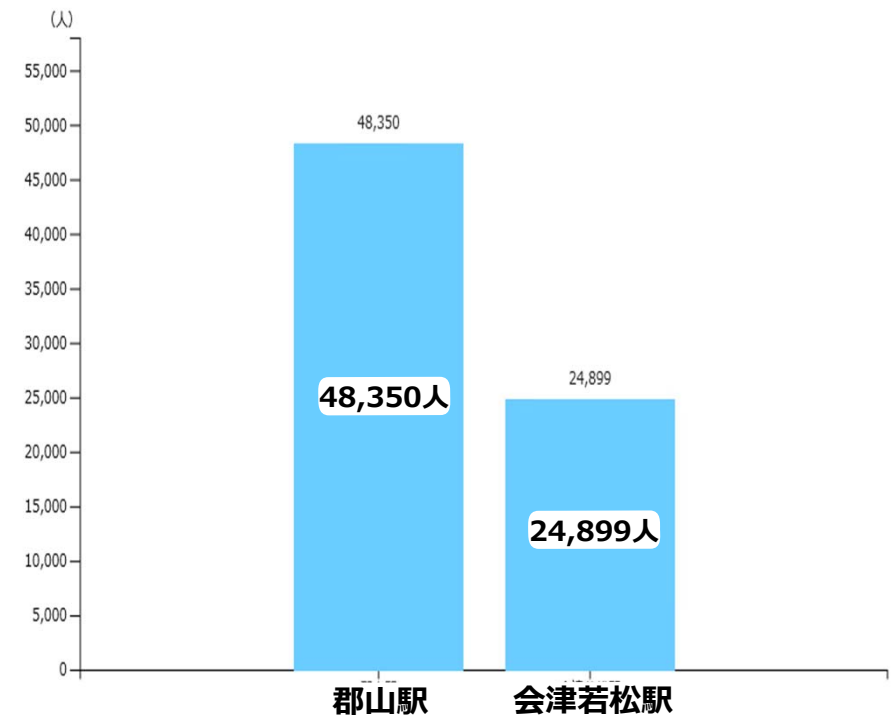
- 1kmメッシュ単位で、外国人の滞在状況、集積度合いをヒートマップで表示
また、任意に指定した範囲における外国人滞在者数をグラフで表示し、地域間の比較ができる

訪日外国人における約400万台の携帯電話の運用データを基に拡大推計。
メッシュ内に1時間以上滞在した人数を日別に算出し、対象期間の日数分の積算をしている。

1kmメッシュで外国人滞在者数を表示



選択地域内の外国人滞在者数 2017年8月～2018年7月



RESAS_株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」

POINT >>

福島県においては、**主要駅周辺で外国人の滞在者数が多い。**

(参考) 訪日外国人はどこを訪問している！？

観光マップ → 外国人 → 外国人メッシュ

➤ 1kmメッシュ単位で、外国人の滞在状況、集積度合いをヒートマップで表示

東北 外国人が集まるスポット トップ10

スポット	滞在者数
【宮城県】 仙台市内（広瀬通周辺）	83,191 人
【青森県】 青森市内（アスパム周辺）	59,795 人
【青森県】 星野リゾート 青森屋	50,766 人
【岩手県】 安比高原スキー場	34,157 人
【青森県】 十和田湖	33,071 人
【岩手県】 花巻温泉	30,544 人
【青森県】 奥入瀬溪流	30,442 人
【青森県】 三沢市内（三沢基地周辺）	29,905 人
【山形県】 蔵王スカイケーブル	25,353 人
【青森県】 弘前城	22,677 人

(注1) 滞在者数は、ピンの立っている1kmメッシュ内の人数。

(注2) 駅・空港は除いている。

- ・ **仙台市街（広瀬通周辺）**が、外国人滞在者が最も多い。
- ・ **蔵王スカイケーブル**や**安比高原**などのスキー場や**花巻温泉**などで、外国人の滞在者が多くなっている。
- ・ **青森県**は**外国人が集まるスポットが多い**。

青森 外国人が集まるスポット トップ5

スポット	滞在者数
青森市内（アスパム周辺）	59,795 人
星野リゾート 青森屋	50,766 人
十和田湖	33,071 人
奥入瀬溪流	30,442 人
三沢市内（三沢基地周辺）	29,905 人

岩手 外国人が集まるスポット トップ5

スポット	滞在者数
安比高原スキー場	34,157 人
花巻温泉	30,544 人
つなぎ温泉	13,438 人
雫石スキー場	10,849 人
猊鼻溪	10,628 人

宮城 外国人が集まるスポット トップ5

スポット	滞在者数
仙台市内（広瀬通周辺）	83,191 人
三井アウトレットパーク仙台港周辺	21,691 人
松島海岸	19,344 人
秋保温泉	9,226 人
アクティブリゾート宮城蔵王周辺	8,160 人

※RESASデータから作成

秋田 外国人が集まるスポット トップ5

スポット	滞在者数
秋田市街（川反周辺）	16,130 人
角館武家屋敷	13,850 人
田沢湖	9,947 人
大湯温泉	7,219 人
乳頭温泉	6,870 人

山形 外国人が集まるスポット トップ5

スポット	滞在者数
蔵王スカイケーブル	25,353 人
天童市街（天童温泉）	21,562 人
銀山温泉	20,659 人
山形市街（霞城公園）	6,927 人
上山市街（かみのやま温泉）	4,946 人

福島 外国人が集まるスポット トップ5

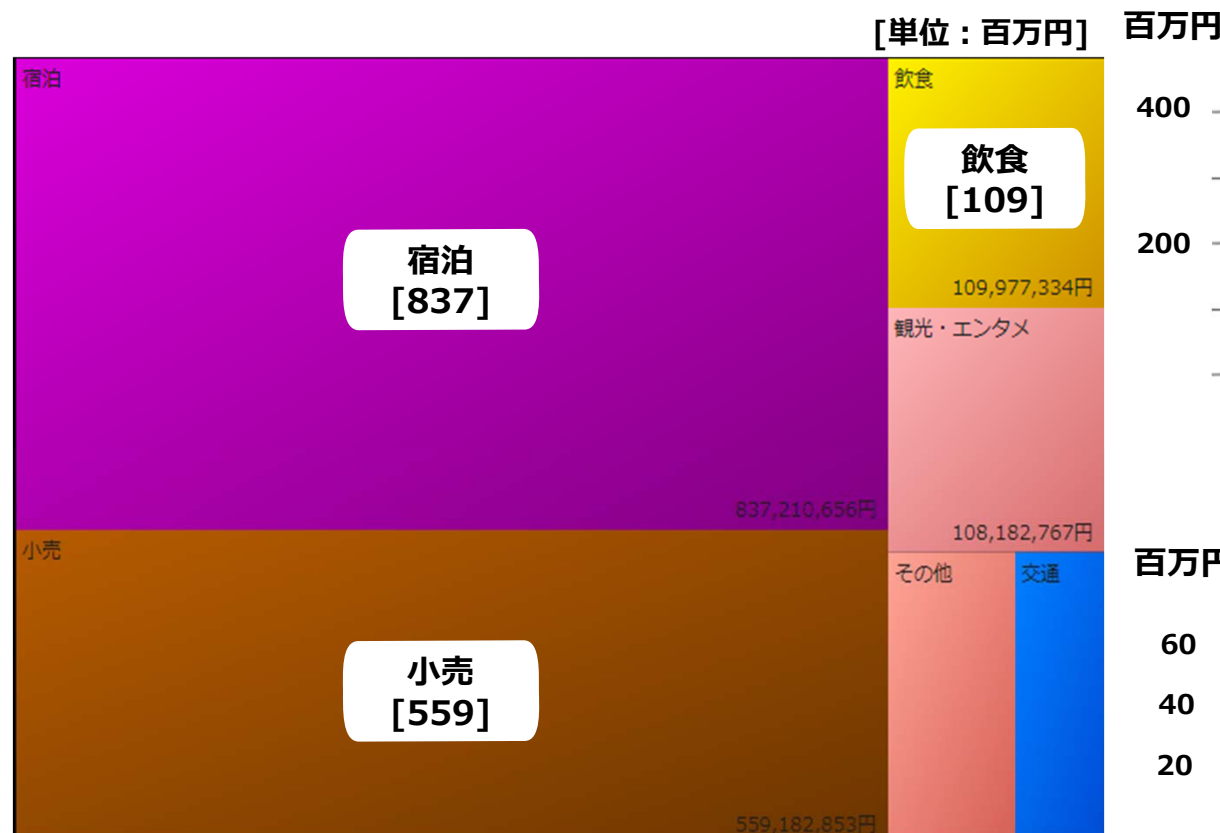
スポット	滞在者数
大内宿	10,980 人
ホテルリステル猪苗代周辺	8,325 人
アクティブリゾート裏磐梯周辺	8,000 人
鶴ヶ城公園	7,220 人
会津東山温泉	5,802 人

福島県のインバウンドの消費傾向は？

観光マップ → 外国人 → 外国人消費の構造 / 外国人消費の比較（クレジットカード）

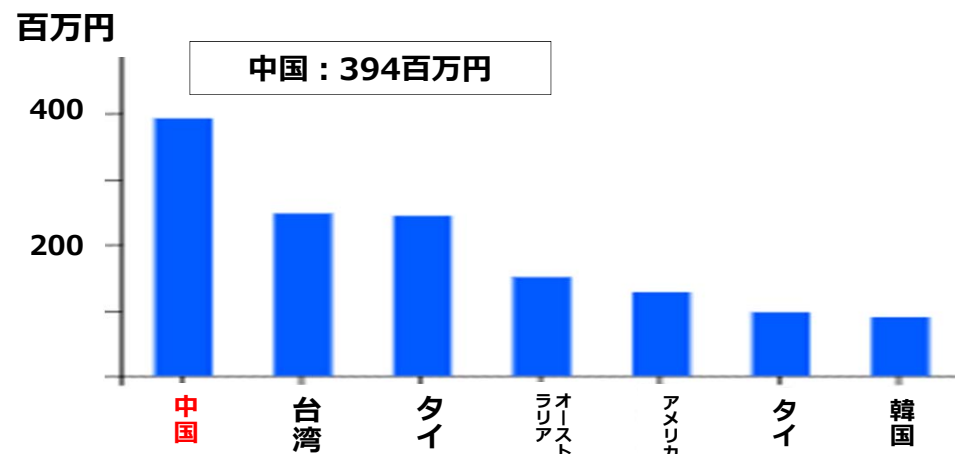
- 外国人訪問客によるクレジットカードの消費額を、月別、部門別、国籍別に割合で表示
また、消費履歴を基に、地域別・国籍別に消費額とその推移や取引件数などを表示

福島県 2018年 部門別消費額 大分類

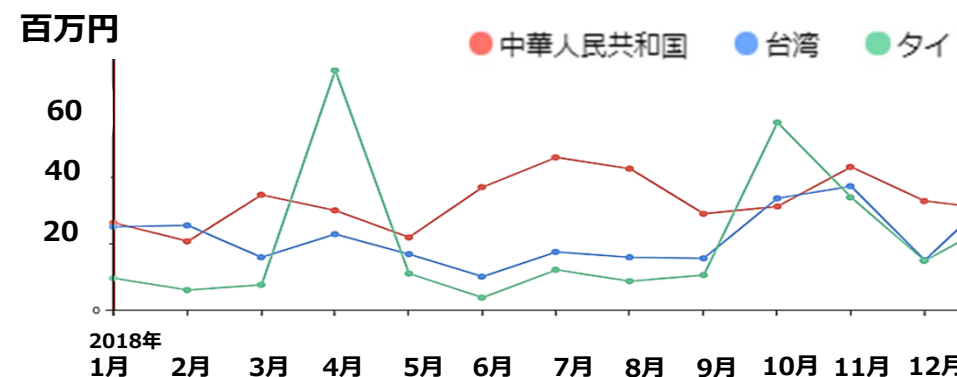


RESAS_ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社のカードデータを再編加工

福島県 2018年 国籍別消費額



福島県 2018年 国籍別消費額の推移



POINT >>

全体に占める割合は「宿泊」や「小売」で高くなっていることが分かる。
また、国籍別消費額は「中国」が高い。

演習 インバウンドについて

➤ RESAS及びその他の統計データから地域の人口の特徴を調べてシートに整理します。

項 目	内 容	RESAS操作等
国別の訪問の傾向は？	いつ どこから	観光マップ＞外国人＞外国人訪問分析
人気のスポットは？	どこに どのくらい	観光マップ＞外国人＞外国人メッシュ
消費の傾向は？	なにを いつ どのくらい	観光マップ＞外国人＞外国人消費の構造 / 外国人消費の比較(クレジットカード)まちづくりマップ＞From-To分析(滞在人口) まちづくりマップ＞流動人口メッシュ
宿泊者の状況は？	いつ どのくらい	観光予報プラットフォーム(RESAS外) https://kankouyohou.com/ ＞観光実績＞単純集計 ＞宿泊者(海外のみ)

まとめ インバウンドの特徴

Contents

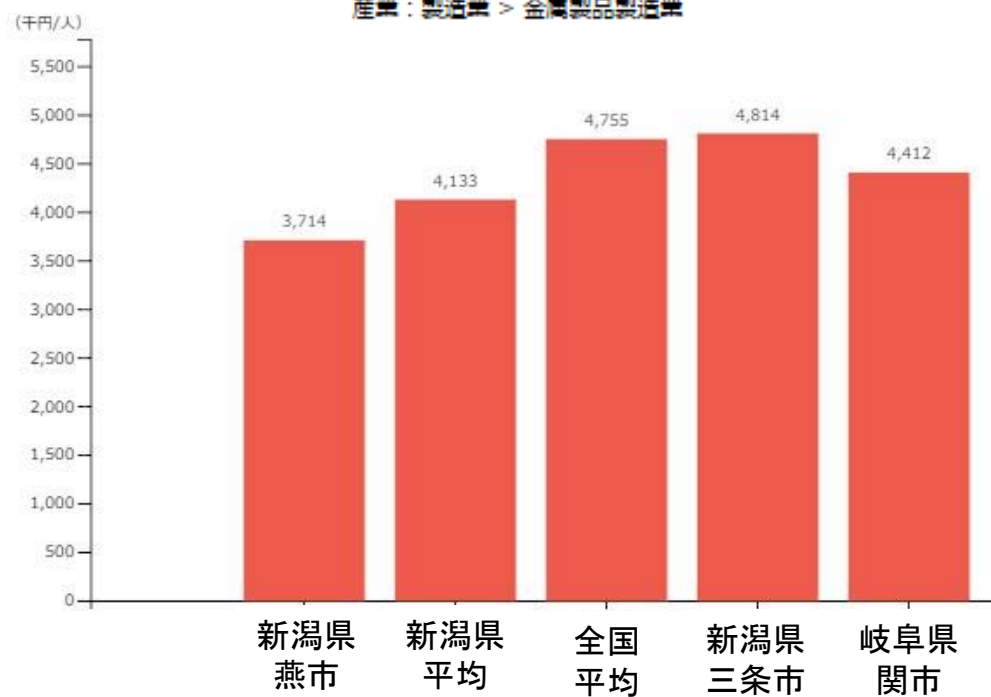
- ① RESASとは？
- ② 操作方法
- ③ 主なデータの紹介
- ④ RESASの活用事例**
- ⑤ RESAS活用に役立つ情報

活用事例（自治体：新潟県燕市）

- RESASにより、市の中核産業である金属製品製造業について、生産性の低さ等の課題を分析。また、RESASデータで、卸売業が、金属製品製造業の振興に重要な役割を果たしていることを再認識。
- こうしたことを踏まえ、金属製品製造業の高付加価値化に加え、卸売業（地元商社）への支援など、施策展開につなげている。
- また、外部講師を招き、RESASを活用した職員向け研修を実施するなど、データに基づく行政を推進。

労働生産性（企業単位） 2012年

産業：製造業 > 金属製品製造業



出典：総務省・経済産業省「平成24年経済センサスー活動調査」再編加工

販路開拓、ビジネスマッチングへの支援

国内外での展示会出展費用を支援し、市内企業の販路開拓を後押し。また、三条市と連携して行う「燕三条ものづくりメッセ」を開催し、産地企業の技術力を積極的に発信。さらに地元商社が一堂に会する「燕三条卸メッセ」も開催し、あらゆる分野の優れた商品を展示PR。



燕三条ものづくりメッセ

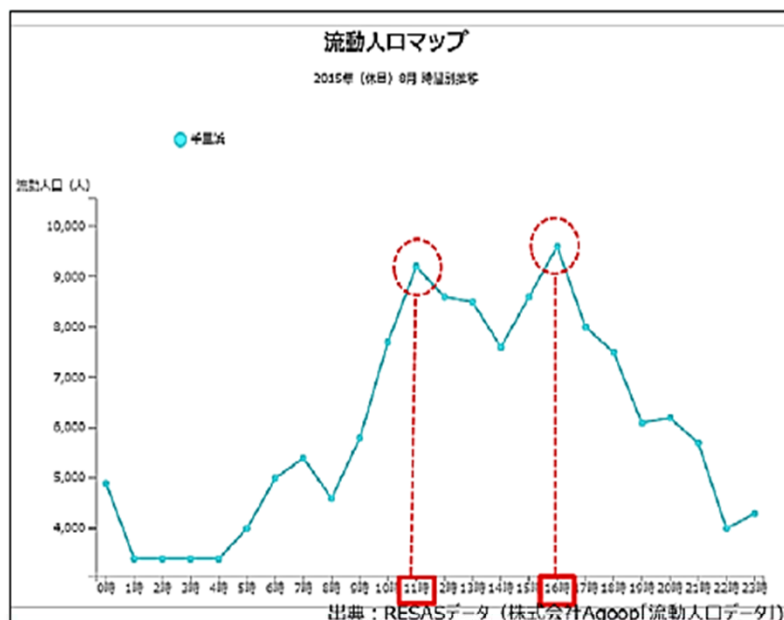
庁内データ分析研修



RESASを活用した
データ分析研修の様子

活用事例（自治体：石川県羽咋市）

- RESASと独自データを組み合わせて、地域の農業の状況や、観光客の動向等を分析するワークショップを開催（中部経済産業局、金沢大学、民間企業等が参加）。
- 農業の6次産業化や、道の駅を生かした交流人口の拡大・地域経済の活性化に向けて、地方創生推進交付金を活用しつつ、地域商社を核とした各種事業を展開中。



千里浜は、昼食・夕食時に流動人口が低下。
観光客が滞在するような施策の必要性を確認。

＜事業イメージ＞

【今後の施策の展開1】 地方創生推進交付金を活用した事業展開

石川県羽咋市

地域商社「羽咋まちづくり(株)」を核とした地域ビジネス創生・成長戦略
「羽咋共創プログラム」事業

☆H29年第2回地方創生推進交付金申請事業 ■申請区分 先駆タイプ（フラグシップモデル） ■事業期間 H29～H33年度（5カ年計画）

1. 「道の駅事業者」から「地域商社」への成長戦略と機能強化による「羽咋創生」の新展開

地域資源の市場開拓の司令塔となり、地域ビジネスの創造と成長を支援

- | | |
|------------------|--|
| (1) 地域商社への機能強化 | 四万十ドラマ(株)と連携した先導的地域商社となるための事業計画の策定 |
| (2) 地域商社を担う組織づくり | 地域商社機能を担う人材の確保と育成、全国地域商社とのネットワーク構築 |
| (3) 出口戦略に基づく商品開発 | 地域の原材料や技術を活用した付加価値の高い商品（加工品等）の開発、全国の地域商社や事業者等と連携した地域産品の共同ブランド化 |
| (4) 「地産外商」の推進 | 広域連携ネットワークを通じた地域産品の販路開拓と販路拡大 |
| (5) 「地域総合力」事業の推進 | 自然、観光、食、歴史文化等を生かした地域の全体で稼ぎ、地域の価値の向上につながる事業への支援 |

2. 効果

- (1) 地域経済の活性化と地域内消費の拡大、6次産業化と輸出産業化の推進
- (2) 地域における「自走できる組織の形成」、「稼ぐ仕組みの構築」、「地域の価値向上」



●H29.7.7 開業
「道の駅のと千里浜」



●千里浜なぎさドライブ
ウェイ（年間80万人来訪）



●世界農業遺産
「能登の里山里海」



●ちりはまホテル砂浜
温泉宿泊施設（市有物件）

道の駅
運営事業



民間サービスにおけるRESASとの連携

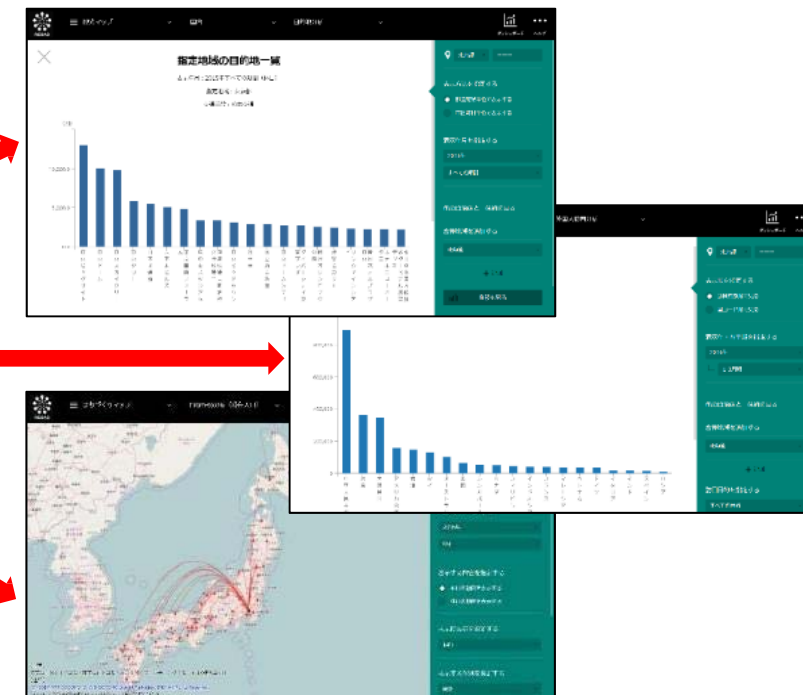
H.I.S.クーポン ((株) エイチ・アイ・エス)

- 旅行会社 (株) エイチ・アイ・エスは、全国各地の旅行スポットやレジャー施設などで使えるお得な12,000 クーポンをパソコンやスマートフォンなどオンラインで約120万人に提供する「H.I.S.クーポン」を運営。
- 同サービスの中で都道府県の「観光名所・案内所」カテゴリで、RESAS画面に直接リンク、人気観光スポットや観光情報を知ることができる機能をユーザーに紹介。

【H.I.S.クーポンの画面】



【RESASの画面】



<http://his-coupon.com/ja/>

【RESAS画面出典】 上図：目的地分析；株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」
中図：外国人訪問分析；観光庁「訪日外国人消費動向調査」、日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」
下図：From-to分析（滞在人口）；株式会社NTTドコモ、株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」

民間サービスにおけるRESASとの連携

(株)e-Front (東京都)

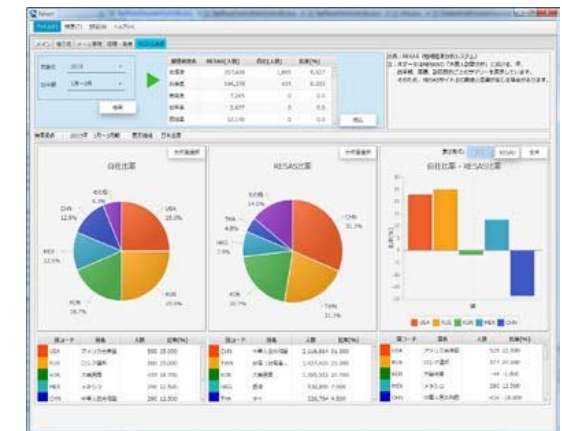
- ソフトウェア開発の(株)e-Frontは、自社が開発した旅行業務総合支援システム「Falcon」の新たな機能として、RESASのデータを取り込み、旅行会社のデータとRESASのデータを照合しながら、旅行に関する潜在需要の分析を可能に。

旅行業務総合支援システム「Falcon」

e-Front社の提供するクラウド型の旅行業務総合支援システム



(画面サンプル)



<https://www.falcon-ef.com/>

- 2017年1月30日より、RESASに搭載するデータとFalconの利用企業が自社で蓄積したデータを簡単に比較できる機能を追加
- 潜在需要の分析が可能に
 - ・ 訪日旅行者の旅行先を国籍別に分析が可能
 - ・ 都道府県毎のエリア分析が可能
 - ・ 年単位、四半期単位で分析が可能

【企業概要】

会社名： 株式会社e-Front

設立： 2003年8月

本社： 東京都新宿

区 島根支社： 島根県浜

田市

事業概要： システムの設計、開発、保守、運用



商工団体におけるRESASの活用

- RESASの提供開始以降、会員企業支援や施策立案における活用など、商工団体においてもRESASが浸透しつつある。
- 経済産業省や東北経済産業局では、商工団体における活用をサポートする取り組みとして、「利活用手引き」の作成やセミナーへの講師派遣等を行っている。



日本商工会議所 合同委員会
(H28.10.19)



山形県中小企業団体中央会
RESAS活用セミナー (H30.7.18)



商工会議所における
地域経済分析システム（RESAS：リーサス）の
利活用手引き

平成28年10月
経済産業省

(作成協力：一関商工会議所)

「利活用手引き」の作成



日本商工会議所のイントラ
ネットに掲載
(H28.10.31)



三沢市商工会 RESAS活用セミナー
(H30.10.16)



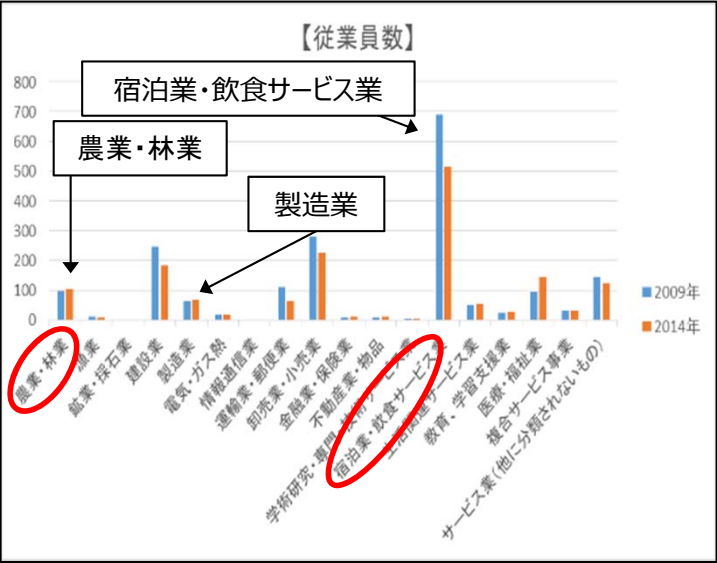
野辺地町商工会 RESAS活用セミナー
(H30.11.30)

北海道商工会連合会（地域経済等を踏まえた小規模事業者支援）

北海道商工会連合会では、経営発達支援計画の策定支援において、「地域の経済動向調査」のデータ収集・分析の手段としてRESASに着目し、北海道経済産業局等との協力のもと、道内各商工会の経営指導員を対象としたRESAS研修会を開催した。道内各商工会では、研修を踏まえ、RESASを活用した地域の現状分析等を行っている。

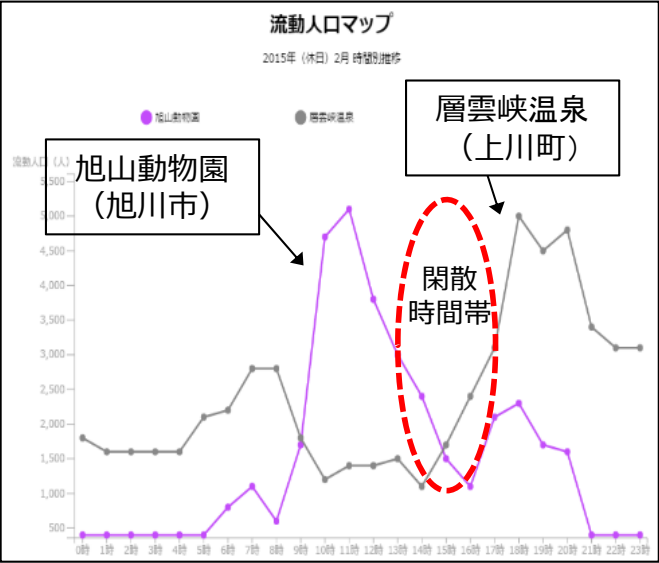
その中で、観光が強みの上川町商工会ではRESAS等による分析から、観光地の閑散時間帯（午後）の存在や、特産品の生産量増加による波及効果が他産業に広がっていないことを認識した。今後は、近隣都市の観光地から午後に観光客を呼び込むため、町内で付加価値を付けた特産品メニューの提供等の小規模事業者支援を検討。

○産業構造マップ・全産業の構造（従業者数）



観光と関連が強い宿泊業・飲食サービス業の従業者数が他業種と比べて圧倒的に多いことから、観光関連産業が上川町の雇用を支えていることがわかる。

○まちづくりマップ・流動人口メッシュ（時間帯別）



旭山動物園は午前中に人が多く集まっており、町内の層雲峡温泉は夕方にかけて人が多くなっていることから、旭山動物園から午後に人を呼び込むための施策が必要。

○上川町における産業部門別の業況（商工会作成データ）

年	産業部門	企業数（社）	従業者数（人）	売上金額（百万円）	1社あたりの売上金額（百万円）
平成24年	農林漁業	7	60	1,479	211
	製造業	5	37	284	57
	卸・小売業	32	117	1,065	33
	宿泊・飲食サービス業	34	129	418	12
平成26年	農林漁業	7	105	1,668	238
	製造業	9	42	343	38
	卸・小売業	40	136	1,011	25
	宿泊・飲食サービス業	41	138	535	13

1社あたりの売上金額について、農林漁業は増えているが、製造業や卸・小売業は減少している。ブランド豚の生産量増加による波及効果が広がっていないことが推察される。

一関商工会議所（「もち文化」を活かした観光・農業の活性化）

一関もち食推進会議※¹が、「食と農の景勝地※²」の認定申請（平成28年11月認定）を行うに当たって、観光・農業データを分析し、事業内容を検討する際の参考資料としてRESASを活用。今後は、各事業の企画や説明の参考資料として活用する他、商工会議所として農産物の高付加価値化や農商工連携の促進等の取組に活用する予定。

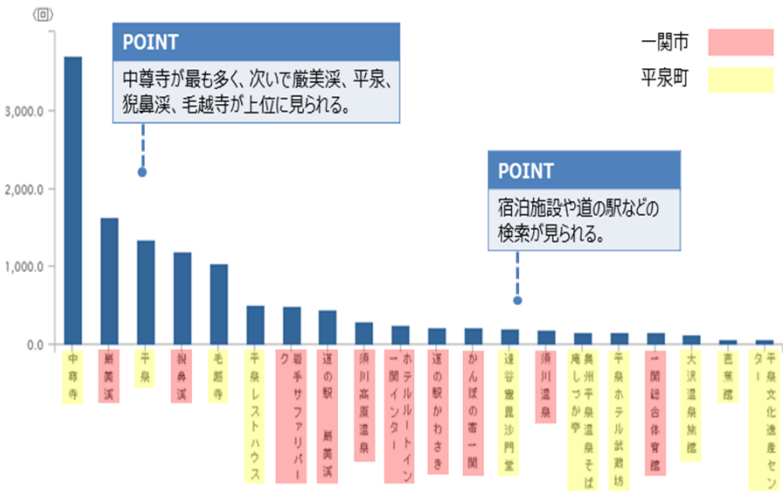
RESASを活用することで、一関市の農産物の特徴等をデータで客観的に説明することが可能となり、その内容を関係機関と円滑に共有することができた。

※¹ 一関・平泉地域の「もち文化」を普及するため、イベント等を行っている。行政機関、農協、商工会議所等で構成され、会長は一関商工会議所の佐藤会頭。

※² 農林水産省事業。地域の食やそれを支える農林水産業、特徴ある景観等の観光資源を魅力的に海外発信し、外国人誘客を行う取り組みを認定する仕組み。

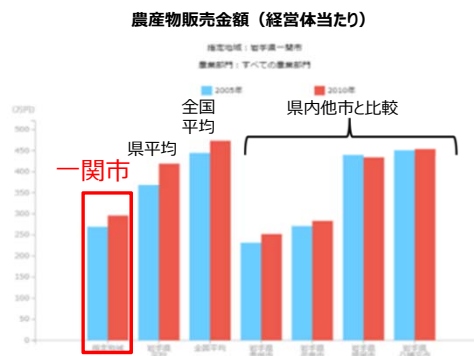
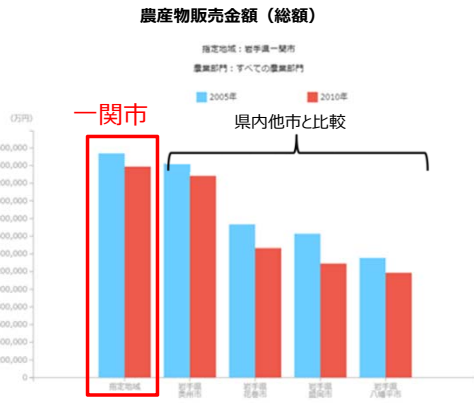
○観光マップ・目的地分析（一関市・平泉町）

※ 一関市・平泉町 2014年 平日 自動車



一関市・平泉町の検索は、中尊寺が最も多く、厳美溪、猊鼻溪が次いで多い。観光名所が来訪者の目的地・基点となっているが、商業施設ではあまり観光客を取り込めていないことが推察される。

○農業マップ・農産物販売金額（一関市）

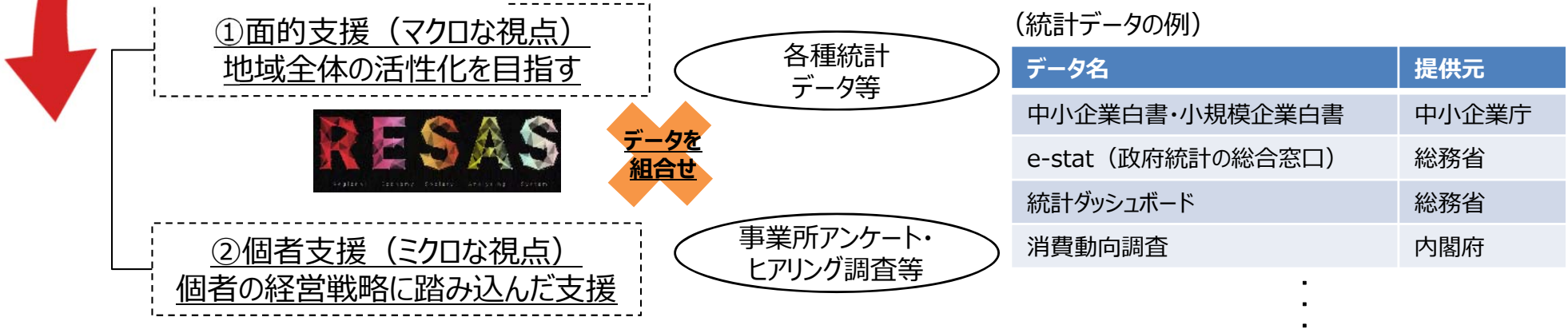
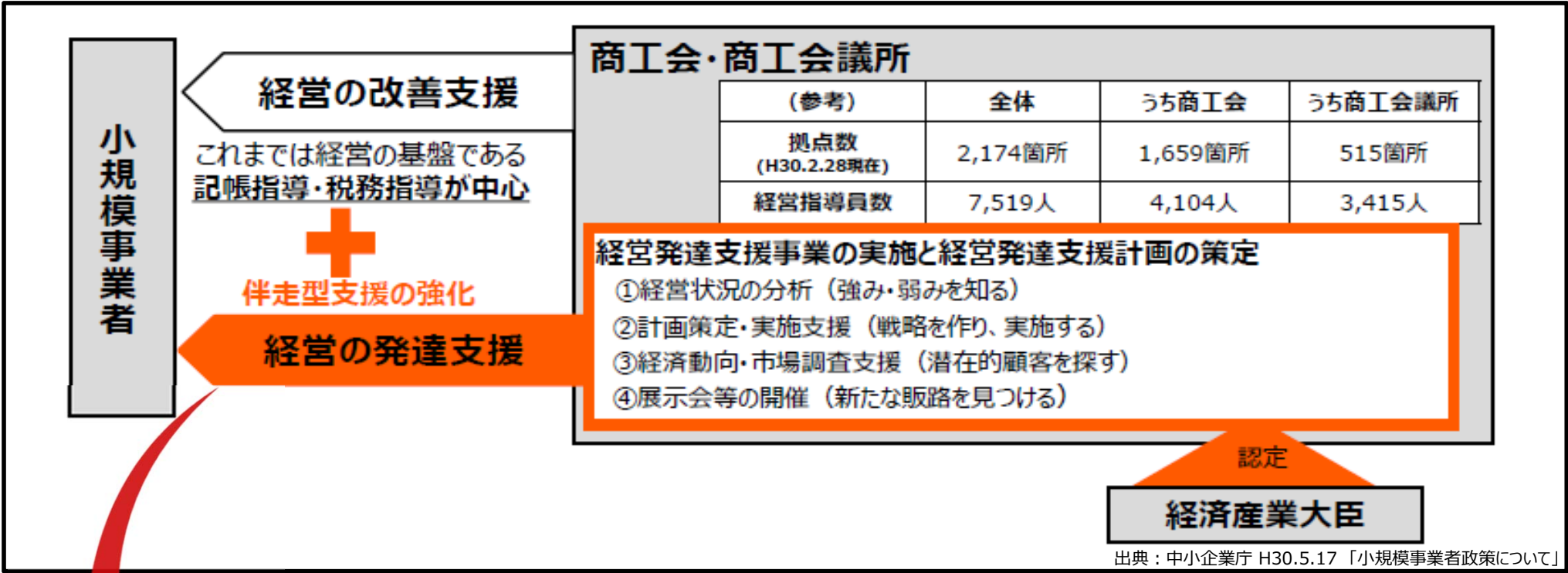


【岩手県内市町村別 農産物販売金額 順位】					
順位	市区町村名	販売金額（万円）	順位	市区町村名	販売金額（万円）
1	一関市	2,388,300	11	金ケ崎町	679,550
2	奥州市	2,283,175	12	紫波町	658,475
3	花巻市	1,465,900	13	九戸村	601,250
4	盛岡市	1,291,050	14	遠野市	594,575
5	八幡平市	1,186,200	15	一戸町	577,150
6	二戸市	1,028,150	16	軽米町	566,275
7	岩手町	967,525	17	葛巻町	489,675
8	洋野町	953,125	18	矢巾町	486,425
9	北上市	901,700	19	滝沢市	461,500
10	雫石町	800,775	20	住田町	455,100

岩手県内市町村で一関市は農産物販売金額が最も高いが、2005年から2010年にかけて減少しており、経営体当たりで見ると県平均、全国平均を下回っているという課題を認識した。

経営発達支援計画とリーサスの活用場面（商工団体）

- 平成26年の法改正により、従来の記帳指導・税務指導に加え、個社の経営戦略に踏み込んだ伴走型支援を実施するための枠組みとして、**商工会・商工会議所が策定する「経営発達支援計画」**を国が認定する制度が新設。
- 経営発達支援計画には、**地域全体の活性化を目指す「面的支援」と、1事業所ごとの経営課題に対して対応する「個者支援」**があり、リーサスと様々な統計データ等を組合せて分析することは双方に有効。



RESASの活用事例（中小企業診断士）

個者支援

事業展開

滋賀県大津市（新店舗に最適な地域の検討）

《大津市〇Xパン屋社長からの相談》

・新店舗展開についての相談

『高齢化社会の時代ではあるが、わたしの息子の代まで継続的にお客様が来てくれる街に出店したい。どのような方策が考えられるか教えてほしい。』



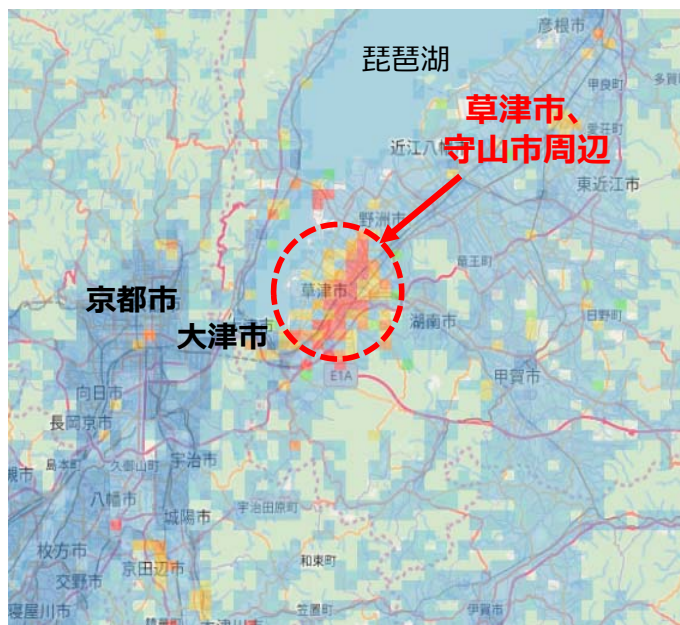
《中小企業診断士の分析ポイント》

1. リーサスで、将来においても人口減少が少ない近隣地域を抽出し、候補地を探す！

2. リーサス外データ（e-stat, 商業統計調査）を活用し、対象地域のライバル状況、販売額を調査し、出店地を絞り込む！



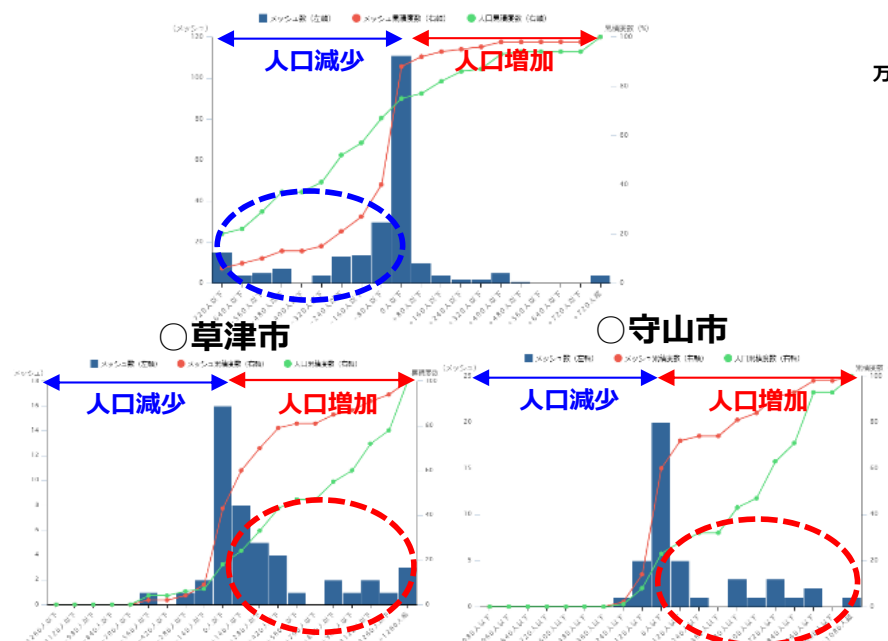
1-1.RESAS_人口マップ・将来人口メッシュ
(2050年 人口の増減マップ)



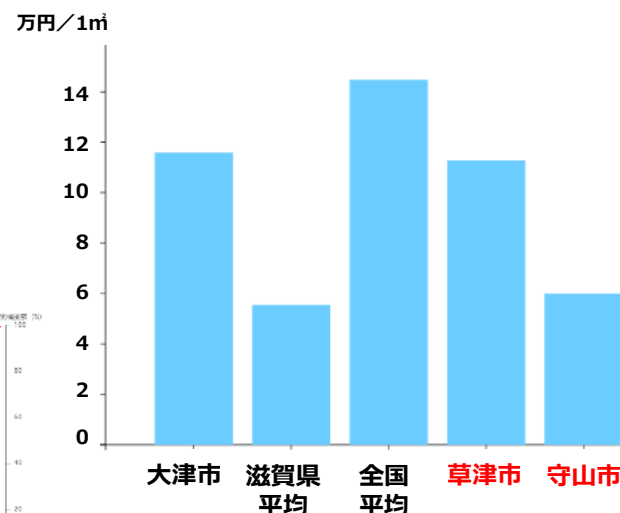
〇Xパン屋を営んでいる大津市周辺と、近隣市町村の2050年人口の増減状況を比較すると、大津市や京都市周辺のほとんどの地域の人口が減少する予測である。一方で、草津市や守山市周辺は、人口が増加する地点が多いことがわかり、草津市と守山市の2市を出店候補地に選定した。

1-2.RESAS_人口マップ・将来人口メッシュ
(2050年 区分メッシュ度数分布図)

〇大津市



1-3.RESAS_まちづくりマップ・不動産取引
商業地の取引価格
(取引面積1㎡あたり)



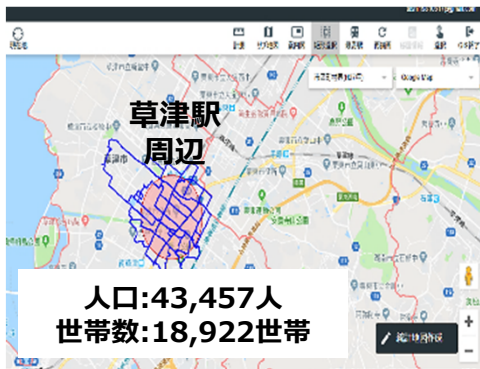
守山市の商業地の取引価格は、滋賀県平均よりやや高いものの、人口増加が予測される草津市より安い。出店費用面で見ると守山市が優位と思われる。

滋賀県大津市（続き）

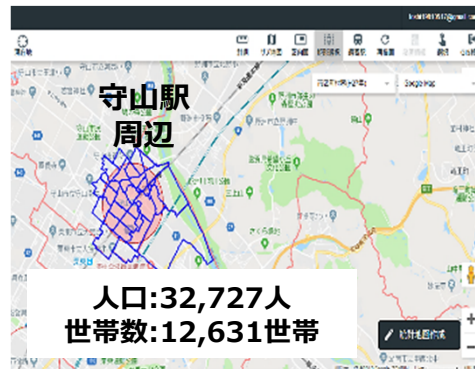
「草津市」または「守山市」のどちらかに出店すると仮定し、現状出店しても売上が見込めるか、リーサス外のデータを活用し分析した。

2-1.e-stat(2015年 国勢調査人口・世帯数)

○草津駅周辺 1 km圏内



○守山駅周辺 1 km圏内



出典：e-stat 政府統計の総合窓口 (<https://www.e-stat.go.jp/gis>)

2-2.商業統計調査（2014年 品目編 第2表）

区 市 郡	58631 パン(製造小売)小売	
	事業所数	年間商品販売額 (百万円)
201 大 津 市	47	1,959
202 彦 根 市	10	316
203 長 浜 市	15	338
204 近 江 八 幡 市	7	249
206 草 津 市	15	631
207 守 山 市	7	187
208 栗 東 市	5	89
209 甲 賀 市	7	486
210 野 洲 市	4	61

出典：EXCELダウンロードデータ_経済産業省 商業統計調査
(<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/syougyo/result-2/h26/index-kakuho.html>)

《分析のまとめ》

対象市	e-stat		商業統計調査	
	最寄り駅 1 km圏内の人口 (人)	最寄り駅 1 km圏内の世帯数 (世帯)	パン屋の店舗数	年間パン販売額 (百万円)
草津市	43,457	18,922	15	631
守山市	32,727	12,631	7	187

草津駅周辺は守山駅周辺に比べ、人口も多く、パン屋が充実している。

データを
分解

対象市	1 店舗あたりの人口・世帯		一人・世帯あたりのパン販売額	
	人口÷店舗	世帯÷店舗	販売額÷人口	販売額÷世帯
草津市	2,897	1,261	14,520円	33,347円
守山市	4,675	1,804	5,714円	14,805円

最寄り駅周辺の人口でデータを分解すると、守山市は1店舗あたりの人口・世帯数は多い。一方、一人・世帯あたりのパン販売額は、草津市が圧倒的に高い。

《中小企業診断士の分析結果》

・2050年まで人口増加する2市において、駅周辺人口で分析した場合、以下の結論を得た。

草津市の一人あたりのパン販売額は守山市の2倍以上あり、草津市民はパンを好む傾向が見られる。しかし、守山市はパン屋の店舗数が少ないことから店舗間競争が低く、顧客開拓次第では地域のリーディング企業に成り得る。さらに、出店費用面（商業地取引価格）でみても将来を見据えた出店には、守山市駅周辺への出店が適している結論に導いた。



活用事例（地域金融機関：みちのく銀行）

※東北経済産業局HPに詳細資料掲載

(株)みちのく銀行は、東北経済産業局の支援のもと、RESASと同行の保有する金融データを活用して地域産業の分析を実施。本分析では、青森県のアグリビジネスの現状を把握するとともに、同行の保有する取引先事業者の財務データの分析を行い、当該事業者の財務活動に見られる経営課題を明確化し、課題の解決に向けた同行のソリューションメニューを提案するもの。

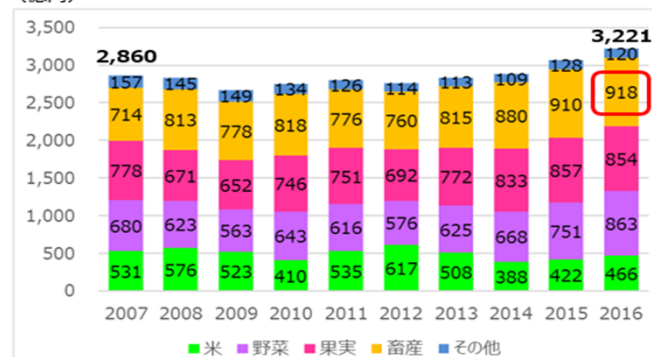
今後、同行取引先の経営課題等の解決に向けた提案を行うためのツールとして活用し、また、行内への本分析手法の普及とともに、他の産業についても分析を実施する。

青森県 2012年 付加価値額（企業単位） 中分類



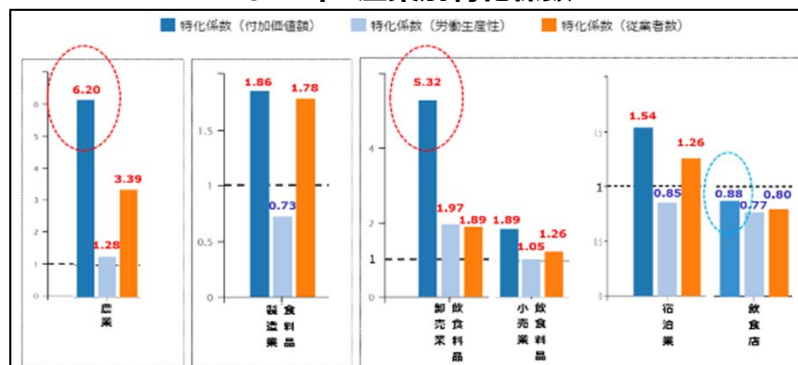
アグリビジネス分野の業種で全産業の約4分の1を占めており、当該分野が青森県の基幹産業の一つであるといえる。

青森県の農業総産出額の推移



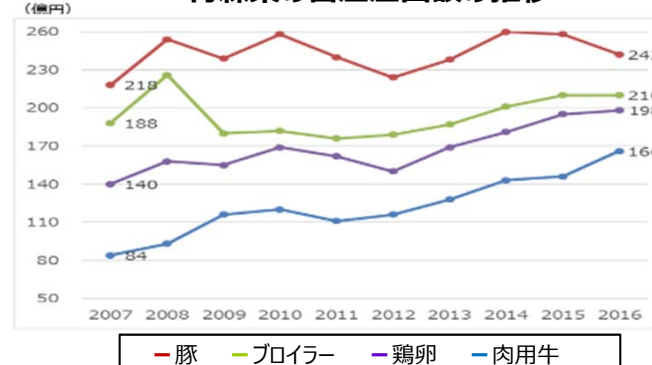
青森県の直近10年間の農業総産出額は増加しており、特に「畜産」は、2008年以降、全作物の中で最も産出額が高くなっている。

2012年 産業別特化係数



全国平均と比較して、「農業」、「飲食料品卸売業」の特化係数（付加価値額）が特に高い。

青森県の畜産産出額の推移



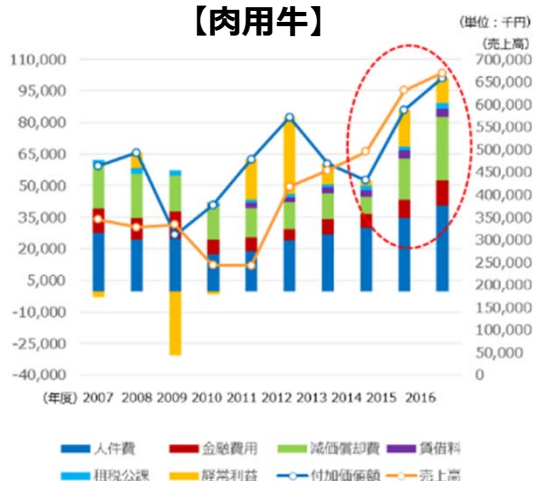
「ブロイラー」、「鶏卵」、「肉用牛」は近年増加傾向にあり、特に「肉用牛」の産出額は2007年と比較して約2倍となっている。

POINT >>

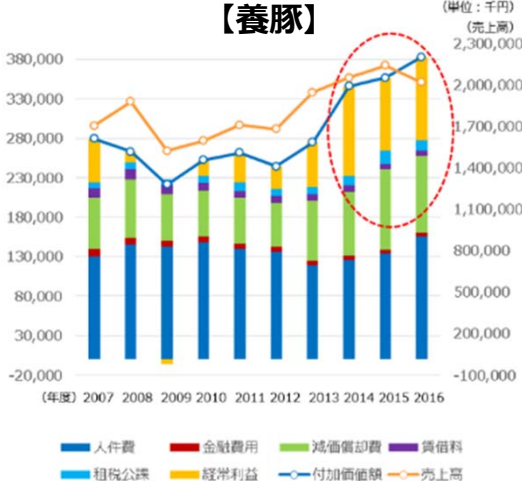
- アグリビジネス分野の中でも、近年成長度合いの高い「畜産」に着目し、財務データの分析を行った。

付加価値額構成科目の推移

【肉用牛】

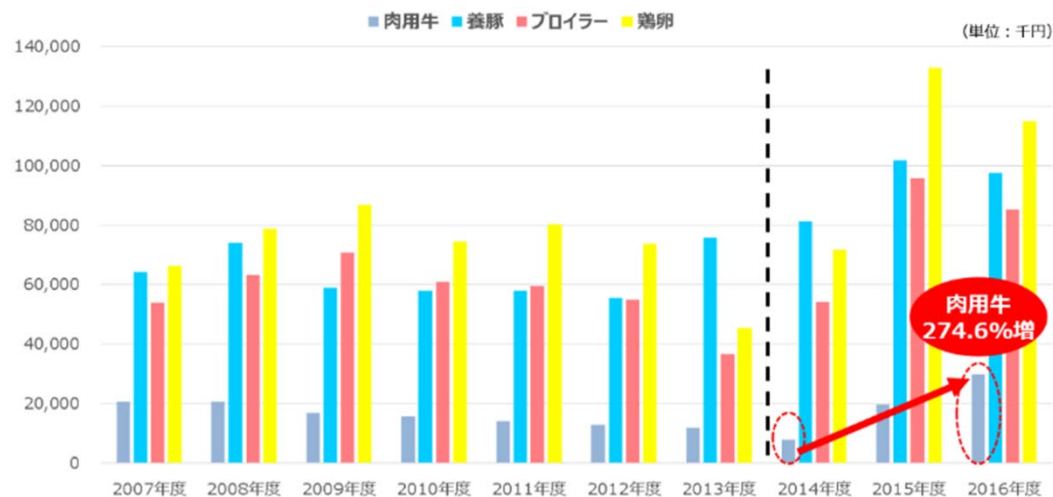


【養豚】



「肉用牛」では近年、減価償却費、金融費用が増加。借入金等を活用した設備投資が行われていると考えられる。

減価償却費の推移



2014年度と2016年度の増加率を比較すると、特に「肉用牛」で設備投資が行われている傾向。

人件費割合、減価償却費割合、付加価値額割合の比較

※全国平均よりも数値(%)が低い指標を青字、高い指標を赤字で表記

	肉用牛						養豚					
	2014年		2015年		2016年		2014年		2015年		2016年	
	全国	みちのく銀行	全国	みちのく銀行	全国	みちのく銀行	全国	みちのく銀行	全国	みちのく銀行	全国	みちのく銀行
① 付加価値額に占める人件費割合	42.8	57.3	29.7	40.1	26.2	40.2	45.7	36.2	46.5	37.5	45.7	40.5
② 付加価値額に占める減価償却費割合	26.3	15.3	18.9	22.8	16.4	29.7	22.9	23.5	23.7	28.6	22.1	25.5
③ 売上高に占める付加価値額割合	13.9	10.6	18.2	13.6	21.5	15.1	26.1	16.9	26.5	16.7	28.3	19.0

・人件費割合が高い
・付加価値額割合が低い

付加価値額割合が低い

	ブロイラー						鶏卵					
	2014年		2015年		2016年		2014年		2015年		2016年	
	全国	みちのく銀行	全国	みちのく銀行	全国	みちのく銀行	全国	みちのく銀行	全国	みちのく銀行	全国	みちのく銀行
① 付加価値額に占める人件費割合	57.5	49.8	53.3	42.6	56.2	44.3	59.6	49.2	49.4	41.3	47.4	42.9
② 付加価値額に占める減価償却費割合	13.7	21.1	12.0	28.3	11.4	24.5	24.6	21.7	20.6	29.6	21.9	24.4
③ 売上高に占める付加価値額割合	17.9	18.4	18.4	23.0	18.6	24.5	18.9	17.6	22.4	22.6	25.0	24.5

付加価値額割合が低い

日本政策金融公庫 農林水産事業部「平成28年農業経営動向分析結果」から作成。なお、比較データは「鶏卵」を「採卵鶏」表記。

人件費割合は、「肉用牛」のみ全国平均より高くなっており、人手に依存した生産体制であることが伺える。また、付加価値額割合も低い。

取り組みの方向性

経営課題

【肉用牛】
人手に依存した生産体制にあり、作業の負担軽減、効率化が必要。また、生産物の高付加価値化が進みつつあるも、全国平均より低く、改善が必要。

【養豚】
高収益体制の構築により順調に事業が拡大している一方で、付加価値額の割合が全国平均より低く改善が必要。

【鶏卵】
高収益体制の構築により順調に事業が拡大している一方で、付加価値額の割合が全国平均より低く改善が必要。

【ブロイラー】
高収益体制の構築により順調に事業が拡大しており、付加価値額の割合も全国平均より高い。生産物の競争力強化により更なる付加価値額の増加が見込まれる。

ソリューションメニュー (例)

AI・IoT等の活用

政府の各種施策の活用

活用事例（教育機関）

○地域密着型のデータ教育ツールとして、大学・高校・中学等においてもRESASの認知・活用が拡大。

まつもと あがたがおか

長野県松本県ヶ丘高校の事例

- RESASを活用した学習を1年生（普通科・英語科）全8クラス320名で実施。
- 長野県教育委は、県下13高校に、横展開事業を実施中。

○授業の概要

「総合的な学習の時間」で、同県の歴史・文化・産業等を学ぶ「信州学」の一環として、RESASを活用。

○関連した取組

校内発表会、コンテストへの応募、県議会議員と生徒の懇談会も実施。



授業の様子

（参考）『中学校学習指導要領解説 社会編』にRESASが明記

- 「中学校学習指導要領」（平成29年3月告示、33年度より全面実施）の「地理的分野」の内容を説明する中でRESASが明記。

【中学校学習指導要領解説 社会編】77ページ

「地域に関する情報の収集や処理などの地理的技能」の紹介

＜前略＞・・・インターネットにおける地図サイトや統計サイトとしては、現在、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局及び経済産業省の「地域経済分析システム（RESAS）」、総務省統計局の「政府統計の総合窓口（e-Stat）」・・・＜後略＞

東北の教育機関におけるRESASを活用した取組

（青森県）弘前大学でのRESASを活用した授業

（実施日：前期 2018年4月27日／後期 2018年10月26日）

○授業名

《人文社会学部》

前期:教養教育科目「青森の多様化と活性化」（受講生:共通30名）

後期:経営法律コース「経営法律課程演習Ⅱ」（受講生:2年生8名）

○授業の概要

弘前大学人文社会学部（李永俊教授）では社会経済に関するデータを通して青森県の暮らしの現状から地域の課題を模索することを目的に、RESASを活用した授業を前期、後期の年2回実施。また、学生が主体となって、内閣府主催「地方創生☆政策アイデアコンテスト2018」の応募に意欲的に取り組んだ。



（授業の様子）



（学生による分析演習）

（李教授コメント）

RESASは、簡単に可視化できるので、データ分析に親しみやすい。また、多様な公表データのプラットフォームになっているので、データへのアクセシビリティが高まる。今後は、RESASの基本的な学習に回帰分析の学習を加え、データを読み解く能力を高めたい。

（岩手県）岩手大学でのRESASを活用した授業

（実施日：2018年11月8日）

○授業名

《農学部食料生産環境学科》

食産業システム学コース「食産業システム学演習」（受講生:2年生22名）

○授業の概要

岩手大学農学部（木下幸雄准教授）では、食産業システム学演習の一環として課題解決型学習にRESASを活用。地域の食産業の稼ぐ力をいかに向上させるかという課題を念頭に、RESASの活用方法を学習した。また授業にRESASオンライン講座を取り入れながら、学生の課題解決に関する意識の向上を図った。



（授業の様子）



（オンライン講座受講）

（木下准教授コメント）

課題解決型学習（PBL）の一環として、RESASの基礎を学びます。この強力な分析ツールを使いこなせるスキルは、卒業研究のレベルアップ、さらには食産業（農業・食品関連産業）をめぐる政策立案や戦略策定の場面にも有用と期待しています。

Contents

- ① *RESAS*とは？
- ② 操作方法
- ③ 主なデータの紹介
- ④ *RESAS*の活用事例
- ⑤ ***RESAS*活用に役立つ情報**

地方創生☆政策アイデアコンテスト（2020年）【募集終了】

➤ 募集期間

2020年7月14日（火）～10月9日（金）

➤ 募集区分

- ・高校生・中学生以下の部
- ・大学生以上一般の部
- ・地方公共団体の部

➤ 政策アイデアの例

- ・地域の人口減少・少子高齢化を〇〇で解決する
- ・地域への観光客、まちのにぎわいを〇〇で増やす
- ・地域の〇〇産業を〇〇で活性化させる
- ・地域経済を〇〇で元気にする
- ・アプリを活用して、地域の魅力を伝える

➤ 最終審査会

日時：2020年12月19日（土）

場所：中央合同庁舎第8号館 講堂（内閣府）

詳細はこちらから

<https://contest.resas-portal.go.jp/2020/>



地方創生
★
政策アイデア
コンテスト
2020

あなたが暮らす、または、ゆかりのある地域の
現状・課題について地域経済分析システム
（RESAS）等を使って分析し、
政策アイデアをご提案ください。

アイデア求む！

まずは

RESAS

を検索!!!

応募期間

2020 7.14 火 ▶ 10.9 金

募集区分

高校生・中学生以下の部 / 大学生以上一般の部 / 地方公共団体の部

政策アイデアの例

- ・新型コロナウイルスにより受けたダメージを〇〇で回復する
- ・地域の人口減少・少子高齢化を〇〇で解決する
- ・地域への観光客、まちのにぎわいを〇〇で増やす
- ・地域の〇〇産業を〇〇で活性化させる
- ・地域経済を〇〇で元気にする
- ・アプリを活用して、地域の魅力を伝える

表彰

各部門それぞれで地方創生担当大臣賞、優秀賞等を授与

最終審査会

日時：2020年12月19日（土）
場所：中央合同庁舎第8号館 講堂（内閣府）
※状況に応じて変更される場合がございます。

※応募の詳細、受付はこちらから

地方創生 政策アイデアコンテスト

検索

<https://contest.resas-portal.go.jp/2020/>



主催：内閣府地方創生推進室
共催：経済産業省

お問い合わせ先 | 地方創生・政策アイデアコンテスト2020事務局 受託事業者／株式会社大広
電話番号／03-4346-7226（直通） 10:00～18:00（土日祝を除く） E-Mail／resas2020-info@daiko.co.jp

- 内閣府主催の「地方創生☆政策アイデアコンテスト2017」において、**福島市の小学5年生が地方創生担当大臣賞を受賞**。RESASのデータや独自のアンケートから、商店街の課題を分析し、解決策を提案。
- 同コンテスト2019では、弘前大学フードバンクひろだいが**協賛企業賞を受賞**。

地方創生☆政策アイデアコンテスト2017

- 応募件数：高校生以下・中学生以下の部（328件）／大学生以上一般の部（647件）
- 募集期間：2017年9月1日～10月25日
- 最終審査会＆表彰式：2017年12月16日（会場：東京大学伊藤謝恩ホール）

地方創生担当大臣賞

福島大学附属小学校（七島 海希、高橋 かな恵）

「ふくしまにぎわい大作戦（地元商店街を盛り上げるために私たち小学生ができること）」

- ・ 商店街の客が隣県的大型店に流れている可能性を把握。
- ・ 解決策として、子ども向けのイベントや、移動が不自由な人のための「自動走行車の導入」などを提案。



地方創生☆政策アイデアコンテスト2019

- 応募件数：高校生以下・中学生以下の部（262件）／大学生以上一般の部（811件）／地方公共団体の部（42件）
- 募集期間：2019年7月16日～10月9日
- 最終審査会＆表彰式：2019年12月14日（会場：中央合同庁舎第8号館講堂）

協賛企業賞

弘前大学 フードバンクひろだい

（李永俊、山口航季、戸田真天、阿部航平、澤谷織圭、平門瞳）

「学生が踏み出す持続可能なまちづくり

～弘前で始めるフードバンク～」

- ・ 経済格差・教育格差是正による貧困の解消と、食料廃棄量の削減の2つに着目
- ・ 食料寄付者と子ども食堂を繋ぐフードバンクを地域のNPO法人や市民団体との連携を図り、大学が中心の持続可能な仕組みを提案



受賞作品が政策として実現

※画像はコンテスト公式サイト、糸島市HPから引用

福岡県糸島市（2016コンテスト：大学生以上一般の部 地方創生担当大臣賞）

- 市職員の岡氏の提案である糸島市産品の販路開拓や広告宣伝、商品開発を一体的に実施する政策アイデアが「糸島市マーケティングモデル推進事業」として始動。
- 第一弾商品として「JF糸島ふともずく」を発売（2017年4月）。県内企業や高校と連携し、販路開拓や広告宣伝を推進。
- 農林水産省の「フード・アクション・ニッポンアワード2017」で「今一番食べて欲しい日本の逸品」に選定。
- (株)ローソンがコラボし、「糸島産ふともずく」を使った新商品が九州と首都圏のローソンで販売された。



市・高校生・生産者で営業・販売先を検討（ワークショップ）



高校生が店頭で商品を営業・販売（収穫体験や生産者の想いを代弁）



←「糸島産ふともずくを味わう
ネバネバスープ」



「糸島産ふともずくを味わう
ネバネバサラダ」→

(株)ローソンとコラボで商品化

北海道小樽商科大学大津ゼミ（2016コンテスト：大学生以上一般の部 優秀賞）

- 分析対象地域の岩内町における地方創生フォーラム（2017年3月）において、RESASを用いた分析結果と政策アイデアを披露。
- 政策アイデアの1つである「“トッテオキ”のニシン缶」の商品化に向け、現在、地元の水産加工事業者・岩内町・北海道銀行と産学官金で連携。味・栄養品質・パッケージデザイン・製品プロモーションの専門家や食育団体とも連携し、今年中の商品化（試作品）を目指している。



岩内町内の水産加工事業者加工場の見学

RESASを活用した施策立案支援事業

- 地方創生に取り組む団体を対象に、各団体のレベル（RESASへの習熟度）に合わせて、**RESASによる分析から施策立案までを継続的に支援**することで、データなどの証拠に基づく政策立案（EBPM: Evidence-Based Policy Making）を推進します。

対象

- 地方公共団体
 - 地方創生に取り組む金融機関、商工団体、民間企業等
- ※ 複数団体による応募も可能です。

募集期間

随時募集

※ 応募状況を踏まえ、募集を終了することがございますので、応募を検討される際には事前に当課までお問合せください。

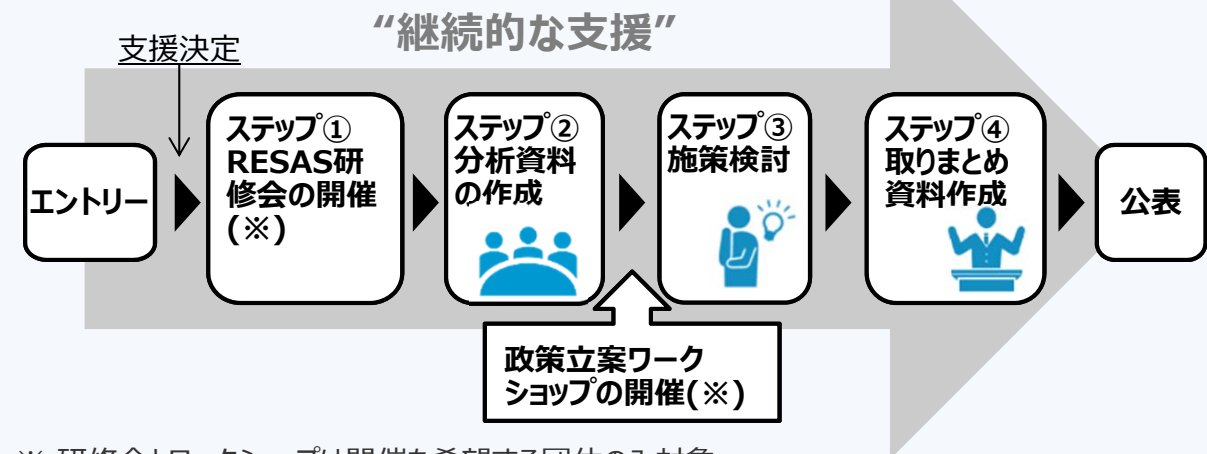
支援内容

- RESASを活用した地域の分析支援
※ ご希望に応じて、RESAS研修会の開催を支援します。
- 施策立案に向けた検討支援
- 政策立案ワークショップの開催
※ 開催を希望する団体のみ対象とします。

応募方法

東北経済産業局HP（「地方創生」のページ）からご確認ください。

事業の進め方（支援決定後の流れ）



※ 研修会とワークショップは開催を希望する団体のみ対象



八戸市RESAS研修会



東松島市政策立案ワークショップ

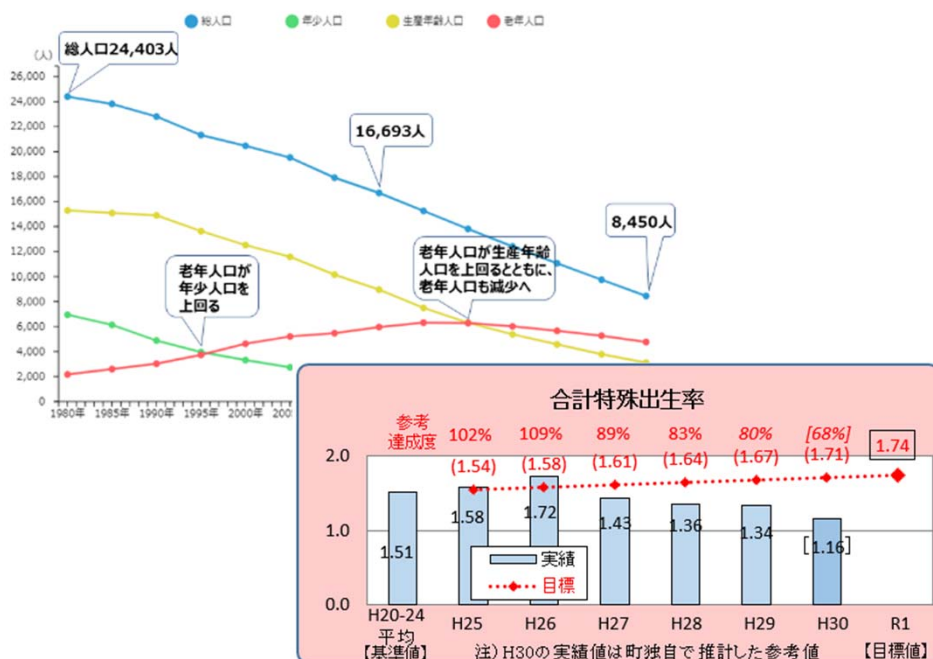
※ 本事業の進め方の詳細や、過去の支援団体の成果資料は当局HPからご覧ください。

(参考) 岩手県洋野町の分析内容

洋野町は、RESASを活用して人口動態や産業の現状を分析し、「第2期洋野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定する際の、施策立案等にかかる基礎分析資料を作成した。

1. 基礎データの収集

- 人口動態、地域経済循環、産業構造、観光等の様々な分野から、洋野町を俯瞰して現状を把握。



2. SWOT分析

- 現状把握から分野ごとに強み・弱み、RESAS以外の定性・定量データも参考にして機会・脅威を整理して、注力テーマを洗い出す。

3. 注力テーマ整理（施策の方向性）

- 第1期総合戦略の基本目標をベースに注力テーマを整理して施策の方向性をまとめた。

1 雇用 若い世代を中心として安心して働けるための産業振興と雇用の増づくり A) 六次産業化や農工商連携による高付加価値化と所得の向上 (21, 23, 24, 27, 28, 29) 例) 副業支援、商品開発、畜産や漁業のブランド化 等 B) 圏域内での取引拡大によるクラスター形成及び地域経済の好循環化 (11, 12, 18) 例) 八戸・久慈連携強化、地元産学官企業連携、企業誘致、再エネ活用 等 C) IT技術を活用した生産性の向上並びに販路の拡大 (19, 28) 例) スマート農業、機械化 等 D) 産直施設の活性化や体験型観光による域内消費の拡大 (20, 35) 例) 農産直売所 等 E) 農林水産業関連の大小それぞれの事業規模に応じた補助メニューの策定 (25, 26) 例) 農業法人化、雇農利用 等 F) 地元企業の支援強化 (10, 12, 17, 27) 例) 地元企業の第2次産業の育成、食料品製造業、木材・木製品製造業の支援強化、企業ヒアリング 等 G) 関係機関を巻き込んだ事業承継対応の強化 (14) 例) 商工会・金融機関との連携強化、企業ヒアリング 等 H) 八戸市や久慈市など近隣自治体との連携による、定住人口及び交流人口の確保並びに職業選択の多様化 (9, 13, 15, 16, 30, 31, 32, 33) 例) 地元企業・近隣地域企業の支援、創業支援、ベタダン化 等 I) シニア世代から若者まで、幅広い活躍による労働力の確保と担い手の育成 (22, 34) 例) 企業との連携	
2 交流 地域資源を生かした交流によるひとの流れづくり A) 若い世代や子育て世代が移住定住しやすい環境の整備 (1, 5, 9) 例) 移住・起業への支援 B) 関係人口、定住人口、交流人口を増加するためのプロモーション活動の実施 (2, 4, 8, 9, 30, 31, 32, 33) 例) 住宅取得促進PR、近隣地域企業の情報発信、青森県南地域・首都圏への観光PR、近隣市町村との連携、三陸沿岸道路を活用した交流人口増加 等 C) シニア世代がいきいきと活躍できる環境を整備する (3, 22, 34) 例) 企業との連携、関係人口創出 等 D) 洋野町の魅力発信により、進学で転出する若者のUターンへの増加、並びに関係人口の創出から将来的な移住者の増加 (15, 16) 例) 近隣地域企業の情報発信 等 E) 外国人観光客拡大に向けた環境の整備 (32, 33) 例) 八戸市に訪れる外国人に向けた観光PR、キャッシュレス化 等	
3 若者 若い世代が希望を持って結婚・出産・子育てできる環境づくり A) 若い世代の安定雇用と結婚、子育て (1, 7) 例) 子育て支援の促進強化、若い世代に魅力的（賃金水準・環境）な雇用の確保	4 地域 地域の特性を生かした将来にわたる安心な暮らしとネットワークづくり A) 地域でのシニア世代の活躍 (3, 34) 例) 少子高齢化に対応したシニア向け消費者支援、地域コミュニティでの活躍 B) 若い女性の居場所づくり (6) 例) おい女性の実現、繋がるコミュニティ活動等に対する支援

4. 第2期総合戦略策定の参考

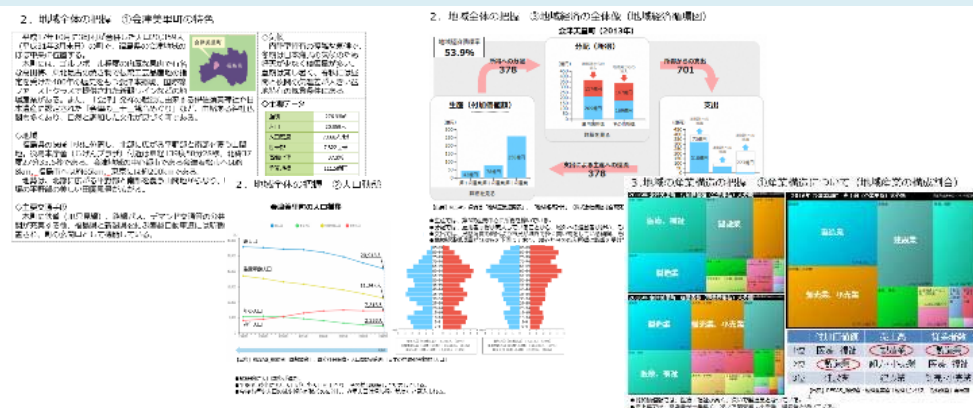
- 令和元年12月に第2期総合戦略（案）の意見公募を実施。
- 令和2年3月に策定予定。

(参考) 福島県会津美里町の分析内容

会津美里町は、RESASを活用して人口動態や産業の現状を分析し、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定する際の、施策立案等にかかる基礎分析資料を作成した。

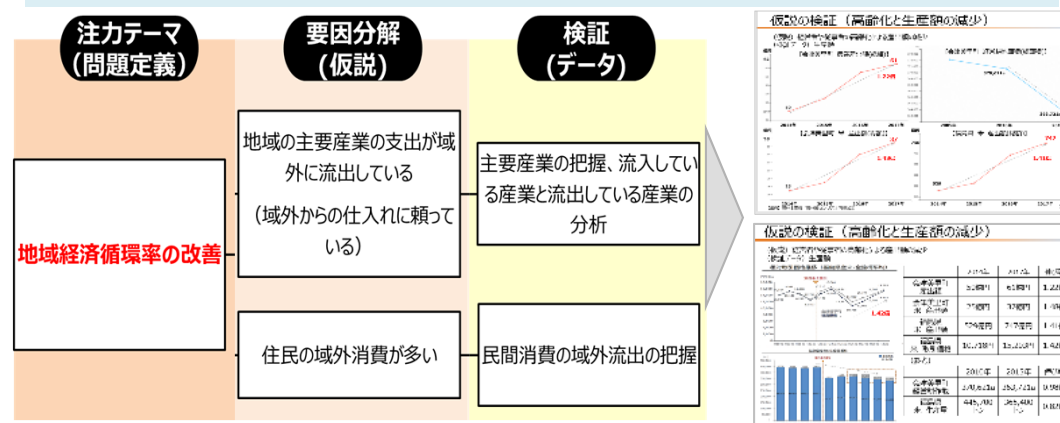
1. 基礎データの収集

- 町の定性情報、人口動態、地域経済循環、産業構造、観光等の様々な分野から、現状を把握。



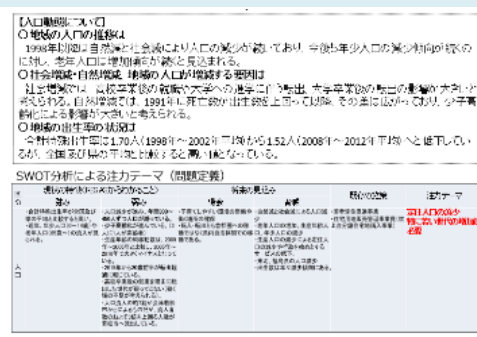
3. 要因の検証 (打ち手の導出に向けて)

- 各分野ごとに定義された問題を仮説ベースで要因を分解、RESAS内外のデータを用いながら検証。



2. 庁内共有・SWOT分析・問題の定義

- 庁内でRESAS研修会を開催。基礎データから現状把握の共有を行うとともに、グループワークにて分析。



4. 第2期総合戦略策定の参考

- 検証結果から打ち手を導出し、戦略策定の参考とした。
- 令和2年3月に策定予定。



(町の声1)
「地域の現状をデータを通して見ることで、問題意識の共有につながった」

(町の声2)
「ビッグデータが自分で扱えるとは思わなかった」

(町の声3)
「総合戦略策定にあたって、自分事として捉え取り組むことが出来た」

RESAS政策立案支援個別セミナーのご案内

近畿日本ツーリスト特約店(株)郡中トラベル
(TEL) 024-953-4887

- 福島県では、自治体や民間団体等、地方創生に取り組む団体へRESAS政策立案支援個別セミナー（研修）を実施しています。 ※講師派遣に係る交通費・謝金は無料です。

研修概要

《少人数形式の個別セミナー》 120分

◎ RESAS利用者のニーズに沿った形での分析支援など、少人数グループでの実践的な演習形式のセミナー

1. 相談、要望の内容に合わせた全般的な助言や実践的な分析支援
2. RESASの活用手法、課題発見
3. RESASを活用したグループワーク 等

※上記研修内容は1例です。研修内容、研修時間はご要望により調整いたします。

研修までの流れ

1. 希望団体からのお申込み
(株)郡中トラベルへご連絡 TEL024-953-4887)
2. 日程及び研修内容の決定
3. 研修案内及び人数調整
4. 会場準備
5. 研修会当日！

・受講者用RESAS操作PC
・スクリーン
・プロジェクター
・議事次第、参加者名簿
等

開催実績

※順不同

- 白河市RESAS個別セミナー
- ゼビオグループRESAS個別セミナー
- ラジオ福島RESAS個別セミナー
- 下郷町役場RESAS個別セミナー
- JEIFA福島県生命保険郡山分会RESAS個別セミナー
- 郡山ホテル協会RESAS個別セミナー

RESAS出前講座のご案内

東北経済産業局 総務企画部 企画調査課
(TEL) 022-221-4861

- 東北経済産業局では、自治体（地方議会議員を含む）や民間団体等、地方創生に取り組む団体へRESASの出前講座（研修）を実施しています。 ※職員派遣に係る交通費・謝金は無料です。

研修概要

《基礎編》 60分～90分

◎ RESASの基本操作から習得されたい方！

1. RESASの概要
2. RESASデータの説明・活用事例
3. RESASの活用に関わる情報 等

《実践編》 120分～180分

◎ RESASによる分析の深掘りや、課題発見の手法を習得されたい方！

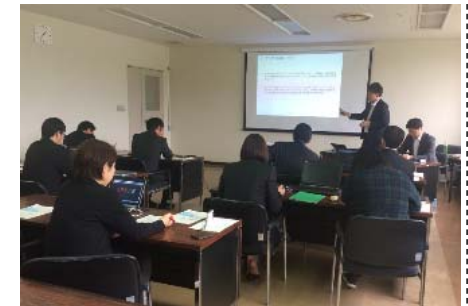
1. RESAS分析手法の紹介
2. 限定メニューの活用手法について（自治体のみ対象）
3. RESASを活用したグループワーク 等

※上記研修内容は1例です。研修内容、研修時間はご要望により調整いたします。

研修までの流れ

1. 希望団体からのお申込み（当局へご連絡）
2. 日程及び研修内容の決定
3. 研修案内及び人数調整
4. 会場準備
5. 研修会当日！

・受講者用RESAS操作PC
・スクリーン
・プロジェクター
・議事次第、参加者名簿 等



開催実績

※順不同

○自治体

青森県、岩手県、宮城県、八戸市、むつ市、花巻市、北上市、一関市、矢巾町、由利本荘市、大仙市、横手市、東松島市、気仙沼市、石巻市、丸森町、庄内町 等

○教育機関

弘前大学、岩手大学、青森公立大学、秋田職業能力開発短期大学 等

○商工団体

秋田商工会議所、盛岡商工会議所、古川商工会議所、いわき商工会議所、青森県商工会議所連合会、宮城県商工会連合会、福島県商工会連合会、山形県中小企業団体中央会、三沢市商工会、野辺地町商工会 等

○その他

仙台青年会議所、さくら青年会議所、東北財務局、みちのく銀行、秋田県信用組合 等

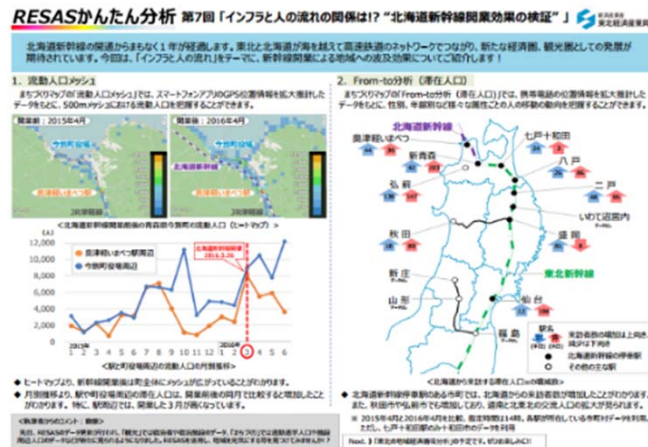
RESASに関する情報収集はこちらから

東北経済産業局HP

東北経済産業局HPの「地方創生」のページで、RESASに関する情報を掲載。

〈RESASから得られる情報を分かりやすく紹介〉

Ex.) 「インフラと人の流れの関係は?」、「東北人は日本酒好き?」など



〈各地の研修会やセミナーの結果を掲載〉

宮城県気仙沼市で RESAS 研修会が開催されました

2017.3.7

RESASの機能や活用事例に対する理解を深めるとともに、データ分析を具体的な施策へ活用することを目指すとして、気仙沼市の主催により、市職員及び地方創生に係る包括連携協力を締結する気仙沼商工会議所・気仙沼信用金庫の職員を対象とした研修会が開催され、当局は講師として参加しました。

【研修会の様子】



〈グループワーク〉



〈市職員による発表〉

実践型の研修として、事前に自地域の分析を行い、結果に対して当局から補足の分析や全国の事例を紹介し、深掘り(グループワーク)することにより、施策立案に結びつける研修等も行っております。

RESAS利活用事例集

RESASなどのデータに基づき施策の検討・立案をした事例を掲載。経済産業省HP及びRESASからダウンロード可能。

〈東北地域の事例〉

青森県八戸市 …「人口分析」(27fy)
青森県七戸町 …「商業活性化の検討」(28fy)
岩手県花巻市 …「観光関連施策の検討」(〃)
福島県北5市町…「観光誘客推進」(〃)

※福島市、伊達市、桑折町、国見町、川俣町
福島県会津若松市 …「域際収支の改善」(〃)
岩手県一関商工会議所…「観光・農業活性化の検討」(〃)



「RESAS for Teachers」

データに立脚して問題解決する能力を育むため、RESASを取り入れた授業モデルを提供するサイト。



※教材として学校の先生(特に中学・高校)向けに授業モデルを提供しているものではあるが、地域の将来を構想する自己学習のきっかけとしても活用可能。

〈利用方法〉

下記URLもしくはRESASメインメニュー中段の「関連サービス」よりご利用ください。登録不要で、すべて無料でご利用いただけます。

(<https://teacher.resas-portal.go.jp/>)

統計学習・データ分析に役立つサイト①

●社会人のためのデータサイエンス入門（総務省統計局）

<http://gacco.org/stat-japan/>



●統計学習サイト（総務省統計局）

<http://www.stat.go.jp/edu/>

- ・なるほど統計学園高等部
- ・なるほど統計学園（小中学生用）
- ・各都道府県が開設している統計学習サイト（リンク集）



●統計ダッシュボード（総務省統計局）

<https://dashboard.e-stat.go.jp/>



統計学習・データ分析に役立つサイト②

- 地方創生カレッジ（カテゴリー：データ分析・戦略の検討）

<https://chihousei-college.jp/e-learning/basic/analysis.html>



- 観光予報プラットフォーム（観光予報プラットフォーム推進協議会）

<https://kankouyohou.com/>



- 法人インフォ（内閣官房情報通信技術総合戦略室・経済産業省）

<https://hojin-info.go.jp/hojin/TopPage>



RESASの利用推奨環境・活用サポート

● 利用推奨環境

CPU : Intel core 2 Duo CPU E7500 以上

O S : Windows 7 (64bit) 以降

ソフトウェア (ブラウザ) : Google Chrome 41.0 以降
Internet Explorer 11

● 活用サポート

- 東北経済産業局では、RESASの利活用促進に向け、「地域経済分析システム普及活用支援調査員」を配置し、地方自治体や、金融機関、教育機関、企業等における利活用をサポートしています。
- RESASでご不明な点がございましたら、お気軽に下記ご連絡先までご相談ください。

東北経済産業局 総務企画部 企画調査課

担当：佐藤、菅原、金野、植木

(電話) 022-221-4861

(メール) thk-kikaku@meti.go.jp



経済産業省
東北経済産業局

1. 今使っているデータをRESASで置き換えてみる

- まずはRESASに触って、慣れること。

2. RESASだけに頼らない

- ミクロデータ（地域独自の統計等）や民間の調査など、目的に合わせて適切なデータを活用する。

3. 多様な視点で議論する

- RESASが示すのは経済活動の「結果」であり、そこに至る過程や要因は、自分の頭で分析しなければならない。その際、様々な知識や経験を持った人が集まり、議論することが重要。